

デジタル印刷機

RISOGRAPH

SF525Ⅱ

最大印刷範囲

B4相当

取扱説明書

本機について	1
基本操作	2
製版機能を設定する	3
印刷機能を設定する	4
便利な機能を使う	5
利用環境を設定する	6
RISO コンソールを利用する	7
消耗品を交換する	8
お手入れについて	9
こんなときには	10
付録	11



当社は国際エネルギー・スター・プログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギー・スター・プログラムの基準に適合していると判断します。

この装置は、クラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。 VCCI-A

JIS C 61000-3-2 適合品

本装置は、高調波電流規格「JIS C 61000-3-2」に適合しています。



安全のため、ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。
お読みになった後は、いつでも取り出せるように所定の場所に保管してください。

ごあいさつ

このたびは、本機をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
本機は、コピー機感覚の操作で鮮明な印刷ができるデジタル印刷機です。
多枚数のプリントを、低コストでスピーディに行うことができます。
また、印刷機ならではの便利な機能を数多く搭載しています。

■ 本書の記述内容について

- 本書の内容の一部または全部を、無断で転載することは固くお断りします。
- 本書の内容につきましては、商品の改良などのため、将来予告なしに変更する場合があります。
- 本書および本機を運用した結果の影響につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。

■ 商標について

- 、RISO、riso iQualitySystem および RISOGRAPH は、理想科学工業株式会社の登録商標または商標です。
- Microsoft および Windows は、米国 Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- その他の社名、商品名は各社の登録商標または商標です。



本機は色覚の個人差を問わず、より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮して作られていると、NPO 法人カラーユニバーサルデザイン機構により認証されています。

取扱説明書について

同梱されている取扱説明書

本機には、以下の取扱説明書が同梱されています。

ご使用になる前に、よくお読みください。

また、ご使用中に不明な点があるときや、必要なときにお読みいただき、本機とともに末永くお役立てください。

■ RISOGRAPH SF525 II 取扱説明書（本書）

本機の基本的な操作方法をはじめとして、高度なプリント機能や便利な機能の使い方などについて説明しています。また、使用上のご注意、消耗品の取り扱いや交換方法、トラブル発生時の対処方法についても説明しています。

■ リゾープリンタードライバー取扱説明書

付属の DVD-ROM に、PDF ファイルとして収録されています。

パソコンから本機でプリントするときの操作手順や、各種設定について説明しています。

■ リゾーユーティリティソフトウェア取扱説明書

付属の CD-ROM に、PDF ファイルとして収録されています。

「理想集計アプリケーション」と「理想 USB メモリマネージャー」の使い方について説明しています。

マークについて



安全にご利用いただくための警告や注意事項です。



気を付けていただきたいことなどの重要事項です。よく読んで、指示に従ってください。



知っておくと便利なことや、補足説明です。



参照ページを示しています。

画面、イラストについて

本書に掲載している画面やイラストは、機種やオプションの装着状況など、ご使用の環境によって異なる場合があります。

目次

ごあいさつ	1
取扱説明書について	2
同梱されている取扱説明書	2
マークについて	2
画面、イラストについて	2
目次	3
安全上のご注意	7
警告表示について	7
設置場所について	7
電源の接続について	7
アースの接続について	7
取り扱いについて	8
インクについて	9
注意ラベルの位置について	9
ご使用の前に	9
設置上の注意	9
ご使用上の注意	10
消耗品について	10
原稿データのプリントについて	11
ソフトウェアについて	11
原稿について	11
用紙について	12
プリント範囲について	13
印刷に関する注意	14

第 1 章 本機について

各部の名称とはたらき	16
給紙側	16
排紙側	17
オプション	18
操作パネル	19
液晶パネルの表示について	21
製版基本画面	21
印刷基本画面	21
プリントの流れ	22
「製版」と「印刷」	22
「連続」とは	22

第 2 章 基本操作

プリント前の準備	24
給紙台と用紙のセット	24
排紙台のセット	25
原稿をセットする	27
原稿台ガラスにセットする場合	27
自動原稿送り装置にセットする場合	27
紙原稿をプリントする	28

パソコンからプリントする	29
[連続モード] が [OFF] の場合.....	30
USB メモリーを利用してプリントする.....	31
認証して使う	33
認証操作をする.....	33
認証状態を解除する.....	34

第 3 章 製版機能を設定する

製版するときに設定する機能	36
原稿に適した画像処理をする [原稿モード] [えんぴつ].....	36
[原稿モード].....	36
[えんぴつ].....	37
写真の階調の処理方法を選択する [網点]	37
原稿の読取濃度を調節する [読取濃度]	38
冊子になっている原稿を使う [ブック]	38
インクを節約する [省インク]	39
原稿を拡大／縮小する [変倍]	39
[固定変倍].....	39
[ズーム変倍].....	40
1 枚の用紙に原稿を 2 面割り付ける [連写]	40

第 4 章 印刷機能を設定する

印刷するときに設定する機能	44
印刷速度を調節する [速度]	44
印刷濃度を調節する [濃度]	45
印刷位置を調整する [印刷位置].....	45
天地方向の位置調整.....	45
左右方向の位置調整.....	46

第 5 章 便利な機能を使う

便利な機能.....	48
組分けしてプリントする [プログラム]	48
[1 原稿プログラム] の設定.....	49
[多原稿プログラム] の設定.....	49
[プログラム] の中止.....	50
[プログラム] の登録.....	50
[プログラム] の呼び出し.....	50
[プログラム] の設定内容変更.....	50
[プログラム] の消去.....	51
インクかすれを防ぐ [アイドルリング]	51
機密書類の複製を防ぐ [機密]	52

第 6 章 利用環境を設定する

利用環境を設定する [ユーザーモード]	54
[ユーザーモード] の基本操作	54
設定項目一覧	55
マスターやインクの在庫数を管理する [サプライ在庫管理]	64
ネットワークに接続する	65
IPv4 のネットワークに接続する場合	65
IPv6 のネットワークに接続する場合	66
認証機能を使う	67
[ユーザー登録]	68
[利用停止]	69
[TC 上限設定] [MC 上限設定]	69
[TC クリア設定] [MC クリア設定]	70
[カウントオールクリア]	70
[利用枚数集計日設定]	71
[利用枚数ワーニングクリア]	71
[利用枚数集計出力]	71
[利用枚数集計出力方法設定]	72
[認証設定クリア]	72
利用枚数を表示する [カウンター表示]	73
給紙・排紙条件を調整する [特殊用紙設定]	73
給紙条件の調整 [紙質]	73
排紙条件の調整 [分離ファン] [サクシオンファン]	74
合紙を入れる [合紙仕分け]	74
紙メモリー原稿を使う [紙メモリープリント]	75

第 7 章 RISO コンソールを利用する

RISO コンソールについて	78
RISO コンソールへのアクセス	78
ログイン	78
ログアウト	78
[モニタリング] メニュー	79
[一般情報] タブ画面	79
[システム情報] タブ画面	79
[ユーザー情報] タブ画面	79
[プリンター] メニュー	80
[ネットワーク] メニュー	81
[ネットワーク設定] 画面	81
[SNMP 設定] 画面	81

第 8 章 消耗品を交換する

マスターをセットする	84
インクボトルを交換する	86
排版ボックスのマスターを廃棄する	87

ドラムを交換する	89
ドラムの取り外し.....	89
ドラムのセット.....	90
使用済み消耗品の回収・廃棄について	90
インクボトル.....	90
マスター芯.....	91
使用済みのマスター.....	91

第9章 お手入れについて

クリーナーについて	94
お手入れのしかた	94
サーマルヘッド.....	95
外装部.....	95
原稿台ガラスと原稿パッド.....	96
自動原稿送り装置（オプション）.....	96
プレスローラー.....	97

第10章 こんなときには

メッセージが表示されたときは	100
メッセージの見かた.....	100
メッセージ.....	101
[①] ランプが点滅し、枚数カウンターに [H] が表示されたら.....	108
[②] ランプが消灯し、枚数カウンターにエラーの番号が表示されたら.....	110
「故障？」と思ったときは	111

第11章 付録

消耗品について	120
マスター・インク.....	120
用紙.....	120
オプションについて	120
仕様	121
索引	123

安全上のご注意

ご使用前に知っておいていただきたいことを記載しています。必ずお読みください。

警告表示について

本機を正しくお使いいただき、人体への危害や財産への損害を未然に防止するため、以下のような警告表示を使用しています。

 警告	<p>この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を説明しています。</p>
 注意	<p>この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が障害を負うおそれがある内容および物的損害のみの発生が予想される内容を説明しています。</p>

絵表示の例

	<p>⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。</p>
	<p>●記号は行為の強制または指示を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。</p>

設置場所について

注意

- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。
- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災、感電の原因となることがあります。

電源の接続について

警告

- 本機の定格電圧値でご使用ください。また、定格電流値より容量の大きい電源コンセントに接続して使用してください。定格電圧値および定

格電流値は、本書巻末の仕様「電源」の項をご確認ください。

- 分岐コンセントのご使用、タコ足配線は、おやめください。火災、感電のおそれがあります。 
- 電源コードを傷付けたり、破損したり、加工したりしないでください。また重いものをのせたり、引っばったり、無理に曲げたりすると電源コードをいため、火災、感電のおそれがあります。 
- 同梱の電源コードは本機専用です。他の電気製品では使用しないでください。火災、感電のおそれがあります。
- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電のおそれがあります。

注意

- プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください（必ずプラグを持って抜いてください）。コードが傷付き、火災、感電の原因となることがあります。
- 連休などで長期間、本機をご使用にならない場合は、安全のために必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 電源プラグは年1回以上コンセントから抜いて、プラグの刃の周辺部分を清掃してください。ほこりがたまると、火災の原因となることがあります。

アースの接続について

警告

- アース線を必ず接続してください。アースの接続は、電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。また、アース接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源から切り離してから行ってください。アース接続しないで万一、漏電した場合は、火災や感電のおそれがあります。なお、アース接続ができない場合は、販売会社（あるいは保守・サービス会社）にご相談ください。 
- 次のようなところには絶対にアース線を取り付けないでください。火災、感電のおそれがあります。
 - ガス管
 - 電話専用アース線
 - 避雷針

- 途中がプラスチックになっている水道管や蛇口
- アース線は次の場所に取り付けてください。
 - 電源コンセントのアース端子
 - 銅片などを、75cm 以上地中に埋めたもの
 - 接地工事（第 A 種～第 D 種）が行われている接地端子
 - 水道局がアースの対象物として承認した水道管

取り扱いについて

警告

- 本機の上に水などの入った容器または金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災、感電のおそれがあります。
- 本機の近くで、可燃性のスプレーや引火性溶剤などを使用しないでください。スプレーのガスや引火性溶剤が機械内部の電子部品などに接触すると、火災や感電のおそれがあります。
- 本機のすきまなどから内部に金属類や燃えやすいものなど異物を差し込んだり、落としこんだりしないでください。火災、感電のおそれがあります。
- 本機のカバーは外さないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電のおそれがあります。
- 本機を分解したり改造しないでください。火災、感電のおそれがあります。 
- 万一、発熱していたり、煙が出ている、へんな臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災、感電のおそれがあります。すぐに電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。そして販売会社（あるいは保守・サービス会社）にご連絡ください。 
- 万一、異物が機器の内部に入った場合は、まず本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売会社（あるいは保守・サービス会社）にご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電のおそれがあります。 

注意

- 本機を移動する場合は、販売会社（あるいは保守・サービス会社）に連絡してください。無理に移動させると、機械が転倒して、けがの原因となることがあります。
- 本書に記載されている以外の作業（調整や修理など）は行わないでください。調整や修理は、必ず販売会社（あるいは保守・サービス会社）に依頼してください。
- 印刷中は十分な換気を行ってください。
- サーマルヘッドには、指で直接触れないでください。高温になっている場合、やけどをするおそれがあります。
- 本機の動作している部分には、触らないでください。けがの原因となることがあります。
- 給紙台や排紙台周りのすきまには、指などを差し込まないでください。けがの原因となることがあります。
- 本体内部に手を入れるときは、突起物や板金の端に触れないようにご注意ください。けがの原因となることがあります。
- 本体内部に手を入れるときは、分離爪や排版爪に触れないように注意してください。分離爪や排版爪の先端は鋭利なため、けがの原因となることがあります。 
- プレスローラーの清掃時には、本機の電源を必ず切ってください。
- ドラム周辺や、ドラムユニットを外した本体内部にはインクが付いていることがありますので、手や衣服などが触れないように注意してください。手などにインクが付いたときは早めに洗剤で洗い落としてください。
- ドラムは垂直に立てないでください。床などを汚すことがあります。
- 本機のクリーニングに使うクリーナーを、顔や手など人体に付いた汚れには使用しないでください。
- クリーナーを使用した後は、必ず手を洗ってください。

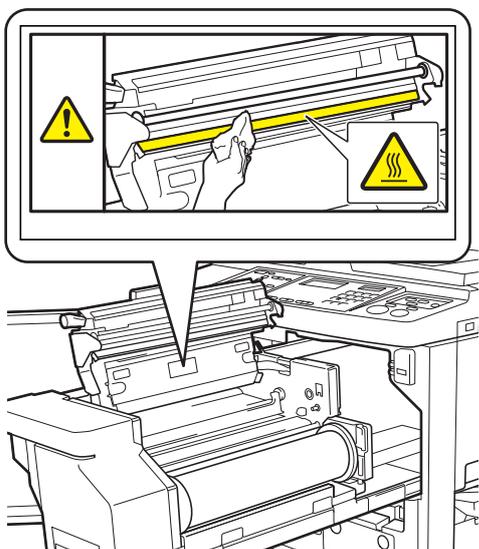
インクについて

⚠ 注意

- 目に入った場合は、速やかに多量の水でよく洗い流してください。
- 皮膚に付いた場合は、せっけんなどでよく洗ってください。
- 誤って飲み込んだ場合は、吐かせずに多量の水（または牛乳）を飲ませ、様子をみてください。
- 万一、異常を感じた場合は、直ちに医師の診断を受けてください。
- 印刷以外の用途には使用しないでください。
- 小さなお子さまの手の届かないところに保管してください。

注意ラベルの位置について

本機には、安全にお使いいただくために注意ラベルを貼っています。表示にしたがって安全にお使いください。



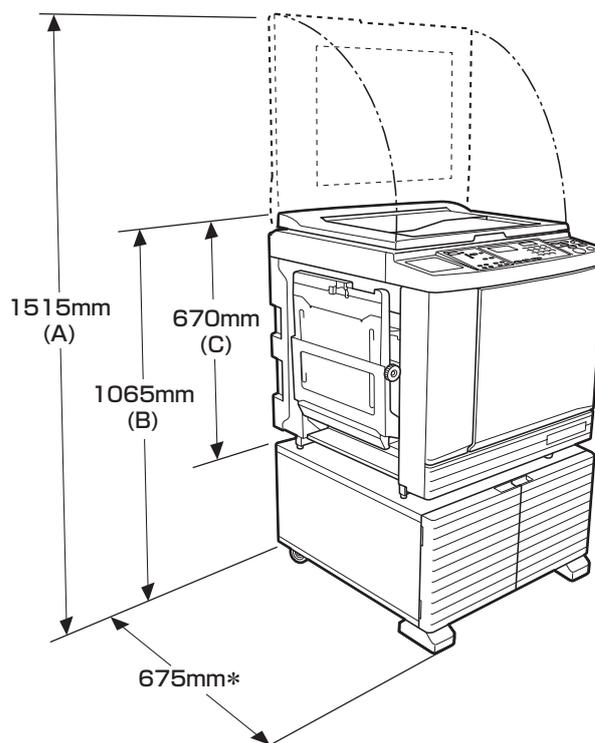
ご使用前に

本機をご使用になる際に気をつけていただきたいことや、ご使用前に必ず知っておいていただきたいことを記載しています。

設置上の注意

■ 設置に必要なスペース

本機を使用するには、以下のスペースが必要です。

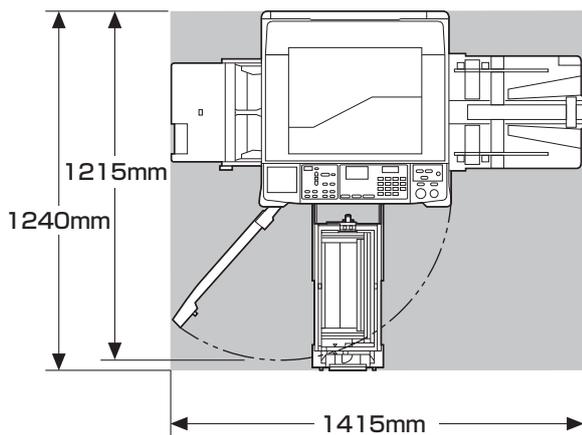


自動原稿送り装置（オプション）装着時は、上図の (A) ~ (C) は以下の数値になります。

- (A) 1440mm
- (B) 1100mm
- (C) 705mm

* : RISO 架台 D タイプⅢに設置した場合の奥行きです。補助足を含みます。

上から見た図



■ 設置場所について

- 本機の設置場所は、納入時にお客様とご相談のうえ決定させていただきます。
- 本機は設置場所を固定することになっています。本機を移動するときは、販売会社（あるいは保守・サービス会社）に連絡してください。
- 次のような場所には設置しないでください。誤動作や故障、事故の原因となる場合があります。
 - 直射日光のあたる場所や窓際などの明るい場所（やむをえない場合は、窓にカーテンなどを付けてください）
 - 温度が急激に変化する場所
 - 高温多湿、低温少湿の場所
 - 火気・熱気のある場所、クーラーなどの冷風、ストーブなどの温風が直接あたる場所や、熱が伝わる場所
 - 通気性、換気性の悪い場所
- 本機が水平に設置できる場所を選んでください。（設置の水平度：前後 10mm 以下、左右 10mm 以下）
- 適正環境は次の通りです。
温度範囲：15℃～30℃
湿度範囲：40%～70%
（結露しないこと）



ご使用上の注意

■ 電源の接続について

- 電源プラグ部の接触不良がないように、プラグをコンセントに確実に接続してください。
- 本機はコンセントの近くに設置してください。



■ 操作について

- 動作中に電源を切ったり、電源プラグを抜いたりしないでください。
- 動作中にカバーを開けたり、機械を移動させたりしないでください。
- カバー類の開閉は静かに行ってください。
- 本機の上に重いものを載せないでください。
- 本機に衝撃を与えないでください。
- 本機内部には精密部品および駆動機構部があります。取扱説明書に書かれていること以外は行わないでください。
- 日本国外へ移動した場合は、保守サービスの責任を負いかねますのでご了承ください。

消耗品について

- マスターロールとインクボトルは、当社推奨品を使用してください。本機は当社推奨の消耗品を使うことによって最大限の性能を発揮できるように設計されています。当社推奨品は、推奨使用期限までの残日数のような経時情報を本機に伝達します。本機は、その情報に基づいて制御を調整します。
- マスターとインクは、製造日から 24 カ月以内（常温保存）を目安にご使用ください。より良い状態でお使い頂くため、購入後はできるだけ早めにご使用頂くことをおすすめいたします。それぞれの製造日は、梱包箱（外箱、内箱）と、マスター芯の内側、インクボトルの表面に記載されています。
- 用紙、マスターロール、インクボトルは、それぞれの梱包箱などに記載されている使用説明に従って、正しく保管してください。
- 次のような場所での保管は、おやめください。
 - 直射日光のあたる場所や窓際などの明るい場所（やむをえない場合は、窓にカーテンなどを付けてください）
 - 温度が急激に変化する場所
 - 高温多湿、低温少湿の場所
- インクの保管温度によっては、インクボトルに結露が起きる場合があります。結露したインクボトルをお使いになると故障の原因となります。インクを適正な温度（15℃～30℃）に十分なじませてからご使用ください。



原稿データのプリントについて

パソコンで作成した原稿データをプリントする方法は、以下の通りです。

■ USB ケーブルでパソコンと接続する方法

市販の USB ケーブルが必要です。3m 以内の USB2.0 規格準拠品を使用してください。



- ▶ USB ケーブルで接続する場合は、本機とパソコンの電源が入っている状態で接続してください。
- ▶ USB ハブを使用すると、正常に動作しない場合があります。

■ ネットワーク経由でパソコンと接続する方法

市販のイーサネットケーブル（10BASE-T または 100BASE-TX に対応した STP ケーブル）を使用してください。

■ USB メモリーを使う方法

- マスストレージクラスに対応した USB メモリーを使用してください。USB メモリーによっては、正常に動作しない場合があります。
- FAT 形式でフォーマットされた USB メモリーを使用してください。
- セキュリティ機能を搭載した USB メモリーは、正常に動作しない場合があります。



- ▶ USB メモリーを挿入または取り外す際は、正しい手順（☞ 31）で、ゆっくりと抜き差ししてください。
- ▶ 天災や不測の事態により、USB メモリー内のデータが損傷した場合、保証はいたしかねます。重要なデータは、作成元のパソコンでバックアップをとっておくことをおすすめします。

■ 紙メモリー原稿を使う方法

- 本機のプリンタードライバーの機能を使って、原稿データを紙メモリー原稿に変換し、当社推奨のプリンターでプリントします。当社推奨のプリンターについては、販売会社（あるいは保守・サービス会社）にお問い合わせください。
- 紙メモリー原稿は、本機の「紙メモリープリント」機能（☞ 75）で扱うことができます。



- ▶ 以下の場合、紙メモリー原稿を本機で適切に読み取れないことがあります。
 - 原稿台ガラスや原稿パッドに汚れがある。
 - 紙メモリー原稿が当社推奨のプリンター以外でプリントされた。
 - 紙メモリー原稿に汚れ、しわ、折れ目などがある。
 - 紙メモリー原稿の指定外の場所（☞ 75）に書き込みがある。

ソフトウェアについて

同梱の DVD-ROM と CD-ROM には次のソフトウェアを収録しています。

■ リゾープリンタードライバー

パソコンから原稿データを送信してプリントするための本機専用のプリンタードライバーです。

パソコンで作成した原稿データを変換して、「紙メモリープリント」（☞ 75）で使う紙メモリー原稿を作成することもできます。

詳しくは、DVD-ROM に収録されている取扱説明書（PDF ファイル）をご覧ください。

■ リソースユーティリティソフトウェア

以下の 2 つが収録されています。

- 理想 USB メモリマネージャー
USB メモリー内の原稿データの情報を、パソコン上で管理できます。
- 理想集計アプリケーション
本機の「利用枚数集計出力」（☞ 71）で USB メモリーに保存した利用枚数データを、パソコン上で管理できます。
詳しくは、CD-ROM に収録されている取扱説明書（PDF ファイル）をご覧ください。

原稿について

■ サイズ・重さについて

使用可能な原稿は以下の通りです。

原稿台ガラス使用時

サイズ	50×90 mm ～ 310×432 mm
重さ	10 kg まで

自動原稿送り装置（オプション）使用時

サイズ	100×148 mm ～ 300×432 mm
重さ	50 ～ 128 g/m ²

- 自動原稿送り装置には、サイズの異なる原稿を混ぜてセットしないでください。
- 自動原稿送り装置に一度にセットできる原稿は約 50 枚（80g/m² 以下の原稿使用時）までです。

参考

▶ 次の原稿は自動原稿送り装置では使用できません。原稿台ガラスにセットしてください。

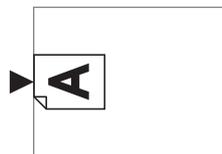
- 切り貼りされたもの
- しわ、カール、折れ曲がりが多いもの
- 糊付け、穴あけがあるもの
- 破れていたり、先端がギザギザなもの
- 感熱紙、カーボン紙など、化学処理されたもの
- OHP フィルム、トレーシングペーパーなど透過度が高いもの
- 修正液、糊などを使用しているもの
- 紙厚の薄い原稿 (50g/m² 未満)
- 紙厚の厚い原稿 (128g/m² を越えるもの)
- アート紙、コート紙などの表面が滑りやすいもの
- 表面に光沢があるもの
- クリップやステーブラなどでとじてあるもの

- しわ、カール、折れ曲がりの激しい原稿は、よく伸ばして原稿台ガラスから浮かないようにセットしてください。浮いている部分が黒くプリントされることがあります。
- インクや修正液を使用した原稿は、よく乾かしてからセットしてください。原稿台ガラスが汚れ、きれいに印刷できなくなります。

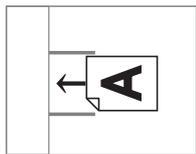
■ 原稿の方向について

本書では、原稿の方向を以下のように呼びます。

- 原稿台ガラスにセットする場合：
基準位置 (▶ 印) に接する側を「天方向」と呼びます。



- 自動原稿送り装置 (オプション) にセットする場合：
搬送される先頭の側を「天方向」と呼びます。



用紙について

- 機械の性能やインクの特性を十分に活かす「理想用紙 マルチ」「理想環境用紙」の使用をおすすめします。詳細については、本体お買い上げの販売会社 (あるいは保守・サービス会社) にお問い合わせください。
- 本機の仕様に定められている範囲を超える用紙をご利用いただく場合は、その紙に対しての通紙および印刷に関しては製品保証対象外となります。



▶ 本機仕様内の「用紙サイズ」および「用紙の重さ」であっても、紙質・環境・保管状態などにより通紙できない場合があります。あらかじめ、ご了承ください。詳しくは、販売会社 (あるいは保守・サービス会社) にご相談ください。

■ 用紙サイズ

使用可能な用紙は以下の通りです。

100 mm × 148 mm ~ 310 mm × 432 mm

- 本機では、以下の用紙が定形サイズとして検知されません。

A3	297 mm × 420 mm
A4	210 mm × 297 mm
A4	297 mm × 210 mm
A5	148 mm × 210 mm
B4	257 mm × 364 mm
B5	182 mm × 257 mm
B5	257 mm × 182 mm
B6	128 mm × 182 mm
ハガキ	100 mm × 148 mm

■ 紙質

- 使用可能な紙質は以下の通りです。

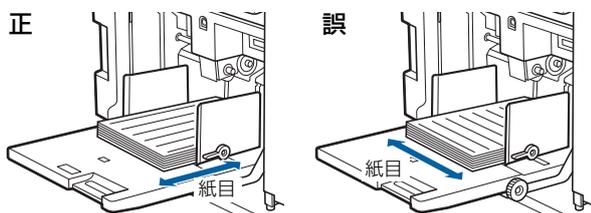
46g/m² ~ 210g/m²

(上質紙、中質紙、白更、上更、更紙、画用紙、再生紙、日本郵便株式会社製はがき)

■ 紙づまりや給紙不良を避けるために

- 用紙は、紙目（繊維の流れ）が通紙方向に沿うようにセットしてください。

紙目が通紙方向に直交する方向ではコシが弱くなるため、紙づまりの原因となることがあります。



紙目を確認するには、紙を裂いてみると分かります。まっすぐに裂ける方向が、紙目です。



紙目に沿っていると、まっすぐに裂ける。



紙目に沿っていないと、まっすぐに裂けない。

- 裁断が悪い用紙や表面が粗い紙（画用紙など）は、よくさばいてから使用してください。
- 使用する用紙によっては機械の使用時に紙粉が発生することがあります。清掃、換気を充分に行うように心がけてください。
- 厚紙（画用紙など）や、表面が滑りやすい用紙を使用するときは、給紙圧レバーや排紙台の紙揃えプレート、排紙ウイング調節ダイヤルを調節してください。（☞ 24 「プリント前の準備」）
- なるべくカールしていない用紙を使用してください。やむを得ず使用する場合は、山なりになっている面を上にしてセットしてください。



- 印刷物の天方向（排紙方向の先端）に余白が少なすぎる場合や、天方向に密度の濃い画像がある場合に、用紙がドラムに張り付いてしまうことがあります。その場合は、天方向に余白ができるように印刷位置を下げるか、原稿の天地を 180 度回転して製版し直してください。

■ 用紙の保管について

用紙は湿気の少ない場所に保管してください。湿気を含んだ用紙は、紙づまりや印刷品質の低下の原因になります。

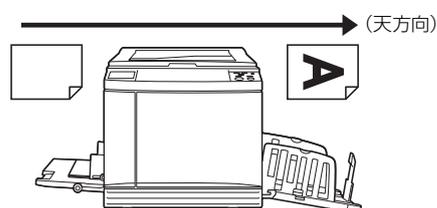
■ 印刷に適さない用紙について

次のような用紙は、紙づまりなどの原因となりますので使用しないでください。

- 紙厚の薄い用紙（ 46g/m^2 未満）
- 紙厚の厚い用紙（ 210g/m^2 を超えるもの）
- 感熱紙、表カーボン紙など、化学処理した用紙
- しわ、カール、折り曲がり、破損（破れ）などの激しい用紙
- 片面または両面がコーティングされている用紙
- 先端がギザギザになっている用紙
- アート紙
- 糊付け、穴がある用紙

■ 用紙の方向について

本書では、用紙が搬送される先端の側を「天方向」と呼びます。



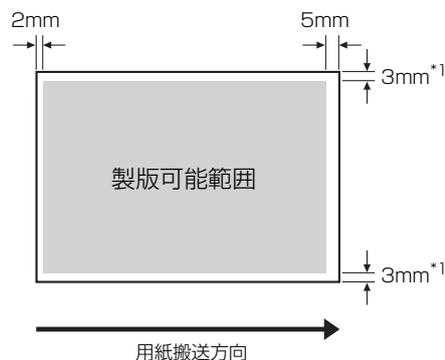
■ プリント範囲について

■ 最大印刷範囲

本機で印刷できる最大範囲は 251×357 mm（B4 サイズ相当）です。

■ 製版範囲

給紙台にセットした用紙サイズで、製版範囲が決まります。製版範囲は、用紙サイズに対して、下図の余白を除いた範囲です。



* 1：定形サイズの内紙を使用した場合の数値です。不定形サイズの内紙を使用した場合は、5mm になります。

原稿は、上記の余白を考慮して作成してください。パソコンから原稿データを送信して印刷する場合も製版範囲は同様です。



- ▶ 大きな用紙をセットしても、製版範囲が最大印刷範囲を超えることはありません。



- ▶ 周囲に余白のない原稿をプリントするときは、[周囲余白] (☞ 39) で縮小すると便利です。

印刷に関する注意

個人が利用する場合でも、法律により、複写することや印刷物を所有することを禁止されているものがあります。以下の禁止事項をご理解いただき、十分にご注意ください。

■ 法律で印刷を禁止されているもの

次の文書は、法律で印刷を禁止されています。

- 紙幣、貨幣、政府発行の有価証券、国債証券、地方債証券（たとえ「見本」の印があっても複写することは禁じられています）
- 外国において流通する紙幣、貨幣、証券類
- 未使用郵便切手、郵便はがきの類で、政府の模造許可をとっていない場合
- 政府発行の印紙、酒税法などで規定されている証紙類



関係法律

- ▶ 通貨及び証券模造取締法
- ▶ 外国ニオイテ流通スル貨幣、紙幣、銀行券、証券、偽造変造及び模造ニ関スル法律
- ▶ 郵便切手類模造等取締法
- ▶ 印紙等模造取締法
- ▶ 紙幣類似証券取締法

■ 営利目的での印刷を禁止されているもの

次のような複写は、おやめください。

- 民間発行の有価証券（株券、手形、小切手など）、定期券、回数券などの、事業会社が業務に使用する最低必要部数以外の複写
- 政府発行のパスポート、公共機関や民間団体発行の免許証、許可証、身分証明書や通行券、食券などの切符類の複写
- 書籍、絵画、版画、地図、図面、写真など著作権の対象となっているものの複写（個人的または家庭内、あるいはこれに準ずる限られた範囲内で使用する場合以外、複写することを禁じられています）

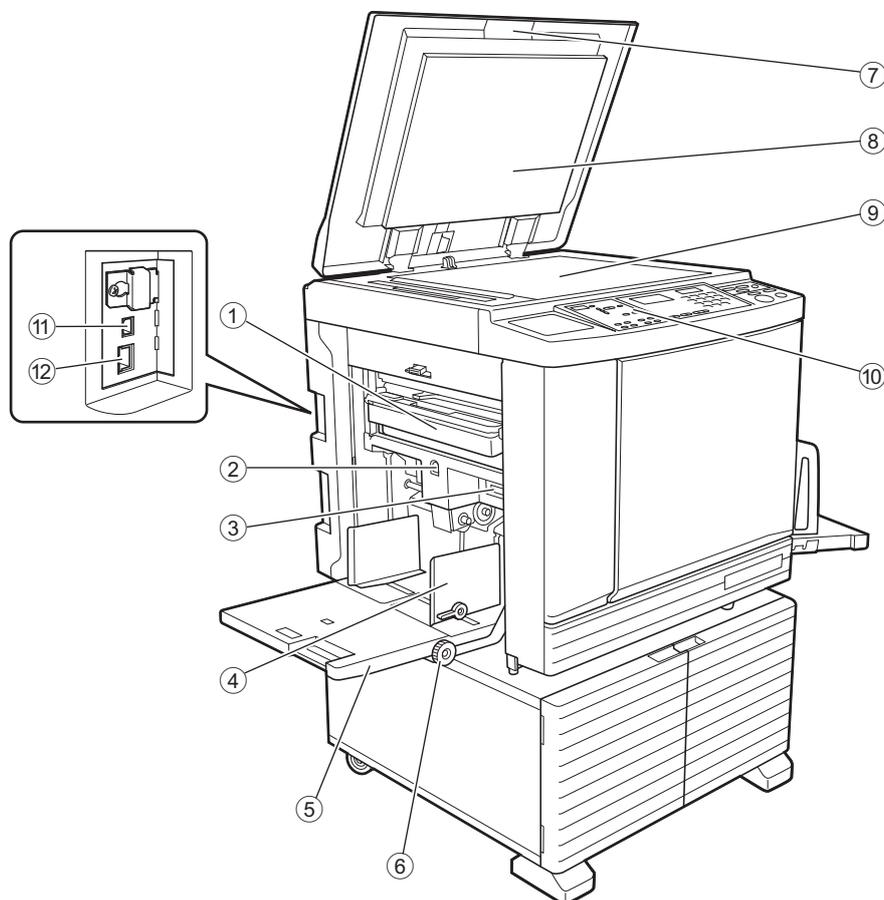


第 1 章

本機について

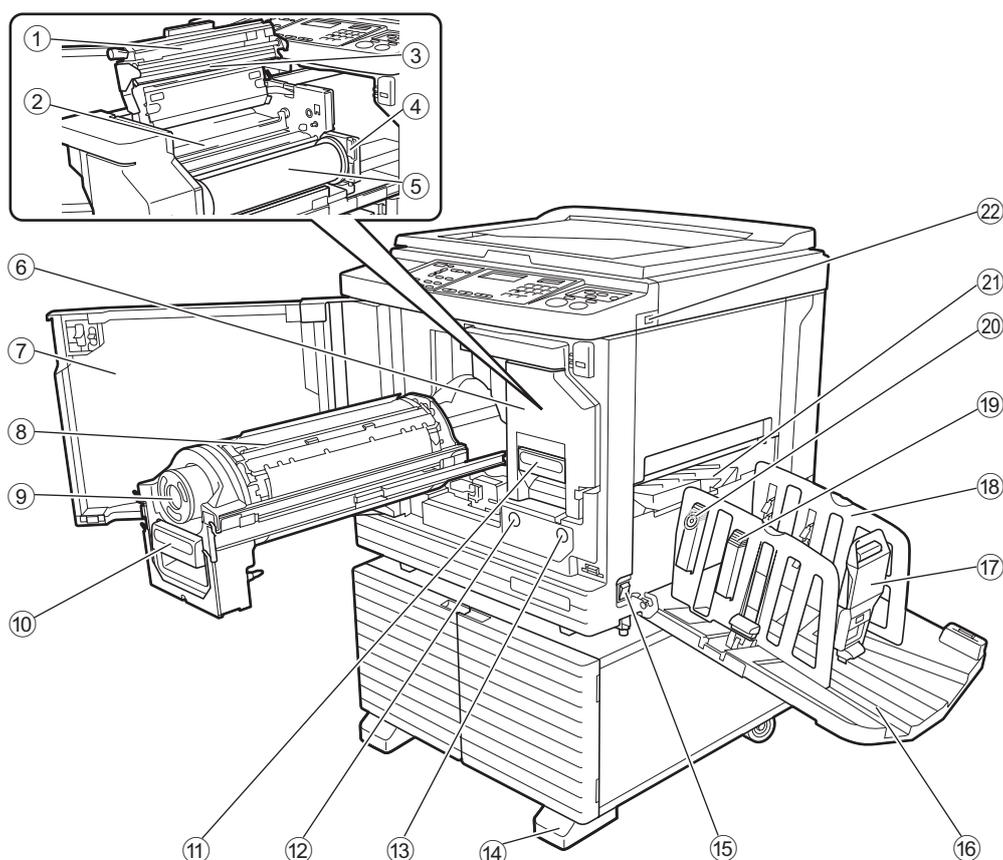
各部の名称とはたらき

給紙側



- ① **排版ボックス (87)**
排版されたマスターを収納します。
- ② **給紙台上下ボタン (24)**
用紙を載せ換えたり追加したりするときに、給紙台を上昇または下降させます。
- ③ **給紙圧レバー (24)**
用紙の紙質に合わせて、給紙の圧力を調節します。
- ④ **給紙フェンス (24)**
用紙の幅に合わせてスライドさせ、用紙のずれを防ぎます。
- ⑤ **給紙台 (24)**
用紙を載せます。
- ⑥ **左右位置調整ダイヤル (46)**
左右方向の印刷位置を調整します。
- ⑦ **原稿台カバー (27)**
原稿をセットするときに開閉します。
- ⑧ **原稿パッド (96)**
- ⑨ **原稿台ガラス (27)**
原稿を下向きにセットします。
- ⑩ **操作パネル (19)**
各種操作を行います。
- ⑪ **USB ポート (Type B) (11)**
パソコンと接続するための USB ケーブルを装着します。
- ⑫ **LAN ポート (11)**
ネットワークに接続するためのイーサネットケーブルを装着します。

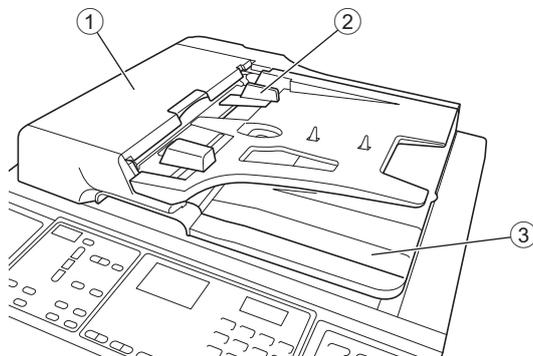
排紙側



- ① 製版ユニットカバー (84)
- ② マスターガイド (85)
- ③ サーマルヘッド (95)
- ④ マスターロールストッパー (85)
セットしたマスターロールを固定します。
- ⑤ マスター (84)
- ⑥ 製版ユニット (84)
①～⑤をご覧ください。
- ⑦ 前カバー (84)
- ⑧ ドラム (89)
- ⑨ インクボトル (86)
- ⑩ ドラムレバー (89)
レバーを握ってドラムを引き出します。
- ⑪ 製版ユニットレバー (84)
レバーを握って製版ユニットを引き出します。
- ⑫ ドラム OK ボタン (89)
ボタン点灯時に、ドラムを引き出せます。
消灯しているときは、ボタンを押して点灯させてから引き出してください。
- ⑬ 製版ユニット OK ボタン (84)
ボタン点灯時に、製版ユニットを引き出せます。
消灯しているときは、ボタンを押して点灯させてから引き出してください。
- ⑭ 補助足
- ⑮ 電源スイッチ (28)
電源の ON/OFF を切り替えます。
- ⑯ 排紙台 (25)
印刷物が排出されます。
- ⑰ ストッパー (25)
スライドさせて、用紙のサイズに合わせます。
- ⑱ 排紙フェンス (25)
スライドさせて、用紙のサイズに合わせます。
- ⑲ 紙揃えプレートノブ (25)
ノブを押すと、紙揃えプレートが出ます。
印刷物の紙揃えを良くします。
- ⑳ 排紙ウイング調節ダイヤル (26)
- ㉑ 排紙ウイング (26)
- ㉒ USB ポート (31)
プリント用の USB メモリーを挿入します。

オプション

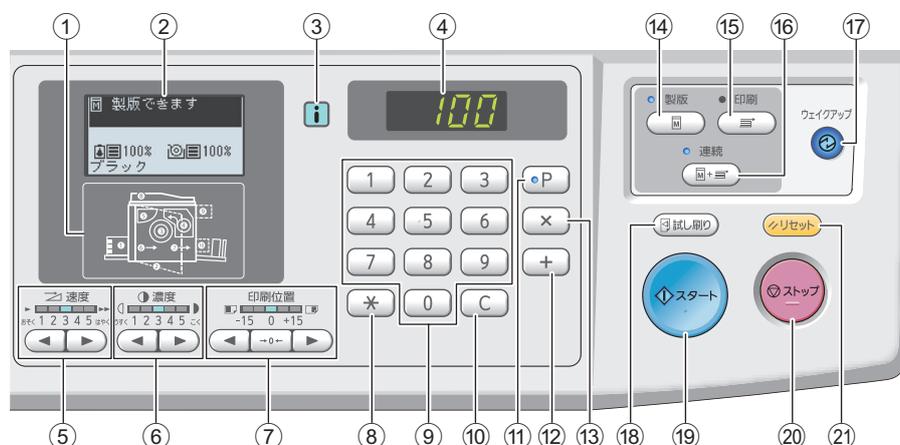
■ 自動原稿送り装置



- ① **AF 給紙カバー** (📖 108)
原稿が詰まった場合に開けて、原稿を取り除きます。
- ② **原稿セットフェンス** (📖 27)
原稿の幅に合わせてスライドさせ、原稿のずれを防ぎます。
- ③ **原稿排出トレイ**
読み取った原稿が排出されます。

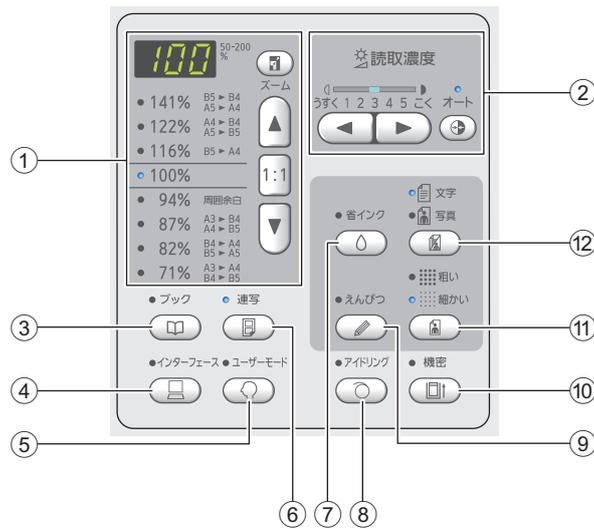
操作パネル

■ メインパネル



- ① **エラー位置ランプ** (図 101)
エラーが起きている位置が表示されます。
- ② **液晶パネル** (図 21)
- ③ **[i] ランプ** (図 101)
[i] ランプの色は、本機の動作状態を表します。
- ④ **枚数カウンター**
印刷枚数や各種設定の入力値が表示されます。
- ⑤ **印刷速度調節キー** (図 44)
印刷速度を調節するときに押します。キー上部のランプに、そのときの速度が表示されます。
- ⑥ **印刷濃度調節キー** (図 45)
印刷濃度を調節するときに押します。キー上部のランプに、そのときの印刷濃度が表示されます。
- ⑦ **印刷位置調整キー** (図 45)
製版後、天地方向の印刷位置を調整するときに押します。
- ⑧ **[*] キー**
[プログラム] (図 48) を登録したり呼び出したりするときに押します。
- ⑨ **テンキー**
印刷枚数や各種設定値の入力に使用します。
- ⑩ **[C] キー**
入力した文字や数字を取り消すときに押します。
- ⑪ **[P (プログラム)] キー** (図 48)
[プログラム] を呼び出すときに押します。[プログラム] ON のときは、キー上のランプが点灯します。
- ⑫ **[+] キー**
[プログラム] (図 48) や [ユーザーモード] (図 54) を操作するときに押します。
- ⑬ **[×] キー**
[プログラム] (図 48) や [ユーザーモード] (図 54) を操作するときに押します。
- ⑭ **[製版] キー** (図 28)
製版基本画面に切り替えるときに押します。
- ⑮ **[印刷] キー**
印刷基本画面に切り替えるときに押します。
- ⑯ **[連続] キー** (図 22)
[連続] の ON/OFF を切り替えるときに押します。[連続] ON のときは、キーの上側のランプが点灯します。
- ⑰ **[ウェイクアップ] キー**
 - 本機がスリープ (節電) 状態のときは、キーが点灯します。押すと、使用可能な状態になります。
 - 認証機能 (図 67) が有効な場合、認証されている状態のときにキーが点灯します。押すと、認証状態が解除されます。(図 34 「認証状態を解除する」)
- ⑱ **[試し刷り] キー** (図 28)
試し刷りをするときに押します。
- ⑲ **[スタート] キー**
製版や印刷を開始するときや、各種動作を実行するときに押します。キー上のランプは、動作できるときは点灯、動作できないときは消灯しています。
- ⑳ **[ストップ] キー**
実行中の動作を中止するときに押します。ただし、製版動作中は、製版終了後に停止します。
- ㉑ **[リセット] キー**
現在の設定を初期値に戻すときや、トラブル処理後にエラー表示を解除するときなどに押します。

■ サブパネル



① 変倍設定エリア (39)

変倍率を設定できます。

② 読取濃度調節エリア (38)

原稿の読取濃度を調節できます。

③ 【ブック】 キー (38)

④ 【インターフェース】 キー (29)

パソコンからの原稿データを受信する前に押します。
ONのときは、キー上部のランプが点灯します。

⑤ 【ユーザーモード】 キー (54)

初期設定などを変更するときに押します。設定中は、キー上部のランプが点灯します。

⑥ 【連写】 キー (40)

1枚の用紙に原稿を2面割り付けるときに押します。
ONのときは、キー上部のランプが点灯します。

⑦ 【省インク】 キー (39)

インク消費量を抑える処理をするときに押します。

⑧ 【アイドリング】 キー (51)

ドラムを長時間使っていなかった場合に、刷り始めのかすれを軽減できます。ONのときは、キー上部のランプが点灯します。

⑨ 【えんぴつ】 キー (37)

えんぴつで書かれた原稿や、朱肉のスタンプなどの薄い原稿に適した画像処理を適用できます。ONのときは、キー上部のランプが点灯します。

⑩ 【機密】 キー (52)

使用済みのマスターを破棄するときに押します。
ONのときは、キー上部のランプが点灯します。

⑪ 【網点】 キー (37)

写真の階調を表現するための処理方法を選択できます。選択した処理方法に応じて、キー上部のランプが点灯します。

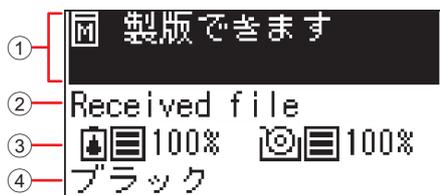
⑫ 【原稿モード】 キー (36)

原稿の種類に適した画像処理を選択できます。選択した画像処理に応じて、キー上部のランプが点灯します。

液晶パネルの表示について

代表的な画面表示について説明します。

製版基本画面



① メッセージエリア

操作説明や本機の状況を確認できます。

表示	説明
	製版モード
	速度優先製版 (45)
	紙メモリープリント (75)

② 原稿データ表示

パソコンや USB メモリーから原稿データを受信すると、[Received file] と表示されます。原稿データを受信していないときは、空欄です。

③ 消耗品情報

インクやマスターの残量を確認できます。

: インクの残量

: マスターの残量

- 参考**
- ▶ 残量が 10% 以下になると、残量アイコン () が点滅します。
 - ▶ インクボトルやマスターロールから情報を取得できなかった場合は、残量表示されず、消耗品のアイコン (/) が点滅します。

④ インク色

本機にセットされているドラムのインク色を確認できます。

- 参考**
- ▶ インクボトルから情報を取得できなかった場合は、[ブラック] または [カラー] と表示され、点滅します。

印刷基本画面



① 印刷位置 (天地方向)

印刷位置 (45) が、天方向と地方向のどちらに移動されているかを確認できます。

表示	印刷位置
	地方向に移動
	標準位置
	天方向に移動

② 重送検知表示

本機には、複数の用紙が重なったまま給紙された (重送した) と検知すると、印刷を自動停止する機能があります。

[ユーザーモード] の [36:重送検知] (60) が [1:ON] に設定されている場合に、アイコン () が表示されます。

(このアイコンは、停止中の印刷基本画面にのみ表示されます。動作中や、製版基本画面には表示されません。)

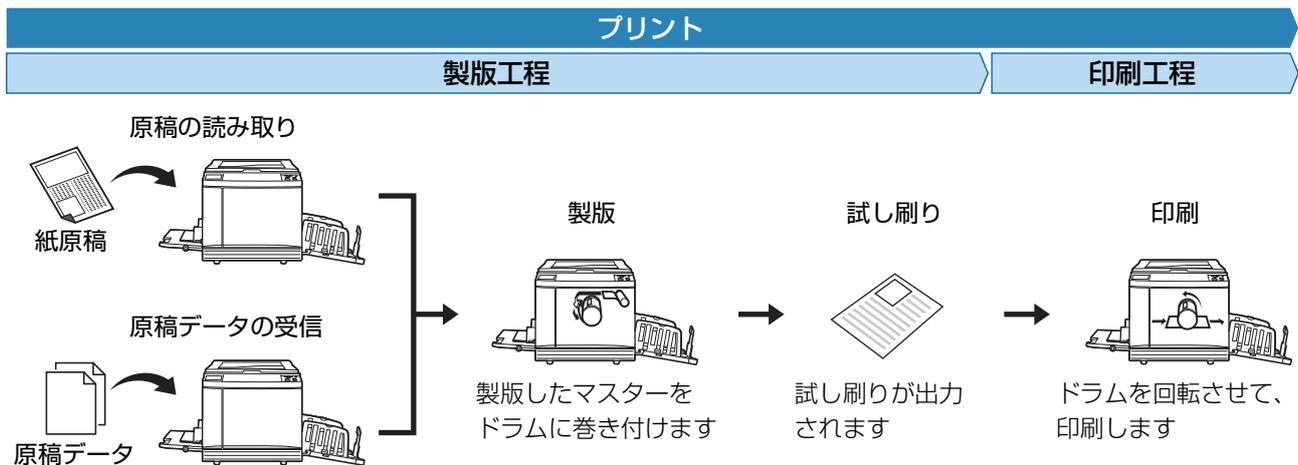
プリントの流れ

「製版」と「印刷」

本機は、孔版印刷方式のデジタル印刷機です。孔版印刷とは、印刷の元となるマスター（版）に細かい孔（あな）を開け、そこから押し出したインクを用紙に転写する印刷方式です。

孔版印刷では、マスターを作ること「製版」、製版されたマスターを通してインクが染み出し、用紙に画像が転写されることを「印刷」と呼びます。

また、本書では、この「製版」と「印刷」の工程をまとめて「プリント」と呼びます。



「連続」とは

製版工程と印刷工程を続けて行うことを「連続」と呼びます。

「連続」の ON/OFF は、操作パネルの「連続」キー（ 19）を押すことで切り替えられます。

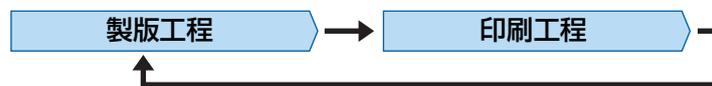
■ 「連続」が ON の場合

製版工程の後に、続いて印刷工程が始まります。

印刷完了後、自動原稿送り装置（オプション）に次の原稿がある場合には、次の原稿の製版が始まります。

（原稿台ガラスに原稿をセットした場合は、印刷完了後に停止します。）

試し刷りの確認や、印刷条件、製版条件の変更が必要ない場合に設定します。



■ 「連続」が OFF の場合

試し刷りの後と印刷完了後に、本機の動作が停止します。

試し刷りを確認して印刷条件を変更したり、用紙を交換したりする場合に設定します。





第 2 章

2

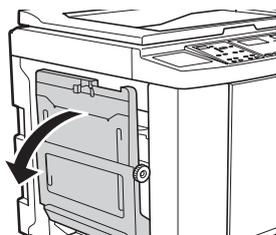
基本操作

プリント前の準備

給紙台と用紙のセット

1 給紙台を開く

給紙台に手を添えたまま、止まるまで開きます。



2 給紙台に用紙を置く

用紙は、印刷する面を上にしします。用紙をセットする向きは、原稿の向きと合わせます。

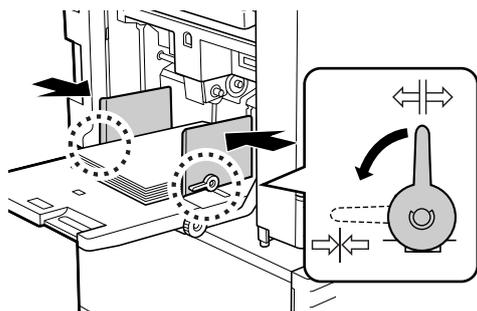
(☞ 27 「原稿をセットする」)



- ▶ 不適切な用紙の使用や、サイズが異なる用紙の混載はしないでください。紙づまりや故障の原因になります。
(☞ 12 「用紙について」)

3 給紙フェンスを調節する

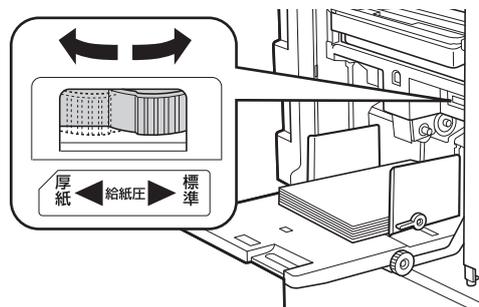
給紙フェンスの左右にあるロックレバーを立てると、給紙フェンスを手でスライドできます。給紙フェンスを用紙にぴったりと合わせた後、左右のロックレバーを倒して固定します。



- ▶ 本機は、給紙フェンスの位置で用紙サイズを識別しています。給紙フェンスを用紙にぴったりと合わせてください。

4 給紙圧を調節する

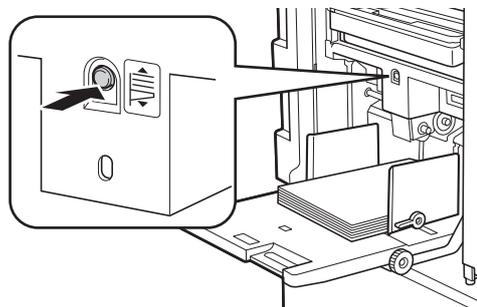
用紙の紙質に合わせて、給紙圧レバーを切り替えます。



レバー	紙質
標準	理想用紙、更紙、上質紙など
厚紙	画用紙などの厚紙、滑りやすい用紙

■ 用紙の追加と載せ替え

印刷の途中で用紙の追加や載せ替えを行うときは用紙の出し入れをしやすい位置まで給紙台を下げてから行います。給紙台上下ボタン (☞ 16) を押し続けると給紙台が下がり、指を離れた位置で止まります。



- ▶ 紙質が異なる用紙に載せ替えたときは、給紙圧レバーを切り替えてください。
- ▶ サイズが異なる用紙に載せ替えたときは、排紙フェンスとストッパーも調節してください。



- ▶ 用紙がなくなったときや用紙をすべて取り除いたときは、給紙台が自動で最下部まで下がります。

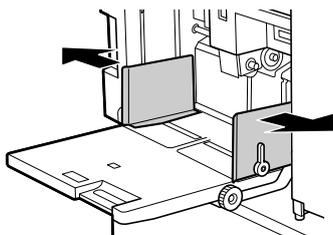
■ 給紙台の閉じかた

1 用紙をすべて取り除く

用紙を取り除いた後、給紙台が最下部まで下がったことを確認します。

2 給紙フェンスを端まで広げる

給紙フェンスのロックレバーを立て、給紙フェンスを手でスライドさせます。

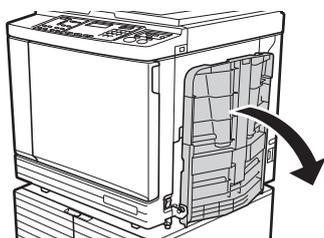


3 給紙台を閉じる

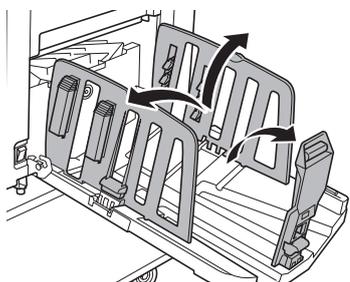
排紙台のセット

1 排紙台を開く

排紙台に手を添えたまま、止まるまで開きます。



2 排紙フェンスとストッパーを立てる

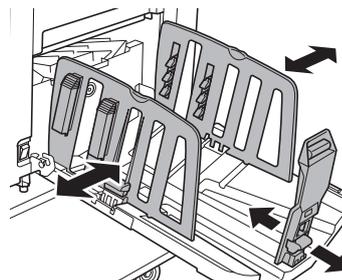


3 排紙フェンスとストッパーを用紙サイズに合わせる

排紙フェンスとストッパーは、下部を持ってスライドします。

排紙台についている目盛を目安として調節します。

ストッパーは、定形サイズの位置でカチカチと止まります。



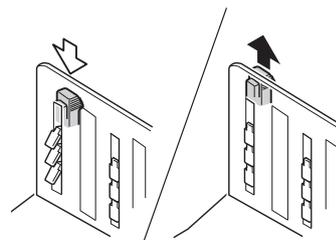
重要

- ▶ 厚紙を使用するときは、排紙フェンスを用紙の幅より少し広めにセットしてください。
- ▶ 排紙フェンスの最適な位置は、紙質、印刷速度、使用環境などによって異なります。排紙台についている目盛は目安とし、印刷物の紙揃え状態に応じて排紙フェンスの位置を調整してください。
- ▶ 給紙台の左右位置を調整した場合は、排紙フェンスの位置も合わせてください。給紙台と排紙フェンスの位置が合っていないと、紙づまりの原因になります。

4 紙揃えプレートを調節する

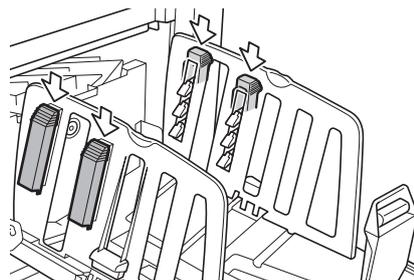
印刷物が揃うように、用紙に合わせて紙揃えプレートを調節します。

- 紙揃えプレートを出すときは、紙揃えプレートノブを押します。
- 紙揃えプレートをたたむときは、紙揃えプレートノブを引き上げます。



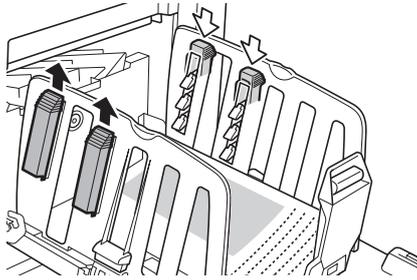
■ 通常の場合

4つの紙揃えプレートをすべて出します。



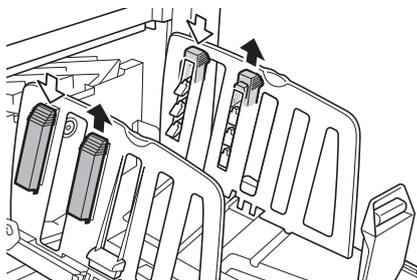
■ 印刷部分が片寄っている場合

塗りつぶし面が多い側の紙揃えプレートだけを出します。



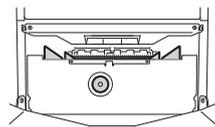
■ 厚い用紙の場合

本体に近い側の紙揃えプレートだけを出します。



5 排紙ウイングを調節する

排紙ウイング調節ダイヤルを、用紙の紙質やサイズに応じた位置に回します。

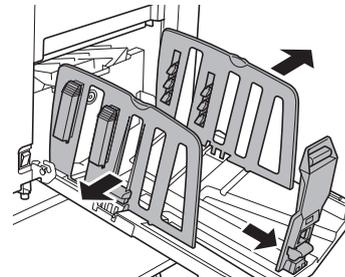


紙質	用紙サイズ	ダイヤル
標準	B4 以上	
	B4 未満	
厚紙	—	

■ 排紙台の閉じかた

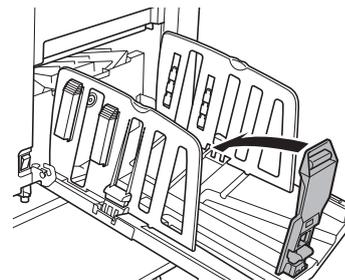
1 印刷物をすべて取り除く

2 排紙フェンスとストッパーを端まで広げる

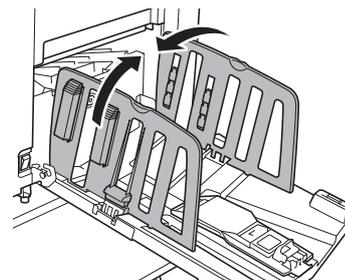


3 紙揃えプレートをすべてたたむ

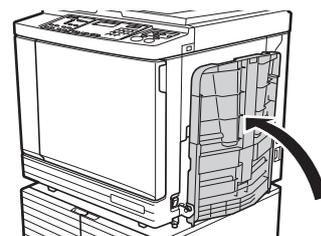
4 ストッパーを内側に倒す



5 排紙フェンスを内側に倒す



6 排紙台を閉じる



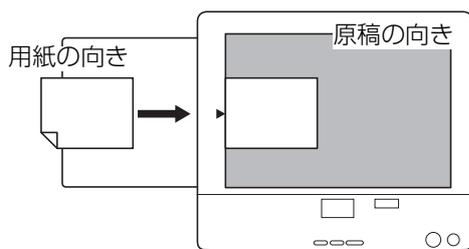
原稿をセットする

原稿台ガラスまたは自動原稿送り装置（オプション）を使って、原稿を読み取ることができます。

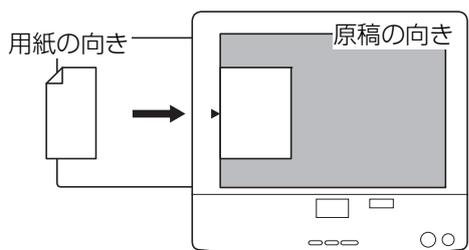
■ 原稿と用紙の向きの関係

原稿と用紙の向きは、以下のように合わせます。

短辺給紙



長辺給紙



- ▶ 印刷できる最大範囲は、251×357 mm（B4 サイズ相当）です。
原稿が上記のサイズよりも大きい場合は、縮小して製版してください。
（☞ 39 「原稿を拡大／縮小する【変倍】」）



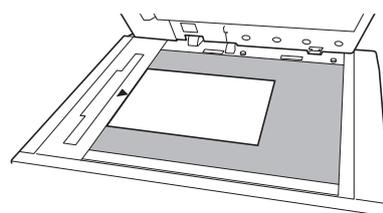
- ▶ [連写]（☞ 40）の設定時は、原稿と用紙をセットする向きが異なります。

原稿台ガラスにセットする場合

1 原稿台カバーを開ける

2 原稿を原稿台ガラスに載せる

原稿の読み取り面を下向きにして、中央を [▶] マークに合わせます。



3 原稿台カバーを閉じる



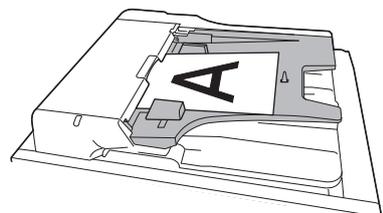
- ▶ 原稿台カバーは静かに閉じてください。
原稿台カバーを勢いよく閉じると、原稿台ガラスの破損や原稿読み取りエラーが発生する原因となります。

2

自動原稿送り装置にセットする場合

1 原稿を自動原稿送り装置に載せる

原稿の読み取り面を上向きにします。



- ▶ 自動原稿送り装置は、セットできる原稿のサイズと枚数に制限があります。
（☞ 11 「原稿について」）

2 原稿セットフェンスを原稿の幅に合わせる



- ▶ 本機は、原稿セットフェンスの位置で原稿サイズを識別しています。原稿セットフェンスを原稿にぴったりと合わせてください。

紙原稿をプリントする

ここでは、紙の原稿を読み取ってプリントする操作手順を説明します。

1 本機の電源が ON になっていることを確認する

電源スイッチの [I] を押します。

- 参考**
- ▶ 電源を ON にしたときに [エコモード] と表示された場合は、[エコモード] (459) が設定されています。
 - ▶ 「認証画面」 (433) が表示された場合は、認証操作を行ってください。

2 用紙を確認する

(424 「給紙台と用紙のセット」)

3 排紙台を確認する

(425 「排紙台のセット」)

4 原稿をセットする

(427 「原稿をセットする」)

5 製版基本画面が表示されていることを確認する

製版基本画面以外が表示されている場合は、[製版] キー (419) を押します。



6 [連続] の設定を確認する

(422 「[連続] とは」)

7 製版条件を設定する

(436 「製版するときに設定する機能」)

(448 「便利な機能」)

8 テンキーで印刷枚数を入力する

9 [スタート] キーを押す

製版が開始され、試し刷りが 1 枚排出されます。

- [連続] が ON の場合：手順 12 へ進みます。
- [連続] が OFF の場合：手順 10 へ進みます。

- 参考**
- ▶ アイドリング (インクをなじませる動作) が自動的に実行されることがあります。[ユーザーモード] の [オートアイドルング時間] (455) で、設定を変更できません。

10 印刷条件を設定する

試し刷りを見て、印刷位置や濃度などを確認します。

(444 「印刷するときに設定する機能」)

- 参考**
- ▶ [試し刷り] キーを押すと、再度試し刷りで仕上がりを確認できます。
 - ▶ 長期間使用していないとドラム上のインクが乾き、プリントしたときに色がかすれたり薄くなったりすることがあります。その場合は、インクをなじませるため、何枚か試し刷りをしてください。[試し刷り] キーを押しつづけると、連続して試し刷りできます。

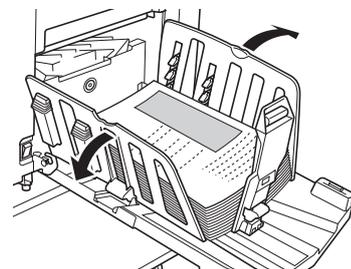
11 [スタート] キーを押す

印刷が開始されます。

- 参考**
- ▶ 印刷を中断したいときは、[ストップ] キーを押します。

12 印刷物を取り出す

排紙フェンスを外側に倒すと、印刷物を取り出しやすくなります。

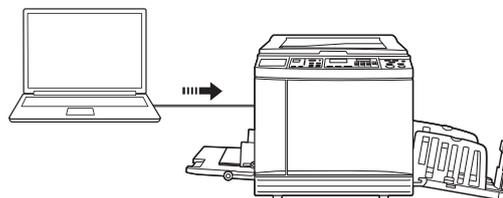


参考

- ▶ 追加印刷したい場合は、印刷枚数を入力して [スタート] キーを押します。
- ▶ 次の原稿の製版に移りたい場合は、手順4から繰り返します。
- ▶ 自動原稿送り装置 (オプション) に原稿をセットした場合、[AF オート製版] (☞ 57) が ON のときは自動で次の原稿の製版が始まります。原稿ごとに手順 10 から繰り返します。
- ▶ 認証状態を解除するには、[ウェイクアップ] キーを押します。(☞ 34) [オートスリープ設定] (☞ 56) または [オートクリア時間] (☞ 56) で設定された時間が経過しても解除されます。

パソコンからプリントする

パソコンで作成した原稿データを、本機でプリントできます。



重要

- ▶ あらかじめ、パソコンに本機専用のプリンタドライバをインストールしておく必要があります。

1 本機の電源を ON にする

電源スイッチの [I] を押します。

参考

- ▶ 電源を ON にしたときに [エコモード] と表示された場合は、[エコモード] (☞ 59) が設定されています。
- ▶ 「認証画面」 (☞ 33) が表示された場合は、認証操作を行ってください。

2

2 用紙を確認する

(☞ 24 「給紙台と用紙のセット」)

3 排紙台を確認する

(☞ 25 「排紙台のセット」)

4 [インターフェース] を ON にする

[インターフェース] ランプが消灯している場合は、[インターフェース] キーを押して点灯させます。





▶ [インターフェース] ランプが点滅しているときに [インターフェース] キーを押すと、受信中または受信済みの原稿データが消去されます。ご注意ください。

5 パソコンの印刷ダイアログボックスでプリント条件を設定する

[プリンターの選択] でお使いの印刷機名を選択し、[部数] を入力します。

■ 印刷ダイアログボックスの例

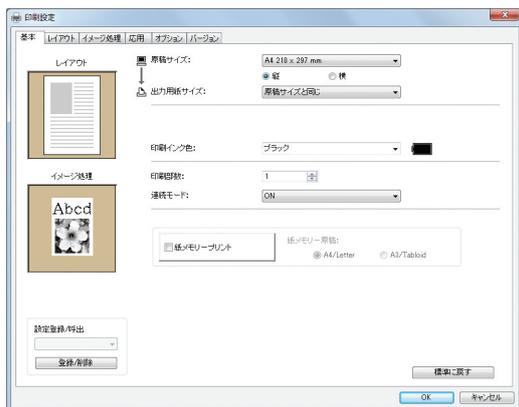


▶ [部単位で印刷] のチェックを外してください。チェックが入っていると、1 枚印刷するたびに製版が繰り返されます。

6 [印刷設定] *1 画面で各種設定をする

印刷ダイアログボックスで [詳細設定] *1 をクリックし、以下の設定をします。

*1：画面名とボタン名は、お使いのアプリケーションソフトにより異なることがあります。



■ [基本] タブ画面

[連続モード]：製版前・印刷前に、一時停止して各種設定、用紙の交換などができます。

■ その他のプリント設定

詳しくは、「リソープリンタードライバー取扱説明書」(DVD-ROM) をご覧ください。

7 [OK] をクリックする

印刷ダイアログボックスに戻ります。

8 [印刷] *2 をクリックする

プリンタードライバーの設定内容で原稿データがプリントされます。

*2：ボタン名は、お使いのアプリケーションソフトにより異なる場合があります。

- [連続モード] が [ON] の場合：製版に続いて印刷が開始されます。
- [連続モード] が [OFF] の場合：設定に応じて、必要な操作をします。
(☞ 30 「[連続モード] が [OFF] の場合」)

参考

▶ アイドリング (インクをなじませる動作) が自動的に実行されることがあります。[ユーザーモード] の [オートアイドル時間] (☞ 55) で、設定を変更できます。

[連続モード] が [OFF] の場合

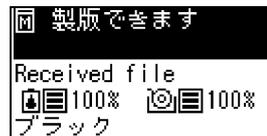
プリンタードライバーで選択した [連続モード] の設定に応じて、操作が異なります。

■ [OFF- 製版前ストップ (オート印刷)] のとき

各ページの製版前に一時停止します。製版後、印刷は自動で行われます。

1 製版基本画面に「Received file」と表示されていることを確認する

製版基本画面以外が表示されている場合は、[製版] キー (☞ 19) を押します。



2 [スタート] キーを押す

製版後、印刷が開始されます。

試し刷りの後は一時停止しません。

印刷が終わると、次ページの製版が開始される前に、一時停止します。ページごとに手順 1～2 を繰り返します。

■ [OFF- 印刷前ストップ (オート製版)] のとき

各ページの製版は自動で行われ、試し刷りが1枚印刷されて一時停止します。

1 印刷条件を確認する

試し刷りを見て、印刷位置や濃度などを確認します。必要に応じて各種設定をします。

2 [スタート] キーを押す

印刷が開始されます。印刷が終わると、次ページの製版が開始され、試し刷りの後に一時停止します。ページごとに手順1～2を繰り返します。

■ [OFF- 製版前、印刷前ストップ] のとき

各ページの製版前と印刷前に、一時停止します。

1 製版基本画面に「Received file」と表示されていることを確認する

製版基本画面以外が表示されている場合は、[製版] キー (F19) を押します。



2 [スタート] キーを押す

製版が開始されます。製版が終わると、試し刷りの後に一時停止します。

3 印刷条件を確認する

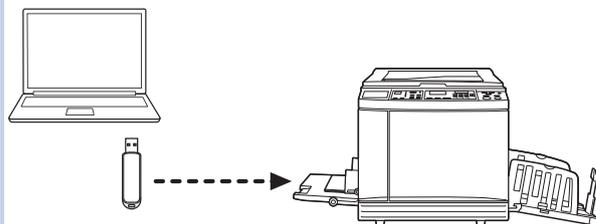
試し刷りを見て、印刷位置や濃度などを確認します。必要に応じて各種設定をします。

4 [スタート] キーを押す

印刷が開始されます。印刷が終わると、次ページの製版が開始される前に一時停止します。ページごとに手順1～4を繰り返します。

USB メモリーを利用してプリントする

プリンタードライバーを使って USB メモリーに保存した原稿データを、本機でプリントできます。



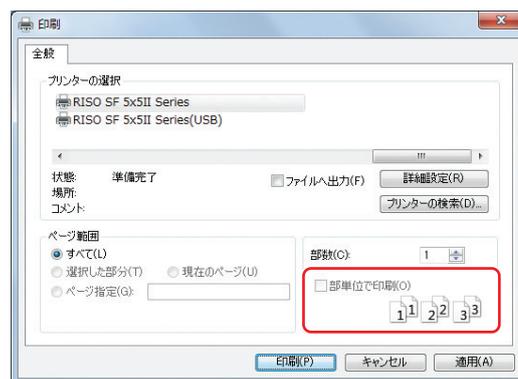
- 重要**
- ▶ あらかじめ、USB メモリー専用のプリンタードライバーをパソコンにインストールしておく必要があります。
 - ▶ 以下の手順1～6以外の方法で保存された原稿データ (PDF ファイルなど) はプリントできません。

1 USB メモリーをパソコンに接続する

2 パソコンの印刷ダイアログボックスでプリント条件を設定する

[プリンターの選択] で USB メモリー専用のプリンタードライバーを選択します。(お使いの印刷機名に「(USB)」が付いた名称になっています。)

■ 印刷ダイアログボックスの例



- 重要**
- ▶ [部単位で印刷] のチェックを外してください。チェックが入っていると、1枚印刷するたびに製版が繰り返されます。

3 [印刷設定] *¹ 画面で各種設定をする

印刷ダイアログボックスで [詳細設定] *¹ をクリックし、以下の設定をします。

*1 : 画面名とボタン名は、ご使用のアプリケーションソフトにより異なることがあります。

■ [基本] タブ画面

[連続モード] : 製版前・印刷前に、一時停止して各種設定、用紙の交換などができます。

■ その他のプリント設定

詳しくは、「リソープリンタードライバー取扱説明書」(DVD-ROM) をご覧ください。

4 [OK] をクリックする

印刷ダイアログボックスに戻ります。

5 [印刷] *² をクリックする

*2 : ボタン名は、お使いのアプリケーションソフトにより異なることがあります。

6 USB メモリーを取り外す

原稿データの保存処理中は、Windows のタスクバーにプリンタアイコンが表示されます。タスクバーのプリンタアイコンが消えたら、USB メモリーをパソコンから取り外します。



- ▶ 保存処理中は、USB メモリーを取り外さないでください。データの消失や USB メモリーの故障の原因になります。
- ▶ 処理が完了するまで、数分かかることがあります。

7 本機の電源を ON にする

電源スイッチの [I] を押します。



- ▶ 電源を ON にしたときに [エコモード] と表示された場合は、[エコモード] (49) が設定されています。
- ▶ 「認証画面」 (33) が表示された場合は、認証操作を行ってください。

8 用紙を確認する

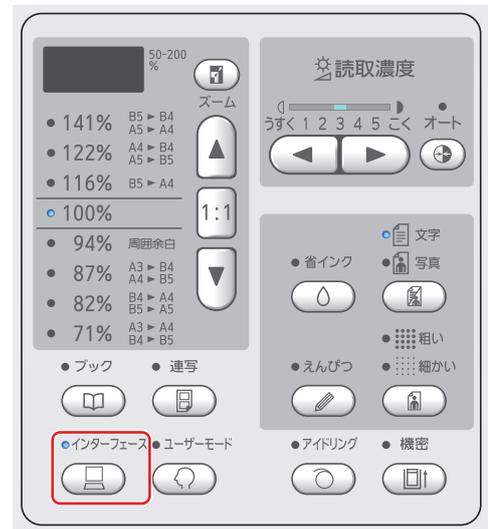
(42 24 「給紙台と用紙のセット」)

9 排紙台を確認する

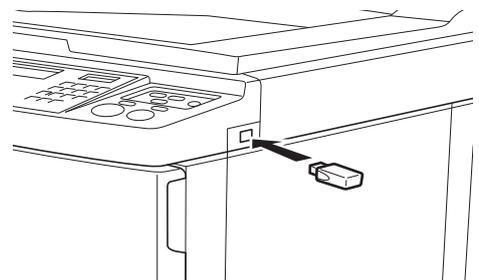
(42 25 「排紙台のセット」)

10 [インターフェース] を ON にする

[インターフェース] ランプが消灯している場合は、[インターフェース] キーを押して点灯させます。



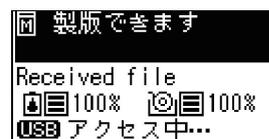
11 原稿データが保存された USB メモリーを USB ポートに挿入する



- [連続モード] が [ON] の場合 : 製版に続いて印刷が開始されます。
- [連続モード] が [OFF] の場合 : 設定内容に応じて、必要な操作をします。(42 30 「[連続モード] が [OFF] の場合」)



- ▶ 原稿データの処理中は、画面に [[USB] アクセス中...] と表示されます。この表示が出ている間は、USB メモリーを取り外さないでください。データの消失や USB メモリーの故障の原因になります。



- ▶ 製版後、USB メモリー内の原稿データは自動的に消去されます。

12 USB メモリーを取り外す

[[USB] アクセス中...] の表示が消えていることを確認してから、USB メモリーを取り外します。

認証して使う

「認証」とは、ユーザーごとに割り当てられた暗証番号などを利用して、本機のユーザーを識別することです。ユーザーを識別することにより、ユーザーごとの管理やセキュリティの強化ができます。

認証操作をする

以下の認証画面が表示されている場合は、[ユーザーモード] の [認証有無] (☞ 67) が [ON] に設定されています。

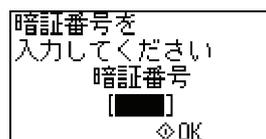
この場合、本機を使うには認証操作をする必要があります。

認証操作には、以下の2通りの方式があります。

どちらの方式を使うかは、[ユーザーモード] の [認証方式] (☞ 67) で設定されています。

2

■ 暗証番号を入力する方式



1 暗証番号をテンキーで入力する

入力した番号は「*」と表示されます。

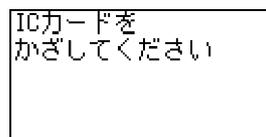
2 [スタート] キーを押す

認証画面が消えて、本機を使えるようになります。



- ▶ 入力した暗証番号が間違っていると、ブザーが鳴ります。暗証番号を入力し直してください。
- ▶ 暗証番号は、[環境設定] の [ユーザー登録] (☞ 68) で確認、変更できます。
- ▶ [利用停止] (☞ 69) が設定されているユーザーが認証操作を行うと、ブザーが鳴り、エラー番号 (F39) が表示されます。[リセット] キーを押すと、エラーを解除できます。

■ IC カードリーダー (オプション) を使う方式



1 登録済みの IC カードを IC カードリーダーにタッチする

認証画面が消えて、本機を使えるようになります。

IC カードを IC カードリーダーから離してください。

IC カードを離しても、認証状態は継続します。



- ▶ IC カードが正しく読み取れなかった場合は、ブザーが鳴ります。タッチし直してください。
- ▶ 認証用の IC カードを本機に登録しておく必要があります。(☞ 68 [ユーザー登録])
- ▶ [利用停止] (☞ 69) が設定されているユーザーが認証操作を行うと、ブザーが鳴り、エラー番号 (F39) が表示されます。[リセット] キーを押すと、エラーを解除できます。

認証状態を解除する

認証操作が成功して、本機がユーザーを識別している状態のことを「認証状態」と呼びます。

本機の使用後は、認証状態を解除してください。



- ▶ 認証を解除しないと、他のユーザーでも本機を使用できてしまいます。

1 点灯している [ウェイクアップ] キーを押す



認証状態のときは、スリープしていなくても [ウェイクアップ] キー (☞ 19) が点灯しています。このときに [ウェイクアップ] キーを押すと、認証が解除されます。



- ▶ [オートクリア設定] (☞ 56) または [オートスリープ設定] (☞ 56) で設定された時間が経過しても、自動的に認証が解除されます。



第 3 章

3

製版機能を設定する

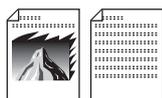
製版するときに設定する機能

各機能の詳細や設定手順については、参照ページをご覧ください。

■ 画像処理に関する機能

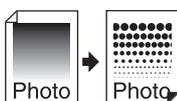
【原稿モード】【えんぴつ】 (36)

原稿の種類に適した処理を設定できます。



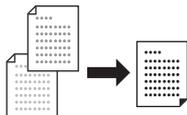
【網点】 (37)

写真の階調を表現するための処理方法を設定できます。



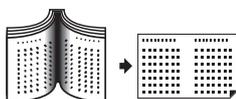
【読取濃度】 (38)

原稿の地色や濃淡にあわせて、読取濃度を調節できます。



【ブック】 (38)

冊子のとじ部分の影を消去できます。



【省インク】 (39)

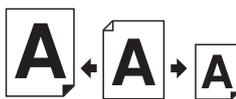
インク消費量を抑える処理ができます。



■ レイアウトに関する機能

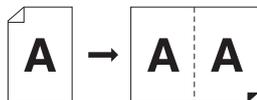
【変倍】 (39)

原稿を拡大または縮小できます。



【連写】 (40)

1枚の用紙に原稿を2面割り付けられます。



原稿に適した画像処理をする 【原稿モード】【えんぴつ】

原稿の種類に適した処理を選択することによって、より鮮明な画像を得ることができます。
【原稿モード】と【えんぴつ】のどちらかを設定します。

参考 ▶【ユーザーモード】の【原稿モード】(55)で、初期設定を変更できます。

【原稿モード】

原稿に含まれる文字や写真の割合に適した処理を選択します。

1 【原稿モード】キーを押す



【原稿モード】キーを押すたびに、設定が変更されます。

■ 【文字】

写真を含まない原稿の場合に選択してください。文字や、濃淡が変化しない絵をくっきりと表現したい場合に適しています。

参考 ▶【網点】(37)とは併用できません。

■ 【写真】

写真の鮮明さを重視したい場合に適しています。

参考 ▶【読取濃度】(38)の【オート】とは併用できません。
▶【網点】(37)で、写真の階調を表現するための処理方法を変更できます。

■ [文字・写真]

[文字] と [写真] が両方とも点灯します。
文字と写真の鮮明さを両立したい場合に適しています。

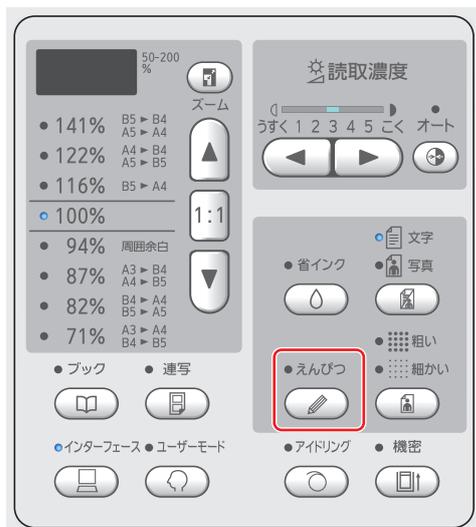
- 参考**
- ▶ [ユーザーモード] の [文字写真画質設定] (☞ 59) で、画質を変更できます。
 - ▶ [読取濃度] (☞ 38) の [オート] とは併用できません。
 - ▶ [網点] (☞ 37) で、写真の階調を表現するための処理方法を変更できます。

【えんぴつ】

えんぴつで書かれた原稿や、朱肉のスタンプなどの薄い原稿に適しています。

- 参考**
- ▶ [ユーザーモード] の [えんぴつモード画質設定] (☞ 59) で、画質を変更できます。
 - ▶ 以下の機能とは併用できません。
 - [網点] (☞ 37)
 - [読取濃度] (☞ 38) の [オート]

1 【えんぴつ】 キーを押す



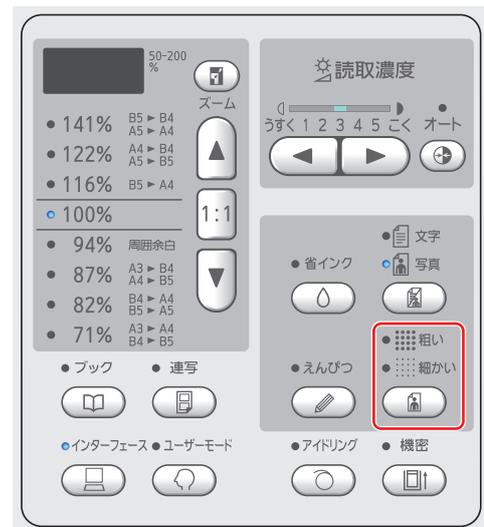
[原稿モード] キーを押すと、[えんぴつ] は OFF になります。

写真の階調の処理方法を選択する 【網点】

写真の階調を表現するための処理方法を設定できます。

- 参考**
- ▶ [網点] を設定できるのは、[原稿モード] (☞ 36) を [写真] または [文字・写真] に設定しているときだけです。

1 【網点】 キーを押す



[網点] キーを押すたびに、設定が変更されます。

■ [OFF]

写真の階調が誤差拡散法で処理されます。
不規則に配置される点の密度の変化によって、階調が表現されます。

■ 【粗い】 / 【細かい】

写真の階調が網点で処理されます。
規則的に配置された点の大きさの変化によって、階調が表現されます。

【粗い】：53 線相当

【細かい】：106 線相当

原稿の読取濃度を調節する 【読取濃度】

原稿の下地色や文字の濃淡などに合わせて、読取濃度を調節できます。

- 参考**
- ▶ [ユーザーモード] の [読取濃度] (45) で、初期設定を変更できます。
 - ▶ [省インク] (49) が ON のときは、[読取濃度] は変更できません。

1 読取濃度調節キーを押す



- [オート] キーを押すたびに、[オート] の ON/OFF が切り替わります。
- [◀] キーを押すたびに、1 段階ずつ薄くなります。
- [▶] キーを押すたびに、1 段階ずつ濃くなります。

■ 【オート】

[原稿モード] (46) で [文字] を選択している場合にだけ、選択できます。

[オート] に設定すると、原稿の下地色に合わせて、最適な読取濃度に調節されます。

■ 【1】 ~ 【5】

5 段階で調節できます。

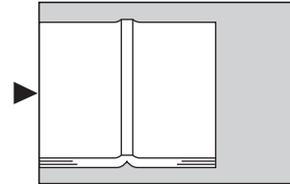
【1】 に設定すると、最も薄くなります。

【5】 に設定すると、最も濃くなります。

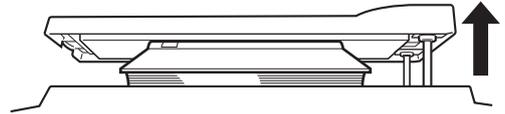
冊子になっている原稿を使う 【ブック】

冊子のように中央でとじられている原稿を読み取る場合に、とじ部分の影を消去することができます。

- 重要**
- ▶ 原稿は、必ず原稿台ガラスのセンターにあわせて下図の向きでセットしてください。



- 参考**
- ▶ 厚い冊子を読み取る場合は、原稿台カバーのヒンジを引き上げると、冊子を水平に押さえることができます。



- ▶ [ユーザーモード] の [ブックモード原稿サイズ] (45) で、読み取る原稿サイズを変更できます。
- ▶ [ユーザーモード] の [ブックモードセンター幅] (45) で、消去する範囲を変更できます。
- ▶ 以下の機能とは併用できません。
 - [連写] (40)
 - [速度優先製版] (58)

1 【ブック】 キーを押す



インクを節約する【省インク】

【省インク】をONにして製版すると、印刷時のインク消費量を通常より減らすことができます。

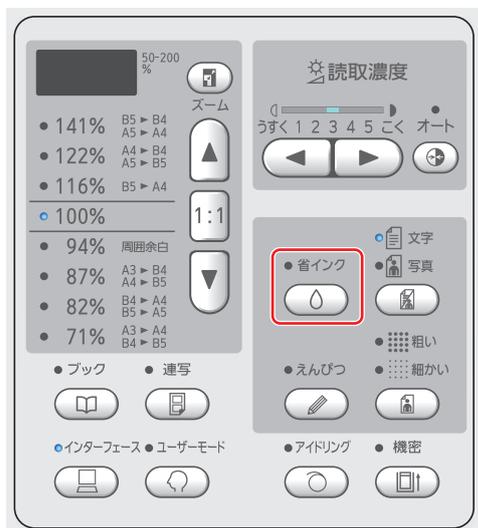


- ▶ 【省インク】をONにすると、印刷濃度が薄くなります。
- ▶ 印刷時に【省インク】の設定を変更しても、ドラムにセットされている製版済みのマスターには反映されません。【省インク】の設定変更は、次回の製版時に反映されます。



- ▶ 【省インク】がONのとき、以下の機能は設定変更できません。
 - 【読取濃度】(45)
 - 【印刷濃度】(45)

1 【省インク】キーを押す



原稿を拡大／縮小する【変倍】

原稿を拡大または縮小して読み取ることができます。



- ▶ 製版範囲より外側の画像はプリントされません。(43「製版範囲」)



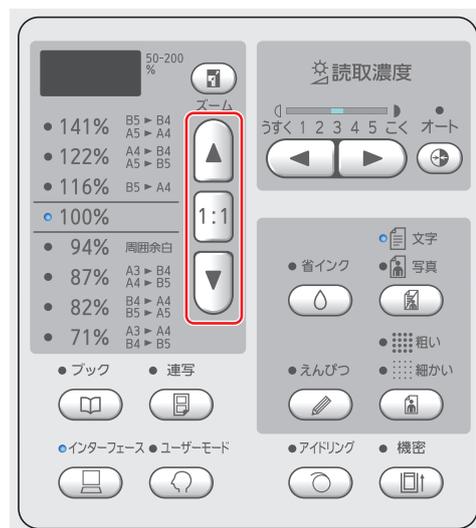
- ▶ 変倍率を【100%】以外に設定すると、【速度優先製版】(58)は動きません。

設定のしかたは、以下の2種類から選択できます。

- 【固定変倍】：変倍率を選択するだけで設定できます。
- 【ズーム変倍】：任意の変倍率を設定できます。

【固定変倍】

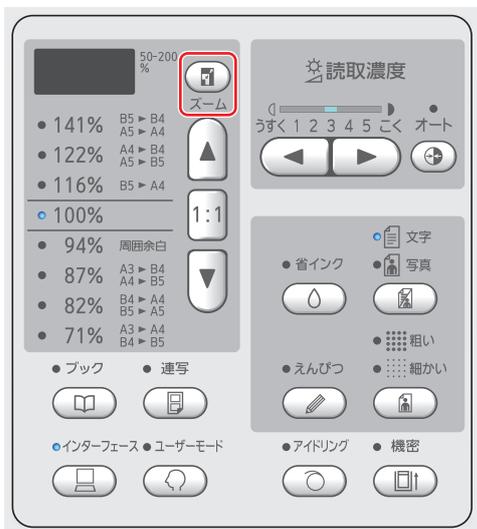
1 変倍率を選択する



- 【▲】【▼】キーを押すと、選択した変倍率のランプが点灯します。
- 【1:1】(等倍)キーを押すと、変倍率が100%に戻ります。

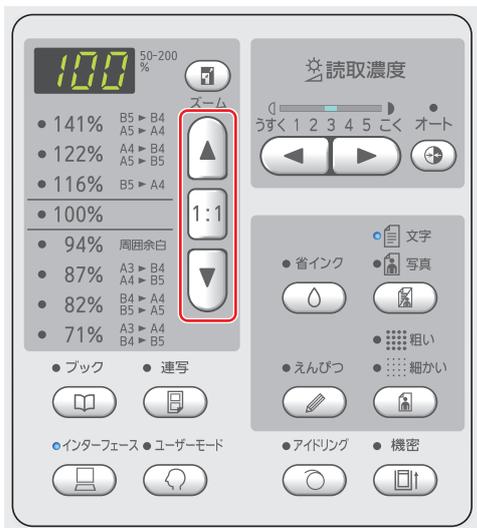
[ズーム変倍]

1 [ズーム] キーを押す



[ズーム] キーの左側に、変倍率が表示されます。

2 変倍率を指定する



- [▲] キーを押すと、変倍率が1%ずつ大きくなります。
- [▼] キーを押すと、変倍率が1%ずつ小さくなります。
- [1:1] (等倍) キーを押すと、変倍率が100%に戻ります。

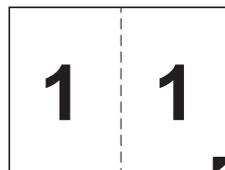
1 枚の用紙に原稿を2面割り付ける [連写]

1枚の用紙に原稿を複数割り付けることを「連写」といいます。

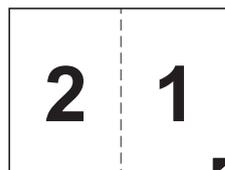
- 参考** ▶ 以下の機能とは併用できません。
- [ブック] (☞ 38)
 - [速度優先製版] (☞ 58)

■ 仕上がりイメージ

原稿が1枚の場合 (「1 原稿連写」):



原稿が2枚の場合 (「2 原稿連写」):



1 原稿をセットする

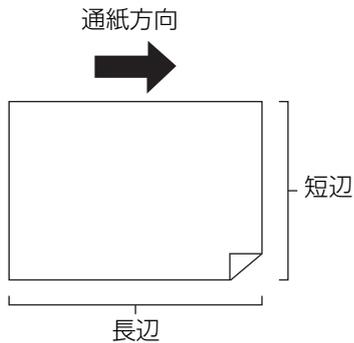
下図の向きでセットします。



- 参考** ▶ 原稿台ガラスに原稿をセットして「1 原稿連写」をする場合は、[ユーザーモード]で[連写待ち時間] (☞ 56) を[なし]に設定しておく、[スタート] キーを一度押すだけで連写できます。
- 「2 原稿連写」をする場合は、2枚目の原稿をセットするための待ち時間が必要なので、[15秒] または [30秒] に設定してください。(工場出荷時は[15秒]に設定されています。)
- ▶ 自動原稿送り装置 (オプション) で「2 原稿連写」をする場合、2枚目の原稿の設定を変更する必要がなければ、原稿を2枚重ねてセットします。2枚目の原稿の設定を変更したい場合は、原稿を1枚ずつセットします。

2 用紙をセットする

短辺給紙になるようにセットします。



3 排紙台をセットする

(☞ 25 「排紙台のセット」)

4 製版基本画面が表示されていることを確認する

製版基本画面以外が表示されている場合は、
[製版] キー (☞ 19) を押します。

5 [連写] キーを押す

6 その他の製版条件を設定する

(☞ 36 「製版するときに設定する機能」)

(☞ 48 「便利な機能」)

参考 ▶ 縮小または拡大する場合、通常と変倍率が異なります。下表の変倍率を指定してください。

		原稿			
		A4	B5	A5	B6
用紙	A3	100%	116%	141%	163%
	B4	87%	100%	122%	141%
	A4	71%	82%	100%	116%
	B5	61%	71%	87%	100%

		原稿			
		A6	B7	A7	B8
用紙	A3	200%	---	---	---
	B4	173%	200%	---	---
	A4	138%	163%	200%	---
	B5	122%	141%	173%	200%

7 [スタート] キーを押す

原稿の読み取りが開始されます。

1 回目の読み取りが終わると、待ち時間を知らせるブザーが鳴ります。その後の操作は以下のとおりです。

■ 原稿を原稿台ガラスにセットした場合

- ・「1 原稿連写」
そのまま [スタート] キーをもう一度押してください。
- ・「2 原稿連写」
待ち時間内に 2 枚目の原稿をセットして、必要があれば各種設定を行い、[スタート] キーをもう一度押してください。



▶ 待ち時間内に [スタート] キーを押さないと、片側が白紙でプリントされます。

■ 原稿を自動原稿送り装置にセットした場合

- ・「1 原稿連写」
待ち時間内に原稿をもう一度セットしてください。
自動的に読み取りが開始されます。
- ・「2 原稿連写」
原稿を重ねてセットしたときは、原稿が続けて読み取られ、自動的に製版が開始されます。
原稿を 1 枚ずつセットするときは、待ち時間内に各種設定を行い、2 枚目の原稿をセットしてください。
自動的に読み取りが開始されます。



▶ 待ち時間内に原稿をセットしないと、片側が白紙でプリントされます。



第 4 章

印刷機能を設定する

印刷するときに設定する機能

各機能の詳細や設定手順については、参照ページをご覧ください。

【速度】 (44)

印刷速度を調節できます。

【濃度】 (45)

印刷濃度を調節できます。

【印刷位置】 (45)

印刷位置を調整できます。

印刷速度を調節する【速度】

印刷速度を調節できます。

印刷前だけでなく、印刷中にも調節できます。

参考

▶ [ユーザーモード] の [印刷速度] (55) で、初期設定を変更できます。

1 印刷速度調節キー ([◀] [▶]) を押す



- [◀] キーを押すたびに、1段階ずつ遅くなります。
- [▶] キーを押すたびに、1段階ずつ速くなります。

印刷速度ランプの表示と印刷速度の関係は、以下の通りです。

ランプ	印刷速度 (枚/分)
	約 60
	約 80
	約 100
	約 120
	約 130
	約 150 ([ハイスピード])



- ▶ [ハイスピード] を使用できるのは、ドラム内部の温度が5℃以上のときです。ドラムが冷えている場合は、部屋を暖めたり、速度 [5] 以下でしばらく印刷したりして、ドラム内部が十分な温度になるまでお待ちください。
- ▶ 用紙の種類によっては、紙がつまりやすくなる場合があります。その場合は、速度を下げた状態で印刷してください。



- ▶ [ユーザーモード] の [合紙仕分け] (74) が [ON] のときは、[ハイスピード] は設定できません。

印刷濃度を調節する [濃度]

印刷濃度を調節できます。
印刷前だけでなく、印刷中にも調節できます。

参考

- ▶ [ユーザーモード] の [印刷濃度] (☞ 55) で、初期設定を変更できます。
- ▶ [省インク] (☞ 39) が ON のときは、印刷濃度は変更できません。

1 印刷濃度調節キー ([◀] [▶]) を押す

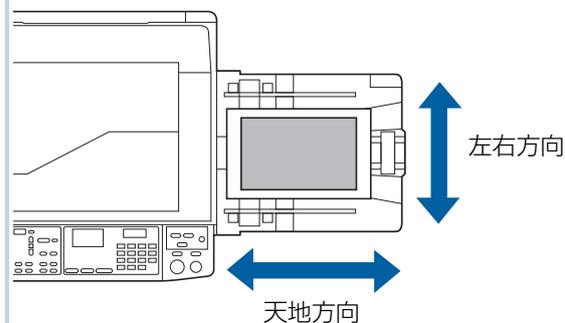


- [◀] キーを押すたびに、1 段階ずつ薄くなります。
- [▶] キーを押すたびに、1 段階ずつ濃くなります。

印刷濃度ランプに、現在の印刷濃度の段階が表示されます。

印刷位置を調整する [印刷位置]

印刷の位置を調整できます。
天地方向と左右方向で、調整方法が異なります。



天地方向の位置調整

操作パネルの印刷位置調整キーで調整します。
印刷前だけでなく、印刷中にも調整できます。

1 印刷位置調整キー ([◀] [▶]) を押す

[◀] または [▶] キーを押すたびに、印刷画像が約 0.5mm ずつ移動します。



参考

- ▶ [→0←] キーを押すと、標準の位置に戻ります。
- ▶ 調整後は、[試し刷り] キーを押して印刷物を確認してください。

重要

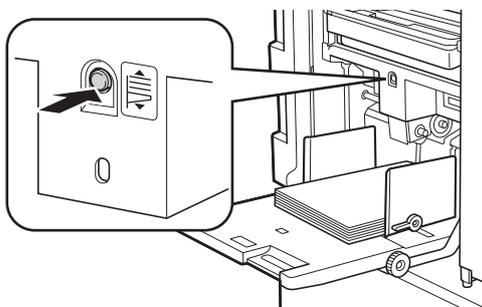
- ▶ 天地方向の印刷位置は、以下の操作をすると標準に戻ります。
 - [リセット] キーを押す
 - 電源を OFF にする

左右方向の位置調整

給紙台の左右位置調整ダイヤルで調整します。

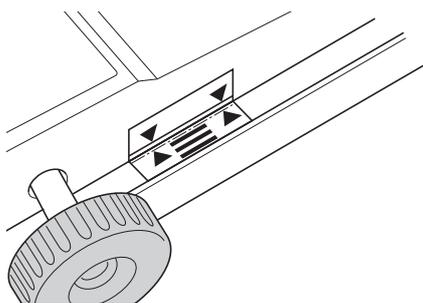
1 給紙台を下げる

給紙台上下ボタンを押して、給紙ローラーが用紙から離れる程度に給紙台を下げます。



2 左右位置調整ダイヤルを回す

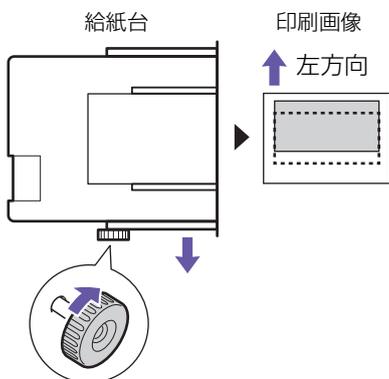
目盛で移動量を確認しながら調整します。目盛の [▲] が標準の印刷位置です。



参考 ▶ 目盛は目安です。調整後は、[試し刷り] キーを押して印刷物を確認してください。

■ 印刷画像を左方向に移動する

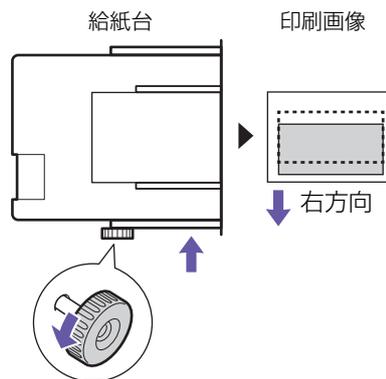
ダイヤルを時計回りに回します。



給紙台が右方向に移動するので、相対的に、印刷画像が用紙の左方向に移動します。

■ 印刷画像を右方向に移動する

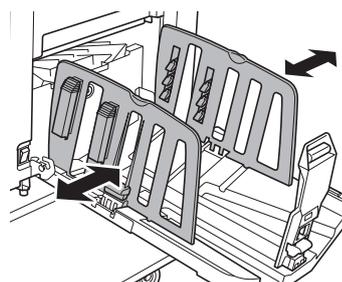
ダイヤルを反時計回りに回します。



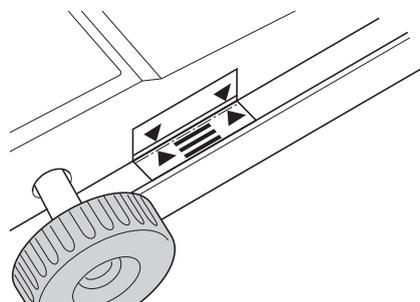
給紙台が左方向に移動するので、相対的に、印刷画像が用紙の右方向に移動します。

3 排紙フェンスの位置を調整する

給紙台の移動量に合わせて、排紙フェンスの位置を調整します。給紙台と排紙フェンスの位置が合っていないと、紙づまりの原因になります。(☞ 25 「排紙台のセット」)



▶ 印刷終了後は、給紙台と排紙フェンスを標準の位置に戻してください。給紙台を標準の位置に戻すには、ダイヤルを回して、目盛の [▲] に給紙台の端を合わせます。





第 5 章

便利な機能を使う

便利な機能

各機能の詳細や設定手順については、参照ページをご覧ください。

【プログラム】 (48)
印刷枚数を区切って仕分けできます。

【アイドリング】 (51)
ドラムを長時間使っていない場合に、刷り始めのかすれを軽減できます。

【機密】 (52)
使用済みのマスターを破棄できます。

組分けしてプリントする 【プログラム】

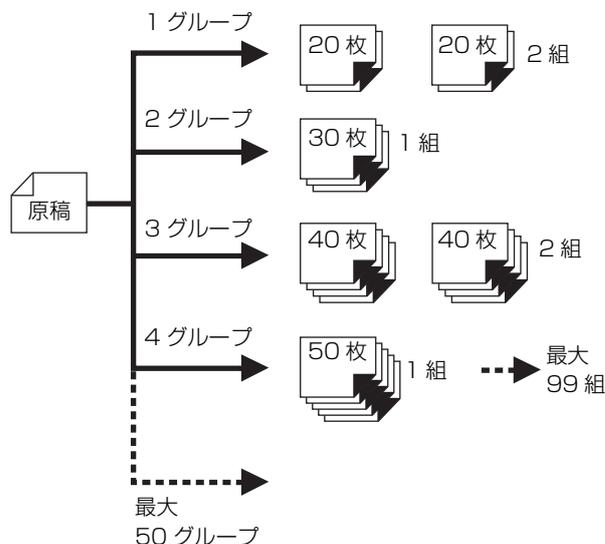
組ごとや原稿ごとに、印刷枚数を区切ることができます。
区切り（組や原稿）ごとに印刷が数秒間停止するので、印刷物の仕分けを行うことができます。
配布する部署や学級ごとに必要枚数が異なる場合に便利です。

- 参考**
- ▶ [合紙仕分け] (74) を併用すると、区切りごとに合紙で仕分けされるので便利です。
 - ▶ [ST ソーターテープ仕分け] (57) を併用すると、区切りごとにテープで仕分けされるので便利です。
[ST ソーターテープ仕分け] を使うには、ST ソーター（オプション）が必要です。

■ 【プログラム】の種類

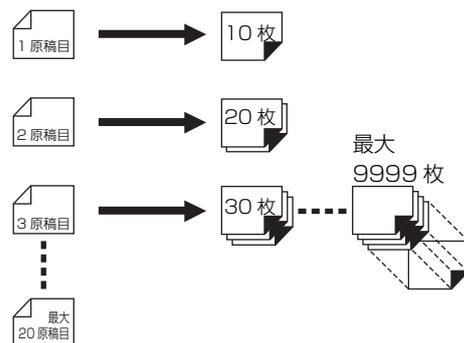
【1 原稿プログラム】：

1 枚の原稿の印刷枚数を、「組」ごとに設定できます。「組」は、さらに「グループ」にまとめられます。最大で、9999 枚 × 99 組 × 50 グループまで設定できます。



【多原稿プログラム】：

複数の原稿に、異なる印刷枚数を設定できます。最大で、9999 枚 × 20 原稿まで設定できます。



■【プログラム】の使い方

以下の2通りの使い方があります。

- 登録せずにプリントする
(☞ 49 「[1 原稿プログラム] の設定」)
(☞ 49 「[多原稿プログラム] の設定」)
- 登録済みの【プログラム】を呼び出してプリントする
(☞ 50 「[プログラム] の呼び出し」)

[1 原稿プログラム] の設定

1 【P】キーを押す

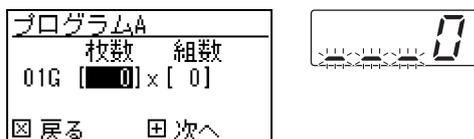
[1 原稿プログラム] 画面が表示されます。

参考 ▶ 【P】キーを押すたびに、[1 原稿プログラム] [多原稿プログラム] [プログラム OFF] が切り替わります。

2 【+】キーを押す

3 【枚数】を入力する

1 グループ目の印刷枚数を、テンキーで入力します。



4 【+】キーを押す

5 【組数】を入力する

1 グループ目の組数を、テンキーで入力します。



6 【+】キーを押す

次のグループの設定に移ります。
必要に応じて手順 3～6 を繰り返します。

重要 ▶ 設定した【プログラム】を登録しておきたい場合は、「【プログラム】の登録」(☞ 50) の手順 2 に進んでください。

7 プリントする

以降は、通常の紙原稿のプリントと同様に操作します。

(☞ 28 「紙原稿をプリントする」)

参考 ▶ プリントは、最後のグループから逆順に行われます。(例：[03G] → [02G] → [01G])
これは、排紙台に排出される印刷物の一番上に [01G] が来るようにするためです。

[多原稿プログラム] の設定

1 【P】キーを2回押す

[多原稿プログラム] 画面が表示されます。

参考 ▶ 【P】キーを押すたびに、[1 原稿プログラム] [多原稿プログラム] [プログラム OFF] が切り替わります。

2 【+】キーを押す

3 【枚数】を入力する

1 枚目の原稿の印刷枚数を、テンキーで入力します。



4 【+】キーを押す

次の原稿の設定に移ります。
必要に応じて手順 3～4 を繰り返します。

重要 ▶ 設定した【プログラム】を登録しておきたい場合は、「【プログラム】の登録」(☞ 50) の手順 2 に進んでください。

5 プリントする

以降は、通常の紙原稿のプリントと同様に操作します。

(☞ 28 「紙原稿をプリントする」)

参考 ▶ プリントは、最後の原稿から逆順に行われます。(例：[原稿 03] → [原稿 02] → [原稿 01])
これは、排紙台に排出される印刷物の一番上に [原稿 01] が来るようにするためです。

[プログラム] の中止

1 [P] キーを押す

[P] キーのランプが消灯し、[プログラム] が OFF になります。

参考 ▶ [P] キーを押すたびに、[1 原稿プログラム] [多原稿プログラム] [プログラム OFF] が切り替わります。

[プログラム] の登録

よく使う [プログラム] を登録しておくくと便利です。
[1 原稿プログラム] と [多原稿プログラム] の設定を、あわせて 6 件まで登録できます。

1 [プログラム] を設定する

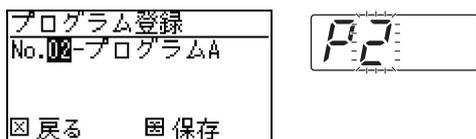
以下のどちらかを行います。

- 「[1 原稿プログラム] の設定」(49) の手順 1～6
- 「[多原稿プログラム] の設定」(49) の手順 1～4

2 [*] キーを押す

3 プログラム番号を入力する

登録したいプログラム番号を、テンキーで入力します。



- 登録済みのプログラム番号を入力した場合は、枚数カウンターに [a] (1 原稿プログラム) または [b] (多原稿プログラム) が表示されます。
- 未登録のプログラム番号を入力した場合は、[a] [b] は表示されません。

重要 ▶ 登録済みのプログラム番号を入力した場合は、設定が上書きされます。上書きしてもよいかを確認してください。

4 [*] キーを押す

設定した [プログラム] が登録され、枚数カウンターに登録先の番号と種類 ([a] または [b]) が表示されます。

- [スタート] キーを押すと、登録した [プログラム] でプリントできます。

- [P] キーを押すと、[プログラム] が OFF になります。

[プログラム] の呼び出し

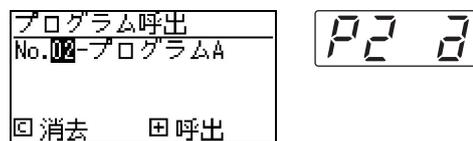
1 [P] キーを押す

[P] キーのランプが点灯します。

2 [*] キーを押す

3 プログラム番号を入力する

呼び出したいプログラム番号を、テンキーで入力します。



4 [+] キーを押す

登録済みの設定が呼び出されます。

- [スタート] キーを押すと、呼び出した [プログラム] でプリントできます。
- [P] キーを押すと、[プログラム] が OFF になります。

[プログラム] の設定内容変更

1 [プログラム] を呼び出す

「[プログラム] の呼び出し」の手順 1～4 を行います。

2 [+] キーを押す

設定内容が変更可能になります。

3 [プログラム] の設定を変更する

枚数や組数を変更します。

- [C] キーを押すと、設定済みの数値がクリアされ、テンキー入力できます。
- [+] キーを押すと、次の入力対象に進めます。
- [×] キーを押すと、前の入力対象に戻れます。

4 [*] キーを押す

以降は、「[プログラム] の登録」の手順 3～4 を行って変更内容を登録します。

[プログラム] の消去

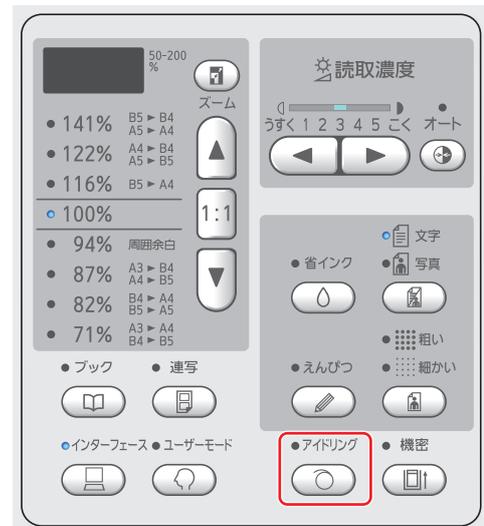
- 1 [P] キーを押す
[P] キーのランプが点灯します。
 - 2 [*] キーを押す
 - 3 プログラム番号を入力する
消去したいプログラム番号を、テンキーで入力します。
- | | |
|--------------------------|---|
| プログラム呼出
No. 02 プログラムA | <div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">P2 2</div> |
| 消去 呼出 | |
- 4 [C] キーを押す
 - 5 [スタート] キーを押す
指定した [プログラム] が消去されます。
 - 6 [P] キーを押す
[プログラム] が OFF になります。

インクかすれを防ぐ [アイドリング]

本機を長時間使用していないときや、ドラムを交換したときは、刷り始めの数枚が薄く印刷されることがあります。[アイドリング] を実行すると、製版時に、インクをドラムになじませる動作が行われます。これにより、刷り始めから鮮明に印刷できるので、余分な用紙の使用を減らすことができます。

- 重要**
- ▶ [アイドリング] は製版時に実行される機能です。印刷しが行わない場合は、[アイドリング] は実行されません。
 - ▶ [アイドリング] を実行すると、製版時間が長くなります。
- 参考**
- ▶ ドラムを一定時間使用しないと、次の製版時に自動的に [アイドリング] が実行されるように設定されています。[ユーザーモード] の [オートアイドリング時間] (P 55) で、設定を変更できます。

1 [アイドリング] キーを押す



[アイドリング] ランプが点灯しているときに原稿をセットして [スタート] キーを押すと、製版時に [アイドリング] が実行されます。

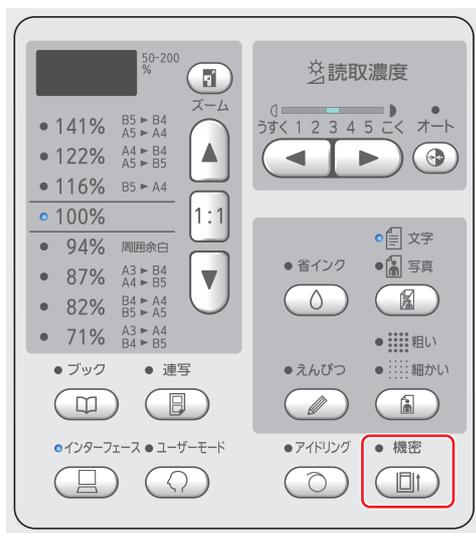
機密書類の複製を防ぐ【機密】

プリント終了後は、製版済みのマスターがドラムに巻き付いたまま印刷可能な状態になっています。

【機密】を実行すると、製版済みのマスターが破棄されるので、機密書類の不正な印刷を防ぐことができます。

また、何も製版されていないマスターがドラムに巻き付けられるので、長期間印刷しない場合に、ドラム内のインクの乾燥を防ぐカバーの役割も果たします。

1 【機密】キーを押す



2 【スタート】キーを押す

ドラム上のマスターが破棄され、何も製版されていないマスターが巻き付けられます。



第 6 章

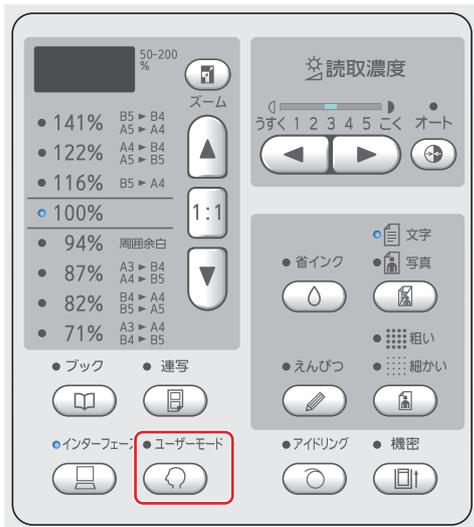
利用環境を設定する

利用環境を設定する [ユーザーモード]

本機をより便利にご利用いただくために、初期値の変更やシステム制御に関する設定などができます。

[ユーザーモード] の基本操作

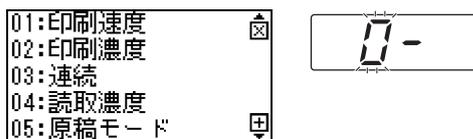
1 [ユーザーモード] キーを押す



[ユーザーモード] のメニュー画面に移行します。

2 項目番号を入力する

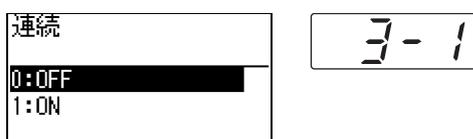
テンキーで、設定したい項目番号を入力します。



入力した番号が、枚数カウンターに表示されます。画面に表示されるメニューを、[×] キーと [+] キーで切り替えられます。

3 [スタート] キーを押す

4 設定値の番号を入力する



5 [スタート] キーを押す

設定が完了し、[ユーザーモード] のメニュー画面に戻ります。

複数の設定項目を変更したい場合は、手順 2 ~ 5 を繰り返します。

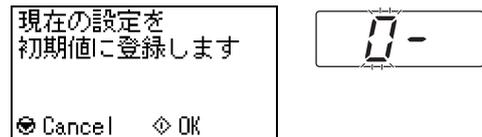
参考 ▶ 変更を取り消したい場合は、[スタート] キーの代わりに [ストップ] キーを押します。

6 [スタート] キー (または [ユーザーモード] キー) を押す

確認画面が表示されます。

参考 ▶ [ユーザーモード] で行ったすべての変更を取り消したい場合は、[スタート] キーの代わりに [ストップ] キーを押します。

7 [スタート] キーを押す



設定変更が反映されて、通常モードに戻ります。

参考 ▶ [ユーザーモード] のメニュー画面に戻りたい場合は、[スタート] キーの代わりに [ストップ] キーを押します。

設定項目一覧

- 下線部は、工場出荷時の設定です。
- ※ は、オプション装着時にだけ表示される項目です。
- [81：認証有無] (☑ 67) が [ON] に設定されている場合、一般ユーザーは「★」の項目を閲覧、変更できません。

項目 番号	設定項目	設定内容					
		0	1	2	3	4	5
1 ★	【印刷速度】 印刷速度 (☑ 44) の初期設定を変更 できます。 参考 ▶ [28：エコモード] (☑ 59) を [ON] に設定しているとき は、[1：印刷速度] は [2] (レベル3) に固定されます。	レベル1	レベル2	<u>レベル3</u>	レベル4	レベル5	
2 ★	【印刷濃度】 印刷濃度 (☑ 45) の初期設定を変更 できます。 参考 ▶ [28：エコモード] (☑ 59) を [ON] に設定しているとき は、[2：印刷濃度] は [0] (レベル1) に固定されます。	レベル1	レベル2	<u>レベル3</u>	レベル4	レベル5	
3 ★	【連続】 [連続] (☑ 22) の初期設定を変更で きます。	OFF	ON				
4 ★	【読取濃度】 [読取濃度] (☑ 38) の初期設定を 変更できます。	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	レベル5	オート
5 ★	【原稿モード】 [原稿モード] と [えんぴつ] (☑ 36) の初期設定を変更できます。	文字	写真	<u>文字・写 真</u>	えんぴつ		
6	【ブックモード原稿サイズ】 [ブック] (☑ 38) で読み取る原稿サ イズを変更できます。 [用紙] に設定すると、給紙台にセッ トされている用紙と同じサイズで読 み取ります。	用紙	A3	B4	A4	B5	
7	【ブックモードセンター幅】 [ブック] (☑ 38) で消去する範囲を 変更できます。	<u>20mm</u>	30mm	40mm	50mm	80mm	
8 ★	【オートアイドル時間】 ドラムを一定時間使用しないと、次 の製版時に自動的に [アイドル] (☑ 51) が実行されるように設定で きます。	なし	6時間	<u>12時間</u>			

項目 番号	設定項目	設定内容					
		0	1	2	3	4	5
9 ★	【連写待ち時間】 [連写] (☐ 40) では、次の原稿をセットせずに一定時間が経過すると、自動的に製版が始まります。この一定時間を「連写待ち時間」と呼びます。	なし	<u>15秒</u>	30秒			
10 ★	【オートスリープ設定】 本機を一定時間操作しないと、消費電力を抑える「スリープ」状態になります。スリープ状態でも、パソコンからの原稿データは受信できます。	1分	<u>5分</u>	15分	30分	60分	90分
11 ★	【オートシャット OFF 設定】 本機を一定時間操作しないと、電源が自動的に OFF になるように設定できます。	<u>なし</u>	5分	15分	30分	60分	90分
12 ★	【オートクリア時間】 本機を一定時間操作しないと、操作パネルで変更した設定（[原稿モード] や [印刷位置] など）が初期値に戻るように設定できます。	<u>なし</u>	3分	5分			
13	【紙質】 [標準] 設定時は、給紙圧レバーの位置 (☐ 24) に応じて給紙されます。[ユーザー 1] ~ [ユーザー 5] を選択すると、給紙圧レバーの位置にかかわらず、登録済みの給紙条件で給紙されます。 参考 ▶ 工場出荷時は、[ユーザー 1] ~ [ユーザー 5] には何も登録されていません。給紙条件を登録するには、販売会社（あるいは保守・サービス会社）にお問い合わせください。	<u>標準</u>	ユーザー 1	ユーザー 2	ユーザー 3	ユーザー 4	ユーザー 5
14 ★	【最低印刷枚数】 指定枚数以上の印刷枚数が入力されているときだけ製版できるように、設定できます。 参考 ▶ [最低印刷枚数] の設定を変更できないように、ロックをかけることができます。詳しくは、販売会社（あるいは保守・サービス会社）にお問い合わせください。	<u>0枚</u>	10枚	20枚	30枚	40枚	50枚

項目 番号	設定項目	設定内容					
		0	1	2	3	4	5
15 ★	【ブザー音】 ・ [レベル0] に設定しておく、ブザーが鳴りません。 ・ [レベル1] に設定しておく、以下のときにブザーが鳴ります。 <ul style="list-style-type: none"> ・ エラーが発生したとき ・ ドラムを引き出せる状態になったとき ・ ドラム、排版ボックス、製版ユニットをセットしたとき ・ [レベル2] に設定しておく、上記だけでなく、キーの操作音、動作が完了したときの確認音なども鳴ります。	レベル2	レベル1	レベル0			
16 ★	【占有時間】 本機は、動作が停止したままで何も操作されなくても、一定時間が経過するまでは、受信した原稿データの製版を開始しません。この一定時間を [占有時間] と呼びます。	なし	15秒	30秒	60秒		
17	【AFオート製版】 ※ [ON] に設定すると、自動原稿送り装置（オプション）に原稿をセットした場合に、以下の動作になります。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 製版後に、本機が一時停止します。 ・ 印刷後に、次の原稿の製版が自動的に開始されます。 参考 ▶ [連続] (☐ 22) を ON にすると、[AFオート製版] は動きません。	OFF	ON				
18	【STソーターテープ仕分け】 STソーター（オプション）を使用する時、[ON] に設定します。 参考 ▶ [ON] に設定すると、[37：合紙仕分け] (☐ 61) が [OFF] になります。	OFF	ON				

項目 番号	設定項目	設定内容					
		0	1	2	3	4	5
19	<p>【速度優先製版】 [ON] に設定すると、製版時間を短縮できます。 [OFF]、[ON] に応じて、製版基本画面に表示されるアイコンが変わります。</p> <p>• [OFF] : </p> <p>• [ON] : </p> <p>重要 ▶ [ON] に設定して製版すると、印刷画像が低解像度になります。</p> <p>参考 ▶ [ON] に設定すると、[38 : 紙メモリープリント] (☞ 61) が [OFF] になります。 ▶ 以下の機能を設定すると、[速度優先製版] は動きません。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [変倍] (☞ 39) • [連写] (☞ 40) • [ブック] (☞ 38) 	OFF	ON				
20	<p>【印刷枚数復帰設定】</p> <ul style="list-style-type: none"> • [する] に設定すると、印刷終了後に枚数カウンターが設定枚数に戻ります。(例：印刷枚数を「100」に設定して印刷すると、枚数カウンターは「100」に戻ります。) • [しない] に設定すると、印刷終了後に枚数カウンターが「0」のままになります。 	しない	する				
21	<p>【連写復帰設定】</p> <ul style="list-style-type: none"> • [する] に設定すると、[連写] による製版、印刷終了後に [連写] が ON のままになります。 • [しない] に設定すると、[連写] による製版、印刷終了後に [連写] が OFF になります。 	しない	する				
22	<p>【分離ファン】 原稿の画像条件や用紙の種類により、印刷画像にムラやブレが発生する場合に調整します (☞ 74)。</p> <p>参考 ▶ 適切な調整値については、販売会社 (あるいは保守・サービス会社) にお問い合わせください。</p>	OFF	レベル 1 (弱)	レベル 2	<u>レベル 3</u>	レベル 4 (強)	

項目 番号	設定項目	設定内容					
		0	1	2	3	4	5
23	<p>【サクシオンファン】 原稿の画像条件や用紙の種類により、印刷画像にムラやブレが発生する場合に調整します (図 74)。</p> <p>参考 ▶ 適切な調整値については、販売会社 (あるいは保守・サービス会社) にお問い合わせください。</p>	レベル 1 (弱)	レベル 2	<u>レベル 3</u>	レベル 4 (強)		
24	<p>【文字写真画質設定】 [文字・写真] (図 37) の画像処理を変更できます。</p> <p>[標準] 文字と写真をバランスよく再現したい場合に適しています。色のついた原稿にも適しています。</p> <p>[文字] 文字の鮮明さを際立たせたい場合に適しています。建物や金属の光沢のように、コントラストがハッキリした写真を含む場合にも適しています。</p> <p>[写真] 食品や人物のように、階調の滑らかさを重視したい写真を含む場合に適しています。</p> <p>[下地消去 ON/OFF] [ON] を選択すると、原稿の下地色を消去します。 新聞紙のように下地色のある原稿に適しています。</p>	標準 / <u>下地消去 OFF</u>	標準 / 下地消去 ON	文字 / 下地消去 OFF	文字 / 下地消去 ON	写真 / 下地消去 OFF	写真 / 下地消去 ON
25	<p>【えんぴつモード画質設定】 [えんぴつ] (図 37) の画像処理を変更できます。切り貼りした原稿の影が製版されてしまう場合などに [薄め] を選択します。</p>	<u>濃いめ</u>	薄め				
28 ★	<p>【エコモード】 通常の印刷時よりも印圧を下げて、消費電力を抑えた状態でプリントします。 [ON] に設定すると、[ユーザーモード] の [1 : 印刷速度] と [2 : 印刷濃度] (図 55) が変更できなくなります。</p>	<u>OFF</u>	ON				

項目 番号	設定項目	設定内容					
		0	1	2	3	4	5
29 ★	【表示言語】 画面に表示される言語を変更できます。  重要 ▶ 設定を変更する場合は、販売会社（あるいは保守・サービス会社）にお問い合わせください。	0～21					
31	【表示の濃さ】 画面表示の濃さを調節できます。	レベル1～ <u>レベル5</u> ～レベル9					
32	【バックライトの明るさ】 画面表示の明るさを調節できます。	レベル1	レベル2	<u>レベル3</u>	レベル4	レベル5	
33 ★	【サプライ在庫管理】 購入したサプライ（マスターロール、インクボトル）の本数を入力しておくと、在庫数が少なくなった時に確認画面が表示されるので便利です。	📖 64 「マスターやインクの在庫数を管理する [サプライ在庫管理]」					
34 ★	【サプライ閾値】 [サプライ在庫管理] の在庫数が何本になったら確認画面（F90 または F91）が表示されるかを設定します。 [0] に設定しておくと、確認画面は表示されません。	0～99					
36	【重送検知】 複数の用紙が重なったまま給紙された（重送した）と検知すると、印刷を自動停止する機能です。 以下の場合には [OFF] に設定してください。 <ul style="list-style-type: none"> ・重送していないのに、度々 [重送検知] のエラーが表示される。 ・地色が濃い用紙（黒、赤、紺など）を使用する。 ・ウラ面が既に印刷されている用紙を使用する。  参考 ▶ [ON] のときは、印刷基本画面にアイコン（  ）が表示されます。	OFF	<u>ON</u>				

項目 番号	設定項目	設定内容					
		0	1	2	3	4	5
37	<p>【合紙仕分け】 給紙台にセットされている用紙を合紙として利用して、印刷物を仕分けできます。 (☞ 74 「合紙を入れる [合紙仕分け]」)</p> <p>参考 ▶ [ON] に設定すると、[18 : ST ソーターテープ仕分け] (☞ 57) が [OFF] になります。</p>	OFF	ON				
38	<p>【紙メモリープリント】 本機をパソコンに接続できない場合でも、パソコンから直接プリントする時と同じように、高精細にプリントできます。 (☞ 75 「紙メモリー原稿を使う [紙メモリープリント]」)</p> <p>参考 ▶ [ON] に設定すると、[19 : 速度優先製版] (☞ 58) が [OFF] になります。</p>	OFF	ON				
50	<p>【カウンター (A4 又は Letter 以下)】 本機で A4 以下の用紙に印刷した枚数の累計が表示されます。 製版時の試し刷りは含まれません。</p>	☞ 73 「利用枚数を表示する [カウンター表示]」					
51	<p>【カウンター (A4 又は Letter より大きい)】 本機で A4 より大きい用紙に印刷した枚数の累計が表示されます。 製版時の試し刷りは含まれません。</p>						
52	<p>【トータルカウンター】 本機で印刷した枚数の累計が表示されます。 製版時の試し刷りは含まれません。</p>						
53	<p>【マスターカウンター】 本機で製版した回数の累計が表示されます。 [アイドリング] と [機密] の実行回数も含まれます。</p>						

項目 番号	設定項目	設定内容					
		0	1	2	3	4	5
54	【ドラムカウンター】 現在セットされているドラムで印刷した枚数の累計が表示されます。製版時の試し刷りも含まれます。他のドラムで印刷した枚数の累計を確認したい場合は、ドラムを交換してから【ドラムカウンター】画面を再度表示させてください。	📖 73 「利用枚数を表示する [カウンター表示]」					
70 ★	【IPv4 IP アドレス設定】	📖 65 「ネットワークに接続する」					
71 ★	【IPv6 IP アドレス設定】						
75 ★	【LAN インターフェース設定】 物理ネットワークの種別を設定します。通常は [AUTO] のまま使用してください。	<u>AUTO</u>	10HALF	10FULL	100HALF	100FULL	
76 ★	【ネットワーク設定初期化】 [70 : IPv4 IP アドレス設定]、 [71 : IPv6 IP アドレス設定] と、 RISO コンソールの [ネットワーク] (📖 81) で設定された内容を、工場出荷時の状態に戻すことができます。	Cancel	OK				
80 ★	【ユーザー登録】 本機を使うユーザーを登録します。	📖 67 「認証機能を使う」					
81 ★	【認証有無】 認証機能の ON / OFF を切り替えます。						
82 ★	【利用停止】 特定の一般ユーザーが本機を利用することを、禁止できます。						
83 ★	【TC 上限設定】 ユーザーごとに、印刷枚数 (Total Count) の上限を設定できます。						
84 ★	【MC 上限設定】 ユーザーごとに、製版回数 (Master Count) の上限を設定できます。						
85 ★	【TC クリア設定】 現在までの印刷枚数 (Total Count) をクリアします。						

項目 番号	設定項目	設定内容					
		0	1	2	3	4	5
86 ★	【MC クリア設定】 現在までの製版回数（Master Count）をクリアします。	67 「認証機能を使う」					
87 ★	【カウントオールクリア】 全ユーザーの印刷枚数と製版回数を、一括してクリアします。						
88 ★	【利用枚数集計日設定】 毎月の指定日に、[90：利用枚数集計出力] のお知らせ画面を表示させることができます。						
89 ★	【利用枚数ワーニングクリア】 当月の [90：利用枚数集計出力] のお知らせ画面を非表示にできます。						
90 ★	【利用枚数集計出力】 全ユーザーの印刷枚数と製版回数の集計結果を出力できます。出力方法は、あらかじめ [91：利用枚数集計出力方法設定] で選択しておきます。						
91 ★	【利用枚数集計出力方法設定】 [90：利用枚数集計出力] の出力方法を設定します。						
92 ★	【認証方式】 ※ この設定項目は、IC カードリーダー（オプション）を装着している場合に表示されます。 認証操作の手段を選択します。						
95 ★	【認証設定クリア】 認証機能に関する項目番号 80～92 のすべての設定内容を、工場出荷時の状態に戻します。						
99 ★	【ユーザーモード設定初期化】 [ユーザーモード] のすべての設定内容を、工場出荷時の状態に戻します。	Cancel	OK				

マスターやインクの在庫数を管理する [サプライ在庫管理]

購入したサプライ（マスターロール、インクボトル）の本数を入力しておく、在庫数が少なくなった時に確認画面が表示されるので便利です。
サプライを購入したら、以下の手順で設定します。

参考 ▶ 在庫数が何本になったら確認画面が表示されるかは、[34：サプライ閾値] (☑ 60) で設定します。
[34：サプライ閾値] が [0] に設定されていると、確認画面は表示されません。

1 [ユーザーモード] で項目番号「33」を入力する

2 [スタート] キーを押す
[サプライ在庫管理] 画面が表示されます。

3 [+] キーを押す

4 登録または変更したいサプライの番号を入力する

サプライ在庫管理
サプライ [0]
☒ 戻る ☑ 次へ

■ マスターの場合：

[0] を入力します。

■ インクの場合：

番号は、新しい色のドラムを最初に本機にセットした順で割り当てられます。例えば、最初にブラック、次にレッドのドラムをセットした場合は、1：ブラック、2：レッドになります。

5 [+] キーを押す

入力した番号に該当するサプライの種類が表示されていることを確認します。

サプライ在庫管理
サプライ[1] ☑ :ブラック
☒ 戻る ☑ 次へ

参考 ▶ 入力した番号が間違っていた場合は、[×] キーを押して手順4に戻ります。

6 [+] キーを押す

7 [購入した本数] を入力する

今回購入した本数を含めた在庫数を入力します。

サプライ在庫管理
購入した本数 [10]
☒ 戻る ☑ 次へ

8 [+] キーを押す

9 [C] キーを押す

[在庫数] が、[購入した本数] に同期されます。

サプライ在庫管理
在庫数 [10]
☒ 戻る ☑ 次へ

参考 ▶ [在庫数] は、サプライを交換するたびに自動的に減算されます。[在庫数] が [34：サプライ閾値] (☑ 60) で指定した本数以下になると、確認画面が表示されません。

10 [+] キーを押す

設定変更が確定されます。

続けて他のサプライの設定をする場合は、手順4～10を繰り返します。

11 [スタート] キーを押す

設定が完了し、メニュー画面に戻ります。

ネットワークに接続する

本機をネットワークに接続するには、接続環境に応じて IP アドレスなどの設定をする必要があります。

IPv4 のネットワークに接続する場合

本機に Internet Protocol version 4 (インターネットプロトコルバージョン 4) のアドレスを割り当てる場合に設定します。

1 [ユーザーモード] で項目番号「70」を入力する

2 [スタート] キーを押す

3 設定方法の番号を入力する

IPv4 IPアドレス設定
0:オート
1:手動

4 [スタート] キーを押す

- ・ [0 : オート] に設定した場合 : 手順 11 に進みます。
- ・ [1 : 手動] に設定した場合 : 手順 5 に進みます。

5 本機の IP アドレスを入力する

IPv4 IPアドレス設定
000.000.000.000

- ・ 3 ケタ入力したら [+] キーを押すと、次の 3 ケタに進めます。
- ・ 戻るには [×] キーを押します。

- 参考**
- ▶ [C] キーを押すと、入力中の 3 ケタが [000] に戻ります。
 - ▶ [リセット] キーを押すと、すべての入力値が [0] に戻ります。

6 [スタート] キーを押す

- 参考** ▶ [+] キーでも進めます。

7 サブネットマスクを入力する

入力方法は、手順 5 と同じです。

サブネットマスク (IPv4)
000.000.000.000

8 [スタート] キーを押す

- 参考** ▶ [+] キーでも進めます。

9 デフォルトゲートウェイを入力する

入力方法は、手順 5 と同じです。

デフォルトゲートウェイ (IPv4)
000.000.000.000

10 [スタート] キーを押す

- 参考** ▶ [+] キーでも進めます。

11 DNS サーバー (プライマリ) の IP アドレスを入力する

入力方法は、手順 5 と同じです。

DNS (IPv4-プライマリ)
000.000.000.000

12 [スタート] キーを押す

- 参考** ▶ [+] キーでも進めます。

13 DNS サーバー (セカンダリ) の IP アドレスを入力する

入力方法は、手順 5 と同じです。

DNS (IPv4-セカンダリ)
000.000.000.000

14 [スタート] キーを押す

設定が完了し、メニュー画面に戻ります。

IPv6 のネットワークに接続する場合

本機に Internet Protocol version 6 (インターネットプロトコルバージョン 6) のアドレスを割り当てる場合に設定します。

1 [ユーザーモード] で項目番号「71」を入力する

2 [スタート] キーを押す

3 設定方法の番号を入力する

IPv6 IPアドレス設定	
0:	手動
1:	ステートレス
2:	ステートフル

4 [スタート] キーを押す

- [0 : 手動] に設定した場合 :
手順 5 に進みます。
- [1 : ステートレス] または [2 : ステートフル] に設定した場合 :
手順 11 に進みます。

5 本機の IP アドレスを入力する

IPv6 IPアドレス設定	
0000:0000:0000:0000:	
0000:0000:0000:0000:	
bcdef0123456789	

- ① 印刷位置調整の [◀] [▶] キーを押して、入力する値 (アルファベットと数字) を画面の下欄から選択します。



- ② 印刷位置調整の [→0←] キーを押して、入力する値を確認します。(数字はテンキーを押して入力することもできます。)

参考

- ▶ 印刷速度調節の [▶] キーを押すと、入力先を次のケタに進められます。
- ▶ 印刷速度調節の [◀] キーを押すと、入力先を前のケタに戻せます。
- ▶ [C] キーを押すと、入力中の 4 ケタを [0000] に戻せます。
- ▶ [リセット] キーを押すと、すべての入力値を [0] に戻せます。

- ③ 4 ケタ入力したら [+] キーを押すと、次の 4 ケタに進められます。

6 [スタート] キーを押す

参考 ▶ [+] キーでも進めます。

7 プレフィックス長を入力する

プレフィックス (IPv6)
064

8 [スタート] キーを押す

参考 ▶ [+] キーでも進めます。

9 デフォルトゲートウェイの IP アドレスを入力する

入力方法は、手順 5 と同じです。

デフォルトゲートウェイ (IPv6)
0000:0000:0000:0000:
0000:0000:0000:0000:
bcdef0123456789

10 [スタート] キーを押す

参考 ▶ [+] キーでも進めます。

11 DNS サーバー (プライマリ) の IP アドレスを入力する

入力方法は、手順 5 と同じです。

DNS (IPv6-プライマリ)
0000:0000:0000:0000:
0000:0000:0000:0000:
bcdef0123456789

12 [スタート] キーを押す

参考 ▶ [+] キーでも進めます。

13 DNS サーバー（セカンダリ）の IP アドレスを入力する

入力方法は、手順 5 と同じです。

DNS (IPv6-セカンダリ)
0000:0000:0000:0000: 0000:0000:0000:0000 bcdef0123456789

14 [スタート] キーを押す

設定が完了し、メニュー画面に戻ります。

認証機能を使う

「認証」とは、ユーザーごとに割り当てられた暗証番号や IC カードを利用して、本機のユーザーを識別することです。

ユーザーを識別することにより、ユーザーごとの利用管理やセキュリティの強化ができます。

■ 認証機能を使うために必要な設定項目

[ユーザーモード] で、以下の設定を行ってください。

項目番号	設定項目
92	【認証方式】 この設定項目は、IC カードリーダー（オプション）を装着している場合に表示されます。 認証操作の手段を、[0：暗証番号] と [1：IC カード] から選択します。
80	【ユーザー登録】 本機を使うユーザーを登録します。 登録のしかたは、次ページの説明をご覧ください。
81	【認証有無】 認証機能の ON / OFF を切り替えます。 [1：ON] にすると、起動時に認証操作が必要になります。

[ユーザー登録]

本機を使うユーザーを登録します。
登録できるユーザー数は「認証方式」によって異なります。

【認証方式】	登録可能な認証登録番号
【0：暗証番号】	0番～99番
【1：ICカード】	0番～499番

ユーザーは、「一般ユーザー」と「管理者」に分類されます。

■「一般ユーザー」とは

本機に登録されたユーザーには、「認証登録番号」が割り当てられます。認証登録番号が1番以降のユーザーを「一般ユーザー」と呼びます。一般ユーザーは、[ユーザーモード]の一部の項目を閲覧、変更できません。

参考 ▶ 一般ユーザーが閲覧、変更できない項目については、[ユーザーモード]の「設定項目一覧」(図55)をご覧ください。項目番号に「★」が記載されています。

■「管理者」とは

認証登録番号の0番に登録されたユーザーを「管理者」と呼びます。管理者は、[ユーザーモード]のすべての項目を閲覧、変更できます。

1 【ユーザーモード】で項目番号「80」を入力する

2 【スタート】キーを押す

【ユーザー登録】画面が表示されます。

3 【+】キーを押す

4 登録または変更したいユーザーの認証登録番号を入力する

管理者（認証登録番号：0）が未登録の場合は、最初に登録する必要があります。

ユーザー登録
ユーザー [0]
戻る 次へ

5 【+】キーを押す

手順6に進んでください。
【認証方式】(図67)が【1：ICカード】に設定されている場合は、手順8に進んでください。

6 新しい暗証番号を入力する

最大4桁です。
入力した番号は「*」と表示されます。

暗証番号を入力してください
ユーザー-0 [****]
戻る 次へ

7 【+】キーを押す

手順9に進んでください。

8 ICカードをICカードリーダーにタッチする

ICカードが正常に読み取られると、[グループ番号を入力してください]と表示されます。手順9に進んでください。

9 グループ番号を入力する

ユーザーが所属するグループ（部署など）を設定できます。設定しておくこと、[利用枚数集計出力](図71)で出力した集計結果に、グループごとの集計が表示されます。

設定できる番号は1～32です。
グループを設定しない場合は、「0」を入力します。

グループ番号を入力してください
ユーザー-0 [0]
戻る 次へ

10 【+】キーを押す

ユーザーが登録されます。
続けて他のユーザーの設定をする場合は、手順4～10を繰り返します。

11 【スタート】キーを押す

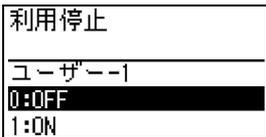
設定が完了し、メニュー画面に戻ります。

[利用停止]

特定の一般ユーザーが本機を利用することを、禁止できます。利用停止を解除するには、同じ手順で [0 : 利用可] に切り替えます。

参考 ▶ 管理者を利用停止にすることはできません。

- 1 [ユーザーモード] で項目番号「82」を入力する
- 2 [スタート] キーを押す
[利用停止] 画面が表示されます。
- 3 [+] キーを押す
- 4 対象ユーザーの認証登録番号を入力する

- 5 [+] キーを押す
- 6 設定内容の番号を入力する
0 : OFF (利用可能)
1 : ON (利用停止)


- 7 [+] キーを押す
設定変更が確定されます。
続けて他のユーザーの設定をする場合は、手順4～7を繰り返します。
- 8 [スタート] キーを押す
設定が完了し、メニュー画面に戻ります。

[TC 上限設定] [MC 上限設定]

ユーザーごとに、印刷枚数と製版回数の上限を設定できます。

- 1 [ユーザーモード] で項目番号を入力する
以下のどちらかの項目番号を入力します。

項目番号	設定項目
83	[TC 上限設定] 印刷枚数の上限を設定します。 「TC」は、「Total Count」の略です。
84	[MC 上限設定] 製版回数の上限を設定します。 「MC」は、「Master Count」の略です。

[TC 上限設定] と [MC 上限設定] の設定手順は同じです。以降は、[TC 上限設定] を例として記載します。

- 2 [スタート] キーを押す
- 3 [+] キーを押す
- 4 対象ユーザーの認証登録番号を入力する

- 5 [+] キーを押す
- 6 設定したい上限枚数を入力する
「0」に設定した場合は、「制限なし」になります。

- 7 [+] キーを押す
設定変更が確定されます。
続けて他のユーザーの設定をする場合は、手順4～7を繰り返します。
- 8 [スタート] キーを押す
設定が完了し、メニュー画面に戻ります。

[TC クリア設定] [MC クリア設定]

現在までの印刷枚数または製版回数をクリアできます。ユーザーごと、または全ユーザーをクリア対象にできます。

参考 ▶ 全ユーザーの印刷枚数と製版回数を一括してクリアするには、[87: カウントオールクリア] (☐70) が便利です。

1 [ユーザーモード] で項目番号を入力する

以下のどちらかの項目番号を入力します。

項目番号	設定項目
85	[TC クリア設定] 現在までの印刷枚数をクリアします。「TC」は、「Total Count」の略です。
86	[MC クリア設定] 現在までの製版回数をクリアします。「MC」は、「Master Count」の略です。

[85: TC クリア設定] と [86: MC クリア設定] の設定手順は同じです。以降は、[85: TC クリア設定] を例として記載します。

2 [スタート] キーを押す

3 [+] キーを押す

4 対象ユーザーの認証登録番号を入力する

クリア対象を全ユーザーにするには、「00」と入力します。



5 [+] キーを押す

設定されている上限枚数が表示されます。

6 [+] キーを押す

現在までの印刷枚数が表示されます。

7 [C] キーを押す

表示されている印刷枚数がクリアされます。

8 [+] キーを押す

印刷枚数のクリアが確定されます。続けて他のユーザーの印刷枚数をクリアする場合は、手順4～8を繰り返します。

9 [スタート] キーを押す

メニュー画面に戻ります。

[カウントオールクリア]

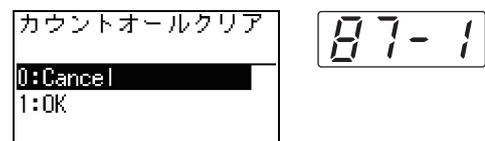
全ユーザーの印刷枚数と製版回数を、一括してクリアできます。

重要 ▶ クリアを実行すると、クリアする前の状態に戻すことはできません。

1 [ユーザーモード] で項目番号「87」を入力する

2 [スタート] キーを押す

3 [1] を入力する



4 [スタート] キーを押す

クリアが実行されます。クリアが完了すると、メニュー画面に戻ります。

[利用枚数集計日設定]

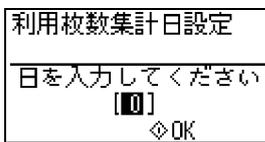
毎月の指定日に、[90：利用枚数集計出力] のお知らせ画面 (☞ 106) を表示させることができます。

重要 ▶ あらかじめ [80：ユーザー登録] (☞ 68) で「管理者」を登録しておく必要があります。

1 [ユーザーモード] で項目番号「88」を入力する

2 [スタート] キーを押す

3 お知らせ日を入力する



参考 ▶ [0] に設定した場合、お知らせ画面は表示されません。
▶ [29] ~ [31] に設定した場合、その日がない月 (2月など) は、月末日にお知らせ画面が表示されます。

4 [スタート] キーを押す
メニュー画面に戻ります。

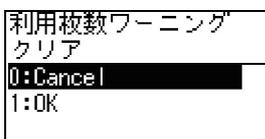
[利用枚数ワーニングクリア]

[88：利用枚数集計日設定] を設定すると、[90：利用枚数集計出力] を実行するまで、電源 ON のたびにお知らせ画面が表示されます。当月に [90：利用枚数集計出力] を実行する予定がない場合は、[89：利用枚数ワーニングクリア] を実行してください。翌月のお知らせ日まで、お知らせ画面が表示されなくなります。

1 [ユーザーモード] で項目番号「89」を入力する

2 [スタート] キーを押す

3 [1] を入力する



89-1

4 [スタート] キーを押す

クリアが実行されます。

クリアが完了すると、メニュー画面に戻ります。

[利用枚数集計出力]

全ユーザーの印刷枚数と製版回数の集計結果を出力できます。

重要 ▶ あらかじめ [80：ユーザー登録] (☞ 68) で「管理者」を登録しておく必要があります。
▶ あらかじめ [91：利用枚数出力方法設定] (☞ 72) で出力方法を選択しておく必要があります。

■ プリントする場合

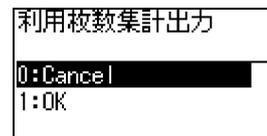
1 用紙を確認する

[利用枚数集計出力] を実行するには、A4 サイズ以上の用紙が必要です。
(☞ 24 「給紙台と用紙のセット」)

2 [ユーザーモード] で項目番号「90」を入力する

3 [スタート] キーを押す

4 [1] を入力する



90-1

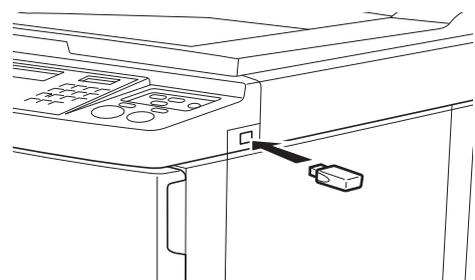
5 [スタート] キーを押す

集計結果がプリントされます。

プリントが完了すると、メニュー画面に戻ります。

■ USB メモリーに保存する場合

1 USB メモリーを USB ポートに挿入する



2 [ユーザーモード] で項目番号「90」を入力する

3 [スタート] キーを押す

4 [1] を入力する



5 [スタート] キーを押す

集計結果が、CSV 形式のファイルとして USB メモリーに保存されます。

保存が完了すると、メニュー画面に戻ります。

6 USB メモリーを取り外す

【利用枚数集計出力方法設定】

[90：利用枚数集計出力] の出力方法を、以下から選択します。

- 本機でプリントする
- USB メモリーに CSV ファイルとして保存する

重要 ▶ あらかじめ [80：ユーザー登録] (☎ 68) で「管理者」を登録しておく必要があります。

参考 ▶ 保存した CSV ファイルは、付属の「理想集計アプリケーション」で管理すると便利です。

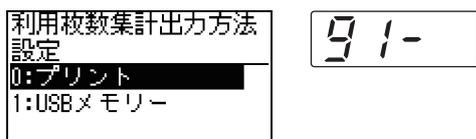
1 [ユーザーモード] で項目番号「91」を入力する

2 [スタート] キーを押す

3 設定内容の番号を入力する

0：プリント

1：USB メモリー



4 [スタート] キーを押す

設定が完了し、メニュー画面に戻ります。

【認証設定クリア】

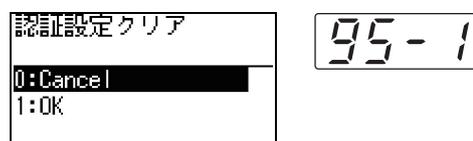
認証機能に関する項目番号 80～92 のすべての設定内容を、工場出荷時の状態に戻します。

重要 ▶ クリアを実行すると、クリアする前の状態に戻すことはできません。

1 [ユーザーモード] で項目番号「95」を入力する

2 [スタート] キーを押す

3 [1] を入力する



4 [スタート] キーを押す

クリアが実行されます。

クリアが完了すると、メニュー画面に戻ります。

利用枚数を表示する [カウンター表示]

本機で製版した回数や、印刷した枚数の累計を確認できます。

1 [ユーザーモード] で、確認したい項目の番号を押す

項目番号	設定項目
50	[カウンター (A4 又は Letter 以下)] 本機で A4 以下の用紙に印刷した枚数の累計が表示されます。製版時の試し刷りは含まれません。
51	[カウンター (A4 又は Letter より大きい)] 本機で A4 より大きい用紙に印刷した枚数の累計が表示されます。製版時の試し刷りは含まれません。
52	[トータルカウンター] 本機で印刷した枚数の累計が表示されます。製版時の試し刷りは含まれません。
53	[マスターカウンター] 本機で製版した回数の累計が表示されます。 [アイドリング] と [機密] の実行回数も含まれます。
54	[ドラムカウンター] 現在セットされているドラムで印刷した枚数の累計が表示されます。製版時の試し刷りも含まれます。他のドラムで印刷した枚数の累計を確認したい場合は、ドラムを交換してから [ドラムカウンター] 画面を再度表示させてください。

2 [スタート] キーを押す

3 表示内容を確認する

4 [スタート] キーまたは [ストップ] キーを押す

メニュー画面に戻ります。

給紙・排紙条件を調整する [特殊用紙設定]

特殊な用紙を使う場合や、印刷画像のムラやブレが発生する場合に、給紙と排紙の条件を調整できます。

給紙条件の調整 [紙質]

[13 : 紙質] (☑ 56) が [標準] に設定されている時は、給紙圧レバーの位置 (☑ 24) に応じて給紙されません。
[ユーザー 1] ~ [ユーザー 5] を選択すると、給紙圧レバーの位置にかかわらず、登録済みの給紙条件で給紙されます。

参考 ▶ 工場出荷時は、[ユーザー 1] ~ [ユーザー 5] には何も登録されていません。給紙条件を登録するには、販売会社 (あるいは保守・サービス会社) にお問い合わせください。

1 [ユーザーモード] で、項目番号「13」を入力する

2 [スタート] キーを押す

3 設定値の番号を入力する

[1] (ユーザー 1) ~ [5] (ユーザー 5) を入力します。

参考 ▶ 適切な調整値については、販売会社 (あるいは保守・サービス会社) にお問い合わせください。

4 [スタート] キーを押す

設定が完了し、[ユーザーモード] のメニュー画面に戻ります。

排紙条件の調整

[分離ファン] [サククションファン]

印刷画像や用紙の特性に応じて、排紙の条件を調整できます。

1 [ユーザーモード] で、調整したい項目の番号を押す

項目番号	設定項目
22	[分離ファン]
23	[サククションファン]

2 [スタート] キーを押す

3 設定値の番号を入力する

詳しくは以下のページを参照してください。

- [22：分離ファン] (48 58)
- [23：サククションファン] (48 59)

参考 ▶ 適切な調整値については、販売会社（あるいは保守・サービス会社）にお問い合わせください。

4 [スタート] キーを押す

設定が完了し、[ユーザーモード] のメニュー画面に戻ります。

参考 ▶ 排紙条件は、以下の手段でも調整できます。

- 紙揃えプレート (48 25)
- 排紙ウイング (48 26)

合紙を入れる [合紙仕分け]

給紙台にセットされている用紙を合紙として利用して、印刷物を仕分けできます。

- 自動原稿送り装置に原稿をセットし、[連続] ON でプリントする場合、[合紙仕分け] を ON にしておくと、原稿の変わり目に合紙（白紙）が挿入されます。
- [プログラム] (48 48) と併用すると、印刷の区切りごとに合紙（白紙）が挿入されます。

重要 ▶ [合紙仕分け] は、給紙台に以下の用紙がセットされているときに使用できます。
 (定形サイズの場合) A3□、B4□、A4□
 (不定形サイズの場合) 210mm×280mm ~ 310mm×432mm
 ▶ 合紙と印刷物がインクで汚れることがあります。

参考 ▶ [合紙仕分け] が使えるのは、[プログラム] (48 48) または [連続] (48 22) が [ON] のときだけです。
 ▶ 以下の機能とは併用できません。
 • [速度] (48 44) の [ハイスピード]

1 [ユーザーモード] で項目番号「37」を入力する

2 [スタート] キーを押す

3 [1] を入力する



参考 ▶ [37：合紙仕分け] を [ON] に設定すると、[18：STソーターテープ仕分け] (48 57) が [OFF] になります。

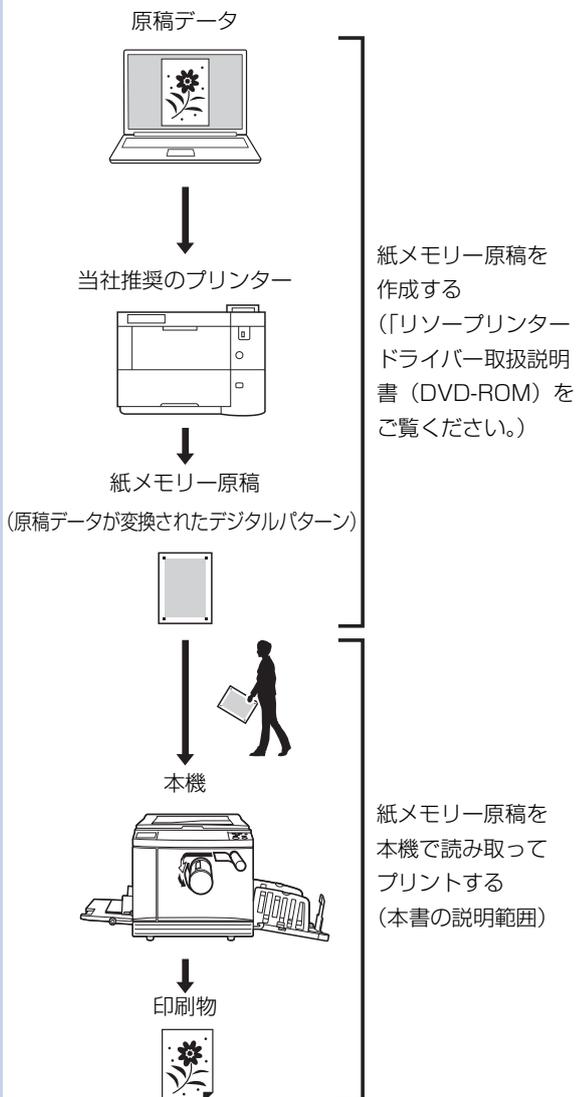
4 [スタート] キーを押す

[ユーザーモード] のメニュー画面に戻ります。

紙メモリー原稿を使う [紙メモリープリント]

本機をパソコンに接続できない場合でも、パソコンから直接プリントする時と同じように、高精細にプリントできます。

パソコンで作成した原稿データを、本機のプリンタードライバーの機能を使ってデジタルパターンに変換し、当社推奨のプリンターでプリントすることができます。その紙を「紙メモリー原稿」と呼びます。本機の「紙メモリープリント」機能を使うと、紙メモリー原稿から元の原稿データを再現してプリントすることができます。



ここでは、紙メモリー原稿を本機で読み取ってプリントする操作手順を説明します。

重要 ▶ 紙メモリー原稿を作成するには、Windows 版のリソープリンタードライバーが必要です。Mac 版では作成できません。

1 [ユーザーモード] で項目番号「38」を入力する

2 [スタート] キーを押す

3 [1] を入力する



38-1

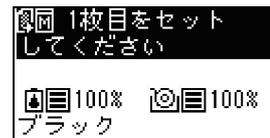
参考 ▶ [38: 紙メモリープリント] を [ON] に設定すると、[19: 速度優先製版] (☑ 58) が [OFF] になります。

4 [スタート] キーを押す

[ユーザーモード] のメニュー画面に戻ります。

5 [スタート] キーを押す

設定変更が反映されて、通常モードに戻ります。



画面に紙メモリープリントのアイコン (☑) が表示されていることを確認してください。

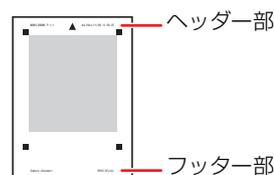
6 用紙をセットする

紙メモリー原稿のヘッダー部を確認し、印字されているサイズ of 用紙をセットします。

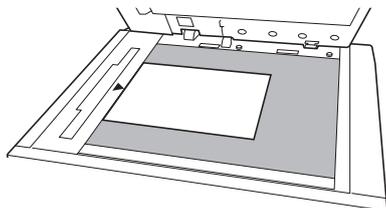
7 紙メモリー原稿を原稿台ガラスにセットする

紙メモリー原稿のヘッダー部分にページ番号「P.1」と印字されていることを確認してください。

紙メモリー原稿のフッター部に印字されているシリーズ名が、お使いの印刷機と一致することを確認してください。



プリントされている面を下向きにして、中央を [▶] マークに合わせます。その後、原稿台カバーを閉じてください。



▶ 以下の場合、紙メモリー原稿を本機で適切に読み取れないことがあります。

- 原稿台ガラスや原稿パッドに汚れがある。
- 紙メモリー原稿が当社推奨のプリンター以外でプリントされた。
(当社推奨のプリンターについては、販売会社 (あるいは保守・サービス会社) にお問い合わせください。)
- 紙メモリー原稿に汚れ、しわ、折れ目などがある。
- 紙メモリー原稿にメモなどを書き込む場合は、下図の余白部分をお使いください。それ以外の場所書き込むと、本機で適切に読み取れなくなります。



8 【スタート】キーを押す

紙メモリー原稿が読み取られます。



- ▶ 紙メモリー原稿が複数ページにわたる場合は、原稿の読み取りが完了した後、次のページ番号の原稿に入れ替えて【スタート】キーを押してください。
- ▶ ジョブを中止したい場合は、【リセット】キーを押してください。

最後の原稿を読み取ると、製版が開始されます。以降は、通常の紙原稿のプリントと同様に操作します。

(☞ 28「紙原稿をプリントする」)

9 【紙メモリープリント】を OFF にする

プリントが完了したら、以下の手順で【紙メモリープリント】を OFF にします。

- ① 【ユーザーモード】キーを押します。
- ② 項目番号「38」を入力します。
- ③ 【スタート】キーを押します。
- ④ 【0】を入力します。
- ⑤ 【スタート】キーを2回押して、通常モードに戻ります。



第 7 章

RISO コンソールを利用する

RISO コンソールについて

「RISO コンソール」は、Web ブラウザーを利用して本機を遠隔操作する機能です。ネットワーク経由で接続されたパソコンから、本機の状態確認や設定変更などができます。

■ 対応 Web ブラウザー

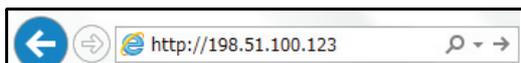
OS	Web ブラウザー
Windows	Internet Explorer 11 Microsoft Edge
Mac OS	Safari 6 Safari 7 Safari 8 Safari 9 Safari 10 Safari 11 Safari 12

RISO コンソールへのアクセス

1 Web ブラウザーを起動する

2 本機の IP アドレスを入力する

入力例：



参考 ▶ 本機の IP アドレスについては、管理者にお問い合わせください。

3 [Enter] キーを押す

RISO コンソールの [モニタリング] メニュー画面が表示されます。



ログイン

以下の操作をするためには、RISO コンソールにログインする必要があります。

- [プリンター] メニュー画面の閲覧
- [ネットワーク] メニュー画面での設定変更
(ログインしなくても、設定の確認はできます。)

1 [ログイン] をクリックする



2 [ユーザー名] と [パスワード] を入力する

ログインしてください

ユーザー名:

パスワード:
 - - -

■ [ユーザー名]

「admin」（半角小文字）と入力します。ユーザー名は変更できません。

■ [パスワード]

RISO コンソールの [ユーザー情報] タブ画面 (79) で設定されたパスワードです。工場出荷時のパスワードは「admin」（半角小文字）です。

3 [OK] をクリックする

ログアウト

1 [ログアウト] をクリックする



ログアウトすると、ユーザー名の表示が消えて、[ログイン] の表示に変わります。

[モニタリング] メニュー

本機の状態やシステム情報を確認したり、ログイン用のパスワードを変更したりすることができます。

[一般情報] タブ画面

本機の状態を確認できます。

プリントできます。

消耗品残量

給紙台	用紙サイズ	紙質
給紙台	B4	標準

マスター

インク

排版ボックス空き容量

排版ボックス

ドラム情報

サイズ	色
B4	ブラック

カウンター

トータルカウンター	299,999
マスターカウンター	50,000

■ 本機の状態

[プリントできます。] [スリープ中です。] などのメッセージが表示されます。本機でエラーが発生した場合は、エラーメッセージが表示されます。

■ 消耗品残量

[給紙台]

給紙台にセットされている用紙の [用紙サイズ] [紙質] が表示されます。

[マスター]

本機にセットされているマスターの残量が表示されます。

残量が少なくなると、残量ゲージが点滅します。

[インク]

本機にセットされているインクの残量が表示されます。残量が少なくなると、残量ゲージが点滅します。

■ 排版ボックス空き容量

排版ボックスの空き容量が表示されます。

空き容量が少なくなると、残量ゲージが点滅します。

■ ドラム情報

本機にセットされているドラムのサイズと色が表示されます。

■ カウンター

[トータルカウンター]

本機で印刷した枚数の累計が表示されます。製版時の試し刷りは含まれません。

[マスターカウンター]

本機で製版した回数の累計が表示されます。[アイドリング] と [機密] の実行回数も含まれます。

[システム情報] タブ画面

本機のシステム情報を確認できます。

システム情報

プリンタ名: RISO SF 5x5II Series 000000
機種名: RISOGRAPH SF525II
シリアル番号: 000000000
MACアドレス: 00-00-00-00-00-00
ファームバージョン: RCMS 00.00.00

印刷機情報

印刷速度: 速度3
印刷濃度: 濃度3
印刷機解像度: 300 x 600 dpi
印刷枚数: 38161

[ユーザー情報] タブ画面

RISO コンソールにログインするためのパスワードを、変更できます。

1 [パスワード変更] をクリックする

ユーザー名: admin

パスワード変更

2 新しいパスワードを入力する

ユーザー情報 > パスワード変更

新パスワード
[]-[]-[]-[] (半角0~16文字)

確認のため、もう一度入力してください。

新パスワード
[]-[]-[]-[]

OK キャンセル

- 3** [OK] をクリックする
[完了] 画面が表示されます。

- 4** [OK] をクリックする



[プリンター] メニュー

本機で処理中の原稿データの一覧を、確認できます。

処理中			1-4件表示(全4件)▼▲▲
ジョブ名	オーナー名	受付日時▼	
Configarabon	RISO PRINTER	2014/10/16 18:25	
Configarabon	RISO PRINTER	2014/10/16 18:25	
Configarabon	RISO PRINTER	2014/10/16 18:24	
Configarabon	RISO PRINTER	2014/10/16 18:24	

表示単位: ● 50件ごと ● 100件ごと 1-4件表示(全4件)▼▲▲

- 見出し行 ([ジョブ名] [オーナー名] [受付日時]) をクリックすると、並び順を変更できます。
- 一覧表示する件数を、[50件ごと] と [100件ごと] から選択できます。

[ネットワーク] メニュー

本機のネットワーク接続に関する設定の確認や変更ができます。

■ネットワーク

[ネットワーク設定](#)

[SNMP設定](#)

各項目をクリックすると、該当項目の設定画面が表示されます。

[ネットワーク設定] 画面

本機をネットワークに接続するための設定です。

[OK] をクリックすると、設定変更が反映されます。

[SNMP設定] 画面

SNMP (Simple Network Management Protocol) に関する設定です。ネットワーク環境に応じて設定します。

[OK] をクリックすると、設定変更が反映されます。



第 8 章

消耗品を交換する

マスターをセットする

マスターがなくなると、メッセージが表示されて本機が停止します。

新しいマスターをセットしてください。

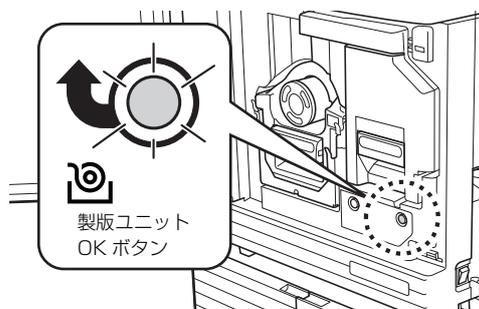


- ▶ 当社推奨のマスターを使用してください。
(☞ 120 「消耗品について」)
- ▶ マスターのセットは、本機の電源を入れた状態で行ってください。

1 前カバーを開ける

2 【製版ユニット OK ボタン】のランプが点灯していることを確認する

ランプが消えているときは、【製版ユニット OK ボタン】を押して点灯させます。

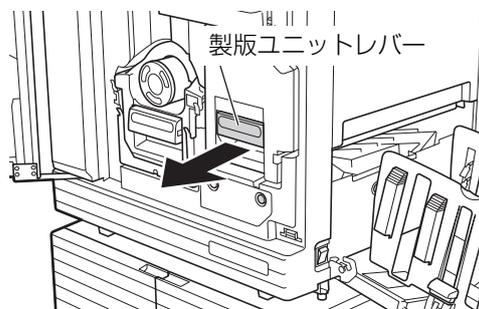


参考

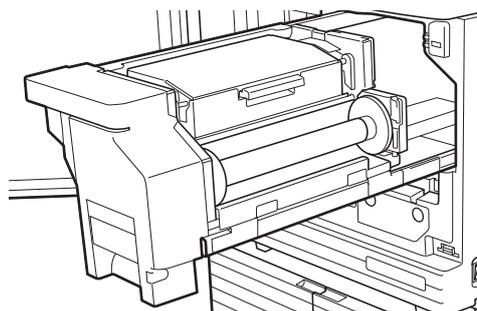
- ▶ ドラムを引き出しているときは、製版ユニットを引き出せません。ドラムを戻してから、【製版ユニット OK ボタン】を押します。

3 製版ユニットを引き出す

- ① 製版ユニットレバーを握って、手前に引き出す。

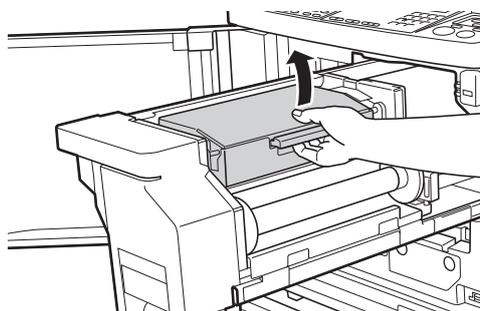


- ② 製版ユニットが止まるまで、ゆっくりと引き出します。

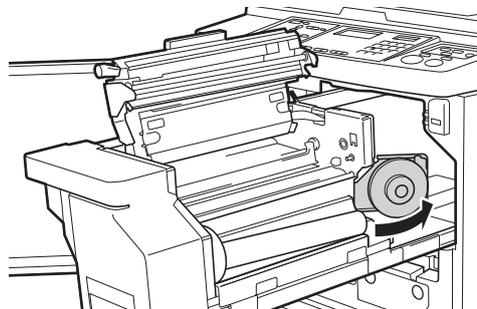


4 製版ユニットカバーを開ける

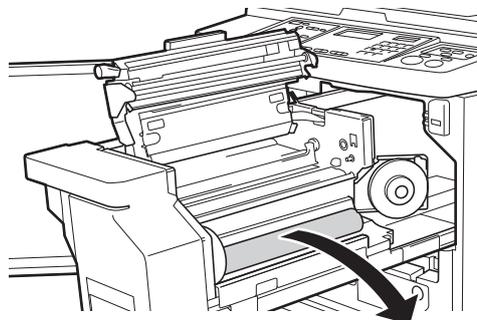
レバーを握りながら、製版ユニットカバーを上を開けます。



5 マスターロールストッパーを開ける



6 使用済みのマスター芯を外す



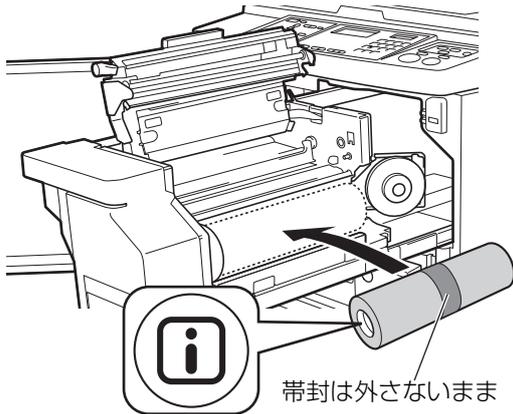
- ▶ 使用済みのマスター芯は、自治体の規制に従って廃棄してください。
(☞ 90 「使用済み消耗品の回収・廃棄について」)
- ▶ サーマルヘッドをクリーニングしてください。
(☞ 94 「お手入れのしかた」)

7 新しいマスターロールをセットする

マスターロールの包装（透明フィルム）を取り除きます。[i] マークがある方を左側にセットします。

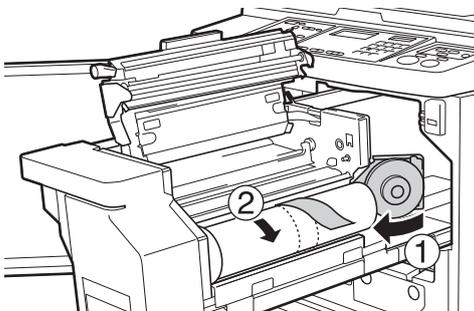


- ▶ [i] 部分に傷を付けないようにしてください。[i] 部分が折れ曲がったり、ミシン目が切れてしまったりすると、そのマスターは使用できなくなります。
- ▶ 帯封は、まだ外さないでください。



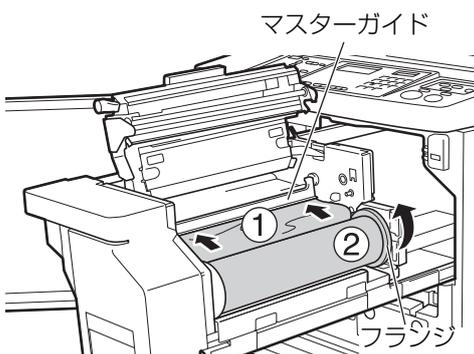
8 マスターロールストッパーを閉める

- ① マスターロールストッパーを閉めます。
- ② 帯封を外します。



9 マスターの先端をガイドの下に差し込む

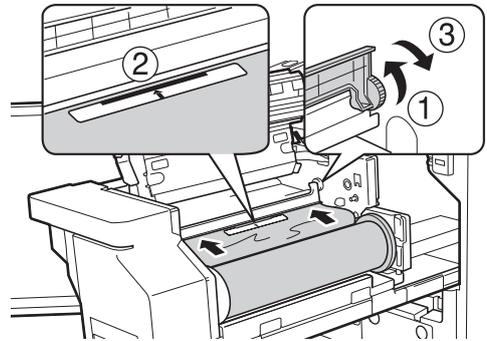
- ① マスターガイドの下に、マスターの先端が奥に当たるまで差し込みます。
- ② 右のフランジを奥側に回して、たるみを巻き戻します。



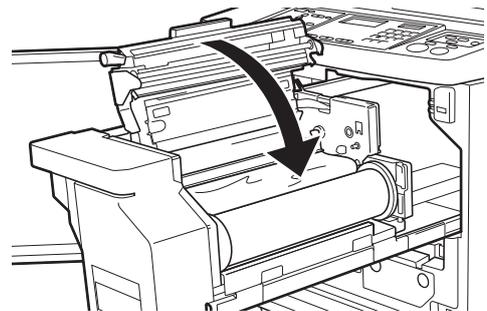
■ マスターを差し込めないときは

次の手順でマスターを差し込んでください。

- ① マスターガイド端のダイヤル部分を奥側に回して、マスターガイドを上げます。
- ② マスターの先端を、矢印の先のライン部分に合わせます。
- ③ マスターガイドを戻します。



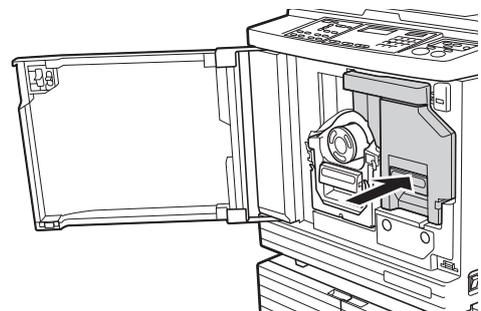
10 製版ユニットカバーを閉める



- ▶ 製版ユニットを閉めるときは、レバーを持たずに、カバー自体を手で上から押しつけてください。手を離しても開かないように、確実に閉めてください。

8

11 製版ユニットを戻す



12 前カバーを閉める

インクボトルを交換する

インクがなくなると、メッセージが表示されて本機が停止します。
新しいインクボトルに交換してください。

⚠ 注意

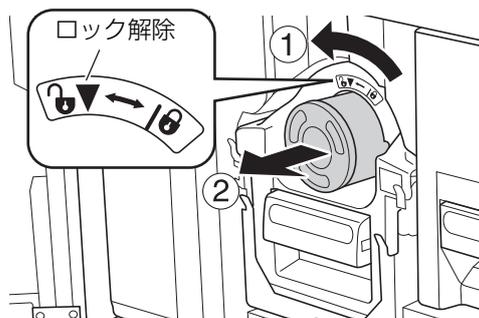
ドラム周辺にはインクが付いていることがありますので、手や衣服などが触れないように注意してください。
手などにインクが付いたときは早めに洗剤で洗い落とししてください。

- 重要**
- ▶ 当社推奨のインクを使用してください。
(☞ 120「消耗品について」)
 - ▶ インクボトルの交換は、本機の電源を入れた状態で行ってください。
 - ▶ 必ず同じ色のインクボトルと交換してください。
インクの色を変えるときは、ドラムごと交換してください。(☞ 89「ドラムを交換する」)

1 前カバーを開ける

2 使用済みのインクボトルを引き抜く

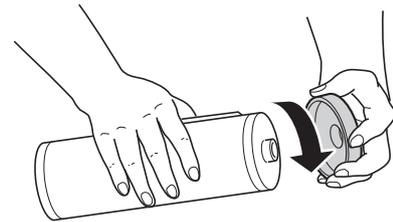
- ① インクボトルを左方向に回します。
- ② インクボトルを手前に引き抜きます。



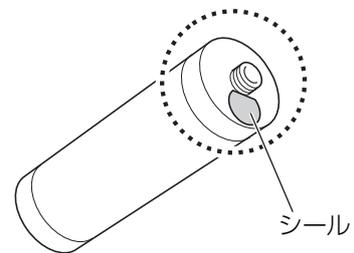
- 重要**
- ▶ 使用済みのインクボトルは、自治体の規制に従って廃棄してください。
(☞ 90「使用済み消耗品の回収・廃棄について」)

3 新しいインクボトルのキャップを外す

インクボトルのキャップを回して外します。

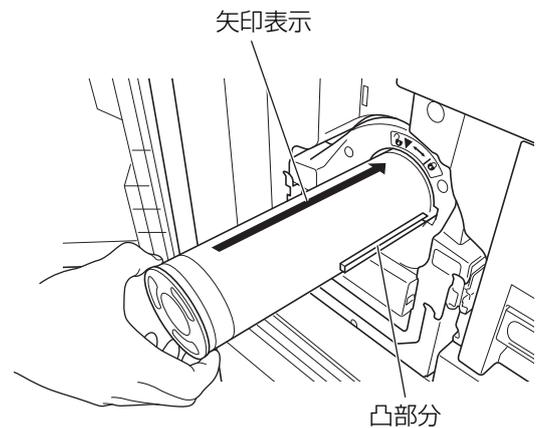


- 重要**
- ▶ インクボトルの先端周辺に触れたり、衝撃を与えたりしないでください。
 - ▶ インクボトルの先端部分に貼られているシールは、傷つけたりはがしたりしないでください。



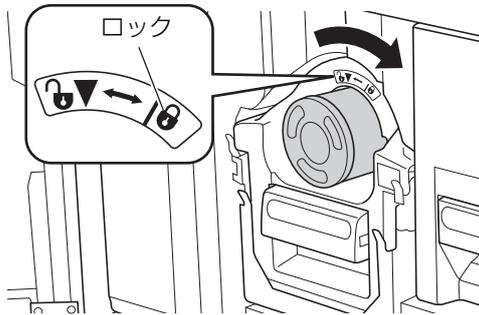
4 新しいインクボトルをセットする

インクボトルの矢印表示をドラムの[▼]に合わせ、奥に当たるまで差し込みます。
(インクボトルの凸部分を右側にします。)



- 重要**
- ▶ インクボトルの向きをよく確認してセットしてください。無理に押し込むと、破損するおそれがあります。

- 5 インクボトルをロックする**
インクボトルを右方向に回して、ロックします。



- 6 前カバーを閉める**

排版ボックスのマスターを廃棄する

使用済みのマスターは、排版ボックスに送られます。排版ボックスの容量がいっぱいになると、メッセージが表示されて本機が停止します。使用済みのマスターを廃棄してください。



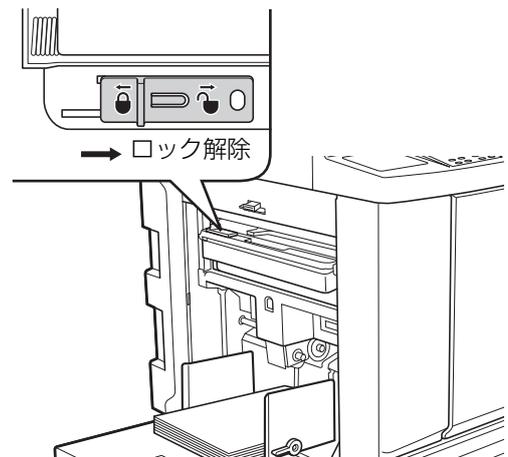
▶ 排版ボックスのマスターの廃棄は、本機の電源を入れた状態で行ってください。

注意

手などにインクが付いたときは早めに洗剤で洗い落としてください。

1 排版ボックスのロックを解除する

排版ボックスがロックされている場合は、ロックレバーを右にスライドして解除します。(ロックレバーが取り付けられていない場合は、この操作は必要ありません。)

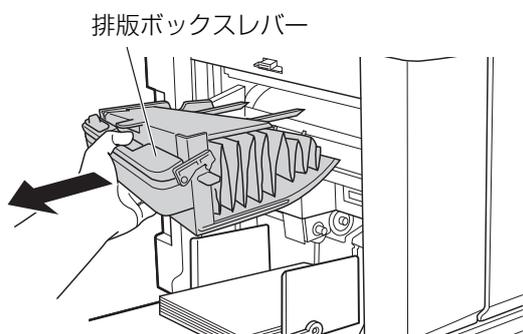


参考

▶ 排版ボックスに南京錠が取り付けられている場合は、管理者に連絡して開錠します。

2 排版ボックスを外す

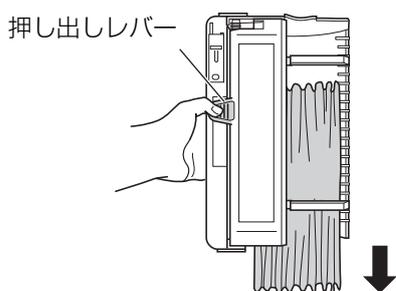
排版ボックスレバーを握りながら、排版ボックスを水平に引き出します。



排版ボックスレバー

3 使用済みのマスターを廃棄する

ゴミ箱の上で、排版ボックスを手前に傾けます。押し出しレバーを握ると、使用済みのマスターを落とせます。



押し出しレバー

4 排版ボックスをセットする

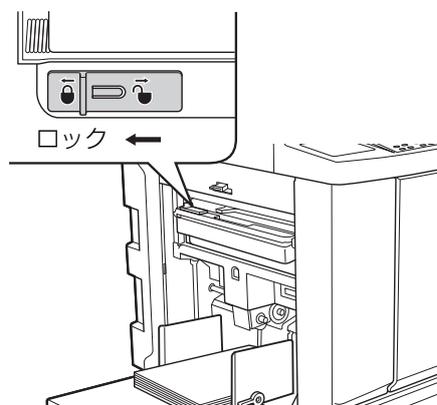
排版ボックスを、奥に当たるまで差し込みます。



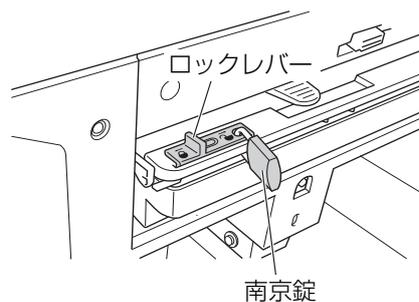
- ▶ 使用済みのマスターは、自治体の規制に従って廃棄してください。
(90 「使用済み消耗品の回収・廃棄について」)

参考

- ▶ 通常は、排版ボックスのロックを解除したままの状態でご使用いただけます。必要に応じて、ロックレバーを左にスライドして、ロックしてください。



- ▶ 排版ボックスを、南京錠などで施錠することができます。南京錠は、下図のようにロックレバーの穴に差し込みます。(南京錠は、市販品をお買い求めください。南京錠を差し込む穴の直径は 7mm です。)



ドラムを交換する

他の色で印刷するには、ドラムを交換します。
また、本機の内部につまった紙を取り除くときは、ドラムを取り外すことができます。

⚠ 注意

- ドラム周辺や、ドラムユニットを外した本体内部にはインクが付いていることがありますので、手や衣服などが触れないように注意してください。手などにインクが付いたときは早めに洗剤で洗い落としてください。
- 本体内部に手を入れるときは、突起物や板金の端に触れないようにご注意ください。けがの原因となることがあります。
- ドラムは垂直に立てないでください。床などを汚すことがあります。



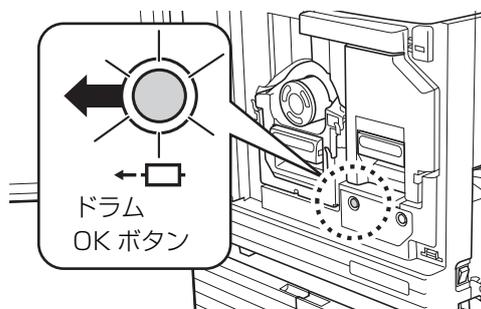
- ▶ 本機専用ドラムを使用してください。
(☞ 120 「オプションについて」)
- ▶ ドラムの引き出しやセットは、本機の電源を入れた状態で行ってください。
- ▶ 交換したドラムは、必ずドラムケースに入れて水平に保管してください。

ドラムの取り外し

1 前カバーを開ける

2 【ドラム OK ボタン】 が点灯していることを確認する

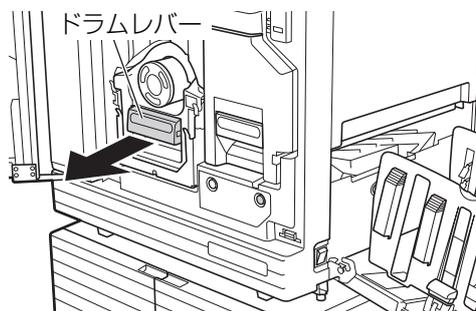
消灯しているときは、【ドラム OK ボタン】 を押して点灯させます。



- ▶ 製版ユニットを引き出ししているときは、ドラムを引き出せません。製版ユニットを戻してから、【ドラム OK ボタン】 を押しします。

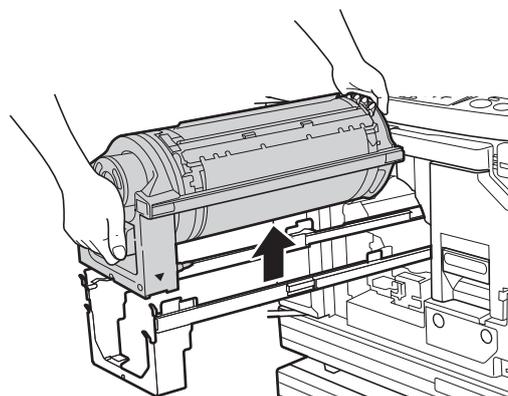
3 ドラムを引き出す

ドラムレバーを握りながら、ドラムが止まるまでゆっくりと引き出します。

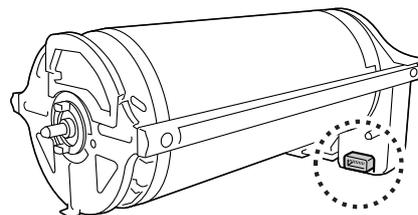


4 ドラムを取り外す

ドラムを両手で真上に持ち上げて、レールから外します。青いハンドル部分をしっかりと握ってください。



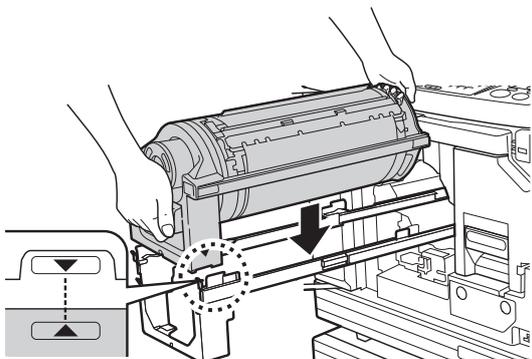
- ▶ ドラムのコネクターには触れないでください。静電気などにより、ドラムが故障する原因になることがあります。



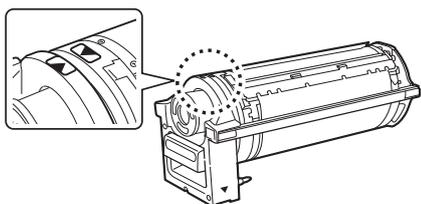
ドラムのセット

1 ドラムをレールにセットする

ドラムの [▼] マークとレールの [▲] マークを合わせます。ドラムをレールに水平にセットします。

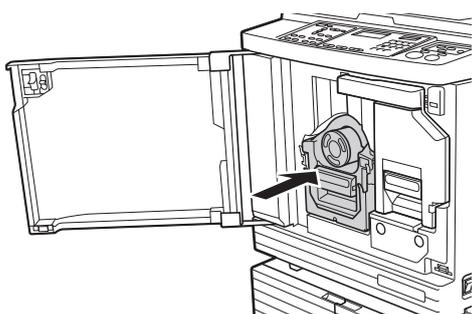


重要 ▶ ドラムを手で回したときは、作業後、必ず [▼] マークと [▲] マークが向かい合う位置までドラムを戻してください。



2 ドラムを本体に戻す

ドラムを、止まるまでゆっくりと押し込みます。



重要 ▶ ドラムを押し込むときは、ドラムレバーを握らないでください。

3 前カバーを閉める

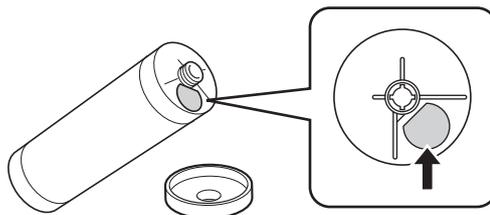
使用済み消耗品の回収・廃棄について

インクボトル

- 使用済みのインクボトルの回収システムがあります。詳しくは、お買い上げの販売会社（あるいは保守・サービス会社）にお問い合わせください。
- 廃棄する場合は、自治体の規制に従ってください。分別の必要があるときは、以下を参考にしてください。

部品名	材質
インクボトル・キャップ	プラスチック（ポリプロピレン、ポリエチレン）
シール	金属を含むプラスチック
インク	植物油、石油系炭化水素、水、顔料

- インクボトル先端のシールを、下図の矢印部分からはがして分別してください。



⚠ 注意

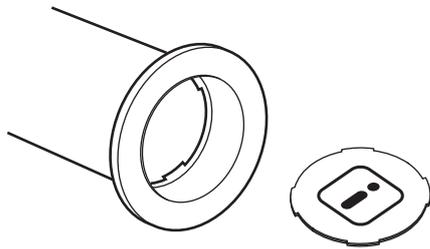
インクボトルの先端付近にはインクが付いていることがありますので、手や衣服などが触れないように注意してください。手などにインクが付いたときは早めに洗剤で洗い落としてください。

マスター芯

- 使用済みのマスター芯は、自治体の規制に従って廃棄してください。分別の必要があるときは、以下を参考にしてください。

部品名	材質
芯	紙
マスター	プラスチックフィルムと紙の複合物
[①] の型押し部	金属を含むプラスチック、紙

- [①] が型押しされている部分の裏面に、金属を含むシールが付いています。ミシン目から切り取って、分別してください。



使用済みのマスター

- 使用済みのマスターは、自治体の規制に従って廃棄してください。分別の必要があるときは、以下を参考にしてください。

部品名	材質
マスター	プラスチックフィルムと紙の複合物 (インクが付着しています)

- 参考** ▶ 成分は炭素と水素の化合物なので、完全燃焼すれば水と炭酸ガスになります。



第 9 章

お手入れについて

クリーナーについて

本機をお手入れするときに使用していただきたいクリーナーをご紹介します。
クリーナーの注意書きをよく読んでから使用してください。

注意

- クリーナーを、顔や手など人体に付いた汚れには使用しないでください。
- クリーナーを使用した後は、必ず手を洗ってください。

■ リソグラフクリーナー

外装部の清掃に最適です。直接スプレーし、柔らかい布や紙で拭き取ります。清掃後は、汚れの付着を防止する効果もあります。



お手入れのしかた

製版ユニットのサーマルヘッドや自動原稿送り装置（オプション）のスキヤナーガラス、ホワイト板などに、ほこりやゴミ、修正液などが付くと、プリントの仕上がりが汚れたりかすれたりすることがあります。定期的にお手入れすることをおすすめします。

注意

本書に記載されている以外の作業（調整や修理など）は行わないでください。調整や修理は、必ず販売会社（あるいは保守・サービス会社）に依頼してください。

サーマルヘッド

サーマルヘッドは、製版するときが発熱して、マスターに穴をあけるための部品です。マスター交換時にクリーニングしてください。

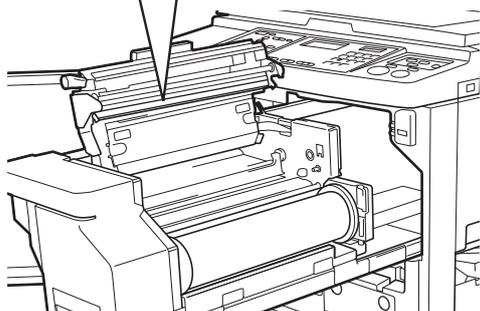
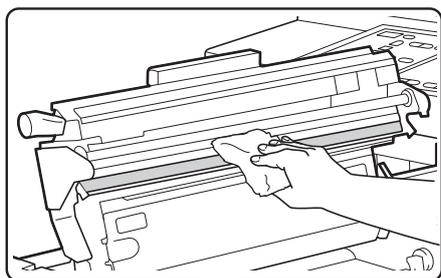
製版ユニットカバーを開けて、奥にあるサーマルヘッドを、柔らかい布などで数回軽くこすります。

注意

高温注意

サーマルヘッドには、指で直接触れないでください。高温になっている場合、やけどをするおそれがあります。

- 重要**
- ▶ サーマルヘッドは非常にデリケートな部分です。固いもので傷付けたり、衝撃を与えたりすることは、おやめください。
 - ▶ サーマルヘッドは静電気に弱い部分です。清掃する前に、身体に帯電している静電気を必ず除去してください。



外装部

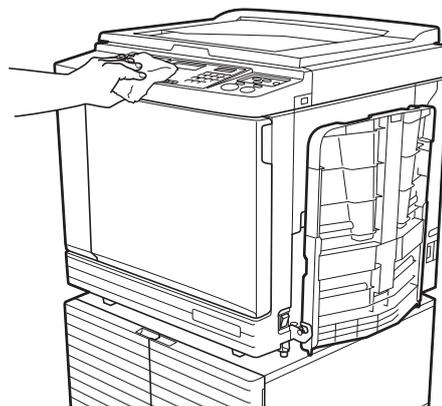
本体にほこりなどが付くのを防ぐため、定期的に全体を柔らかい布で軽く拭いてください。

汚れ落としには、リソグラフィクリーナーを使用してください。

- 重要**
- ▶ 本体の外装部にはプラスチックを使用しています。アルコールや溶剤系の洗剤は使用しないでください。

液晶パネルの汚れは、通常、乾いた布で軽く拭きとります。インクなどで汚れたときは、布などに少量のクリーナーを付けて軽く拭きとってください。

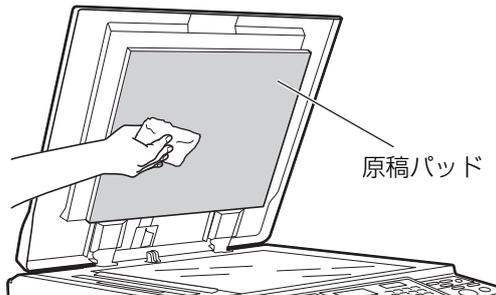
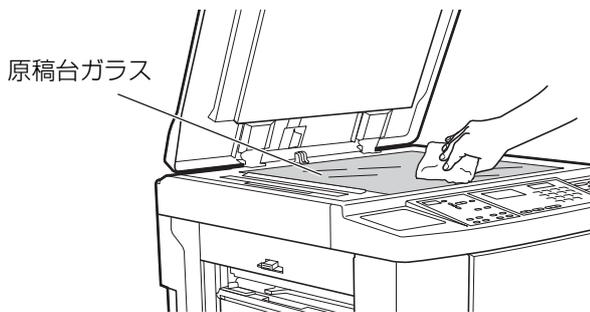
- 重要**
- ▶ 液晶パネルにクリーナーを直接吹きかけたり、塗布したりしないでください。故障の原因になります。



原稿台ガラスと原稿パッド

原稿台ガラスや原稿パッドが汚れているときは、柔らかい布やティッシュペーパーで数回軽く拭いてください。

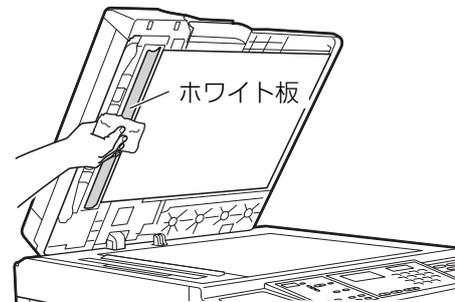
- 重要** ▶ 原稿台ガラスは非常にデリケートな部分です。固いもので傷付けたり、衝撃を与えたりすることはおやめください。



自動原稿送り装置 (オプション)

スキャナーガラスとホワイト板を、柔らかい布やティッシュペーパーで軽くこすり、汚れを落とします。

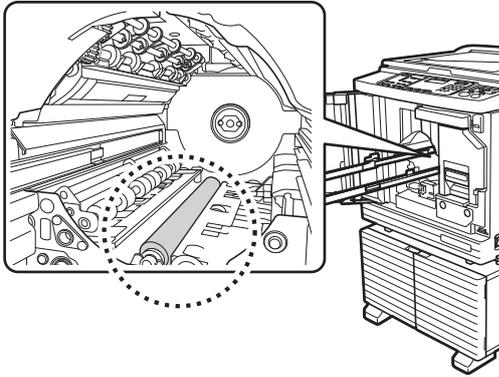
- 重要** ▶ スキャナーガラスは非常にデリケートな部分です。固いもので傷付けたり、衝撃を与えたりすることは、おやめください。



プレスローラー

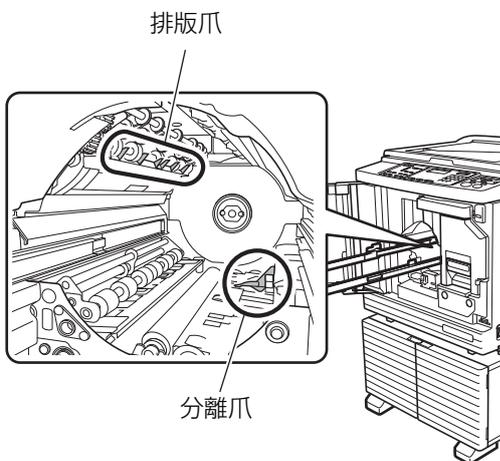
プレスローラーは、ドラムユニットに用紙を圧着させる部品です。プレスローラーが汚れていると、用紙の裏に帯状の汚れが付くことがあります。

柔らかい布やティッシュペーパーで数回軽く拭いてください。



⚠ 注意

- プレスローラーの清掃時には、本機の電源を必ず切ってください。
- ドラムユニットを外した本体内部には、インクが付いていることがありますので、手や衣服などが触れないように注意してください。手などにインクが付いたときは、早めに洗剤で洗い落としてください。
- 本体内部に手を入れるときは、分離爪や排版爪に触れないように注意してください。分離爪や排版爪の先端は鋭利なため、けがの原因となることがあります。





第 10 章

こんなときには

メッセージが表示されたときは

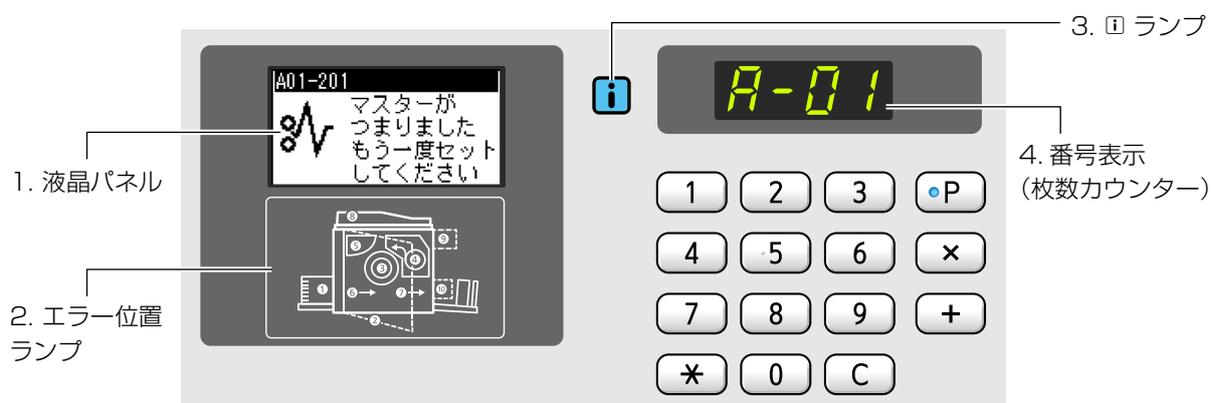
メッセージが表示されたときの対処方法について説明します。

注意

本体内部に手を入れるときは、突起物や板金の端に触れないようにご注意ください。
けがの原因となることがあります。

メッセージの見かた

状況に応じて、対処方法が表示されます。



1. 液晶パネル

番号やメッセージが表示されます。

番号*1	種類	内容
T00-0000 (P00-0000)*2	サービスエラー	サービス担当者による点検、修理が必要なエラーが発生したときに表示されます。エラーの番号を販売会社（あるいは保守・サービス会社）に連絡してください。
A00-0000	ジャムエラー	マスターがつまったときに表示されます。
B00-0000	オプションエラー	接続されているオプションでエラーが発生したときに表示されます。
C00-0000	消耗品エラー	インク、マスターなどの消耗品がなくなったときに表示されます。
D00-0000	セット確認エラー	各部のセットが正しくされていないときに表示されます。
E00-0000	メンテナンスコール	サービス担当者による電池交換や定期点検が必要なときに表示されます。エラーの番号を販売会社（あるいは保守・サービス会社）に連絡してください。
F00-0000 G00-0000	ワーニング	操作パネルでの設定と、本機の状態が適合しないときに表示されます。
J00	通紙ジャムエラー	原稿または用紙がつまったときに表示されます。

* 1：上表の番号のうち、「0」の部分には固有の番号が表示されます。

* 2：枚数カウンターには、「T」の代わりに「P」と表示されます。

2. エラー位置ランプ

エラーが起きている場所のランプが点灯します。

3. [H] ランプ

[H] ランプの色は、本機の動作状態を表します。

表示	説明
 (青色)	本機は正常に動作します。
 (黄色)	本機は正常に動作しますが、消耗品からの情報を必要とする機能（残量表示など）が働きません。 📖 108 「[H] ランプが点滅し、枚数カウンターに [H] が表示されたら」
 (消灯)	📖 110 「[H] ランプが消灯し、枚数カウンターにエラーの番号が表示されたら」

4. 番号表示（枚数カウンター）

エラーやワーニングの番号を表示して点滅します。

メッセージ

表示されるメッセージに従って対処してください。

■ T00-0000 (P00-0000) : サービスエラー

エラー表示を消すには、[リセット] キーを押します。消えない場合は、電源を OFF してください。

メッセージ	対処
トラブルが発生しました サービスに連絡ください	販売会社（あるいは保守・サービス会社）に連絡してください。

■ A00-0000 : ジャムエラー

エラー表示を消すには、対処後に [リセット] キーを押します。

位置	番号	メッセージ	対処
④ 製版	A01	マスターが つまりました もう一度セット してください	製版ユニットを引き出し、マスターを正しくセットしてください。 (📖 84 「マスターをセットする」)  ▶ 巻き戻したマスターがしわになっていたり、ジグザグに切れていたりするときは、カッターなどで先端をまっすぐに切り取ってからセットしてください。
③ ドラム	A02 A04	マスターが つまりました 取り除いて ください	①ドラムを引き出し、ドラム上のマスターを取り除いてください。 (📖 89 「ドラムを交換する」) ②ドラムをセットし直してください。 ③ [スタート] キーを押してください。
⑤ 排版	A05	マスターが つまりました 取り除いて ください	排版ボックスを取り出し、つまっているマスターを取り除いてください。 (📖 87 「排版ボックスのマスターを廃棄する」) エラー表示が消えない場合は、販売会社（あるいは保守・サービス会社）にご連絡ください。
① 給紙	A06	設定を確認 してください	給紙台の下や用紙の上に障害物がないかを確認してください。 障害物がある場合は、取り除いてください。

位置	番号	メッセージ	対処
③ ドラム	A16	マスターが 残っています 取り除いて ください	①ドラムを引き出し、ドラム上のマスターを取り除いてください。 (☞ 89 「ドラムを交換する」) ②ドラムをセットし直してください。 ③ [スタート] キーを押してください。
④ 製版	A17	マスターを 取り出して カバーを 閉めてください	マスターを切るカッターが正常に動作しませんでした。 ①製版ユニットを引き出し、マスターを取り出してください。 (☞ 84 「マスターをセットする」) ②製版ユニットカバーを閉めると、エラーが解除されます。 ③再度製版ユニットカバーを開けて、マスターをセットしてください。
④ 製版	A34	設定を確認 してください	マスターを正しくセットしてください。 (☞ 84 「マスターをセットする」) 重要 ▶ 巻き戻したマスターがしわになっていたり、ジグザグに切れていたりするときは、カッターなどで先端をまっすぐに切り取ってからセットしてください。

■ B00-0000 : オプションエラー

エラー表示を消すには、対処後に [リセット] キーを押します。

位置	番号	メッセージ	対処
⑩ ソーター	B22	設定を確認 してください	ST ソーター (オプション) の電源を入れてください。
⑩ ソーター	B23	設定を確認 してください	ST ソーター (オプション) に、新しいテープをセットしてください。
⑩ ソーター	B24	設定を確認 してください	ST ソーター (オプション) を確認し、つまっているテープを取り除いてください。
—	B29	認識できませんでした (HUB)	本機の USB ポートに USB ハブがセットされています。 本機で使用できる、正常な USB メモリーをセットしてください。 (☞ 11 「原稿データのプリントについて」)
—	B30 B38 B39	認識できませんでした	本機で使用できる、正常な USB メモリーをセットしてください。 (☞ 11 「原稿データのプリントについて」)
—	B32	設定を確認 してください	本機にネットワークケーブルが正しく接続されているか、ネットワークに問題が起きていないかを確認してください。
—	B33	設定を確認 してください	本機の IP アドレスを設定してください。 (☞ 65 「ネットワークに接続する」)

■ C00-0000 : 消耗品エラー

エラー表示を消すには、対処後に [リセット] キーを押します。

位置	番号	メッセージ	対処
③ ドラム	C01	新しいインクに交換してください	新しいインクボトルに交換してください。 (☞ 86 「インクボトルを交換する」)
④ 製版	C02	新しいマスターに交換してください	製版ユニットからマスター芯を取り出して、新しいマスターロールをセットしてください。 (☞ 84 「マスターをセットする」)
⑤ 排版	C03	排版ボックスのマスターを取り除いてください	排版ボックス内のマスターを廃棄してください。 (☞ 87 「排版ボックスのマスターを廃棄する」)
① 給紙	C04	設定を確認してください	給紙台に用紙をセットしてください。 (☞ 24 「給紙台と用紙のセット」)
③ ドラム	C11	インクの使用期限が過ぎています	新しいインクボトルに交換してください。 (☞ 120 「消耗品について」) (☞ 86 「インクボトルを交換する」)
④ 製版	C12	マスターの使用期限が過ぎています	新しいマスターロールに交換してください。 (☞ 120 「消耗品について」) (☞ 84 「マスターをセットする」)
③ ドラム ④ 製版	C13	インク、および、マスターの使用期限が過ぎています	新しいインクボトルとマスターロールに交換してください。 (☞ 120 「消耗品について」) (☞ 86 「インクボトルを交換する」) (☞ 84 「マスターをセットする」)

■ D00-0000 : セット確認エラー

エラー表示を消すには、対処後に [リセット] キーを押します。

位置	番号	メッセージ	対処
③ ドラム	D01	設定を確認してください	ドラムがセットされていないか、または正しくセットされていません。 ドラムを正しくセットしてください。 (☞ 89 「ドラムを交換する」)
③ ドラム	D02	設定を確認してください	適切なドラムをセットしてください。 (☞ 89 「ドラムを交換する」) <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px; margin-right: 5px;">重要</div> <div>▶ ドラムは本機専用のものをご使用ください。他のドラムをご使用になりますと、故障やトラブルの原因になることがあります。</div> </div>
③ ドラム	D03	設定を確認してください	インクボトルを正しくセットしてください。 (☞ 86 「インクボトルを交換する」)

位置	番号	メッセージ	対処
③ ドラム	D04	設定を確認してください	<p>インクボトルの種類と色が適切かを確認してください。 適切なインクボトルをセットしてください。 (☞ 120 「消耗品について」)</p> <p>重要 ▶ インクボトルは当社推奨のものをご使用ください。他のインクをご使用になりますと、故障やトラブルの原因になることがあります。</p> <p>インクボトル先端のシールが、はがれたり汚れたりしていないかを確認してください。 インクボトル先端のシールには、プリントに必要な情報が入っています。 汚れのないシールが適切に貼られているインクボトルをセットしてください。 (☞ 86 「インクボトルを交換する」)</p>
④ 製版	D05	設定を確認してください	<p>マスターを正しくセットしてください。 (☞ 84 「マスターをセットする」)</p>
⑤ 排版	D07	設定を確認してください	<p>排版ボックスがセットされていないか、または正しくセットされていません。 排版ボックスを正しくセットしてください。 (☞ 87 「排版ボックスのマスターを廃棄する」)</p>
④ 製版	D08 D09	設定を確認してください	<p>製版ユニットカバーが開いているか、または正しくセットされていません。 製版ユニットを引き出して、カバーをセットし直してください。 (☞ 84 「マスターをセットする」)</p>
② 前扉	D11	設定を確認してください	<p>本機の前カバーが開いているか、または正しくセットされていません。 前カバーを閉め直してください。</p>
—	D13	トラブルが発生しました サービスに 連絡ください	<p>本機背面のカバーが外れています。 販売会社（あるいは保守・サービス会社）にご連絡ください。</p>
④ 製版	D17	設定を確認してください	<p>マスターの種類が適切かを確認してください。 適切なマスターロールをセットしてください。 (☞ 120 「消耗品について」)</p> <p>重要 ▶ マスターは当社推奨のものをご使用ください。他のマスターをご使用になりますと、故障やトラブルの原因になることがあります。</p> <p>マスター芯の [④] 部分が、折れ曲がったり切れたりしていないかを確認してください。 マスター芯の [④] 部分には、プリントに必要な情報が入っています。 [④] 部分が折れ曲がったり切れたりしていないマスターをセットしてください。 (☞ 84 「マスターをセットする」)</p>
② 前扉	D18	ドラムが 引き出せませ	<p>ドラムが引き出せる状態になっています。 ドラムを引き出してください。</p>
② 前扉	D19	製版ユニットが 引き出せませ	<p>製版ユニットが引き出せる状態になっています。 製版ユニットを引き出してください。</p>
③ ドラム	D22	設定を確認してください	<p>ドラムが奥までセットされていません。 ① [ドラム OK ボタン] を押し、点灯するまで待ってください。 ②ドラムを引き出して、セットし直してください。</p>

位置	番号	メッセージ	対処
⑧ 読取	D23	設定を確認 してください	自動原稿送り装置（オプション）の AF 給紙カバーを閉めてください。
③ ドラム	D45	インクボトルを 再セットして ください	インクボトルが適切にセットされていない可能性があります。 インクボトルをいったん取り外して、セットし直してください。 (☞ 86 「インクボトルを交換する」)

■ E00-0000 : メンテナンスコール

エラー表示を消すには、[リセット] キーを押します。

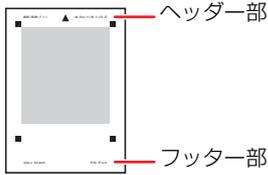
位置	番号	メッセージ	対処
—	E01	定期点検の 時期がきました サービスに 連絡ください	本機内部の電池が切れかかっています。 販売会社（あるいは保守・サービス会社）に、電池交換をご依頼ください。
—	E02	定期点検の 時期がきました サービスに 連絡ください	販売会社（あるいは保守・サービス会社）に、定期点検をご依頼ください。

■ F00-0000/G00-0000 : ワーニング

エラー表示を消すには、[リセット] キーを押します。

位置	番号	メッセージ	対処
③ ドラム	F01	設定を確認 してください	ドラムにマスターが付いていません。製版を行ってください。  ▶ ドラムにマスターが付いていない状態で放置すると、ドラムが乾いて故障の原因になります。必ず、製版または【機密】(☞ 52) を行ってマスターを巻き付けてください。
—	F04	上限に達しました これ以上 利用できません	あらかじめ設定された製版回数または印刷枚数の上限に達しました。 管理者に連絡してください。 (☞ 69 「[TC 上限設定] [MC 上限設定]」)
—	F05	最低印刷枚数が 設定されています nn 枚以上 入力してください	表示されている枚数以上に入力し直して、[スタート] キーを押してください。 [ユーザーモード] の [最低印刷枚数] (☞ 56) で、設定を変更できます。
① ⑦	F28	給紙圧レバーが 厚紙になっています 確認してください	この画面は、[紙質] (☞ 56) が [標準] に設定されている場合に、給紙圧レバーが [厚紙] の位置にあるときに表示されます。 使用する用紙を確認し、必要に応じて給紙圧レバー (☞ 24) の位置を切り替えてください。また、排紙ウイング調節ダイヤル (☞ 26) も、適切な位置に合わせてください。
① 給紙	F30	用紙が重送 された可能性が あります	複数の用紙が重なったまま給紙（重送）された場合は、以下のページを参照して対処してください。 (☞ 116 「用紙が給紙台からうまく送られない。（空送または重送される）」) 重送されていない場合は、[重送検知] (☞ 60) を [OFF] にしてください。
⑧ 読取	F37	設定を確認 してください	原稿を原稿台ガラスにセットしてください。

位置	番号	メッセージ	対処
—	F38	すでに登録されています	[ユーザー登録] (☞ 68) でパスワードを登録するとき、同じパスワードが他のユーザーに使われている場合に表示されます。他のパスワードを登録してください。
—	F39	使用できません 管理者へ連絡してください	[利用停止] (☞ 69) されているユーザーが認証操作した場合に表示されます。
⑧ 読取	F45	設定を確認してください	原稿台カバーを開けて、原稿をセットし直してください。
—	F51	インクの消費期限が近づいています	より良い状態でお使いいただくため、製造日から24カ月以内（常温保存）を目安にご使用ください。 (☞ 120 「消耗品について」)
—	F56	マスターの消費期限が近づいています	より良い状態でお使いいただくため、製造日から24カ月以内（常温保存）を目安にご使用ください。 (☞ 120 「消耗品について」)
—	F57	インク、および、マスターの消費期限が近づいています	より良い状態でお使いいただくため、製造日から24カ月以内（常温保存）を目安にご使用ください。 (☞ 120 「消耗品について」)
—	F74	本機の温度が低いため「ハイスピード」は使用できません	[ハイスピード] を使用できるのは、ドラム内部の温度が5℃以上のときです。ドラムが冷えている場合は、部屋を暖めたり、速度 [5] 以下でしばらく印刷したりして、ドラム内部が十分な温度になるまでお待ちください。
—	F90	インクの在庫を確認してください	該当色のインクボトルの在庫数が、[サプライ閾値] (☞ 60) で設定された数以下になりました。必要に応じて発注してください。
—	F91	マスターの在庫を確認してください	マスターロールの在庫数が、[サプライ閾値] (☞ 60) で設定された数以下になりました。必要に応じて発注してください。
—	F96	利用枚数の集計日がきました 管理者へ連絡してください	利用枚数の集計日が来たことを、管理者に連絡してください。 参考 ▶ [利用枚数集計出力] (☞ 71) を実行するまで、電源 ON のたびにワーニング画面が表示されます。当月に [利用枚数集計出力] を実行する予定がない場合は、[利用枚数ワーニングクリア] (☞ 71) を実行してください。
—	G01	紙メモリープリントとAFは併用できません 原稿台ガラスを使用してください	紙メモリー原稿を、原稿台ガラスにセットしてください。

位置	番号	メッセージ	対処
—	G02	原稿が適切に読み取れませんでした 原稿の位置を確認してください	紙メモリー原稿が、原稿台ガラスに傾いてセットされていると、適切に読み取れないことがあります。 紙メモリー原稿をセットし直してください。 原稿台ガラスや原稿パッドに汚れがあると、適切に読み取れないことがあります。 原稿台ガラスを清掃してから、紙メモリー原稿の読み取りをやり直してください。 (☞ 96 「原稿台ガラスと原稿パッド」) 紙メモリー原稿に汚れ、しわ、折れ目などがあると、本機で適切に読み取れないことがあります。 紙メモリー原稿をきれいな用紙にプリントし直すことをおすすめします。 当社推奨のプリンター以外でプリントされた紙メモリー原稿は、本機で適切に読み取れないことがあります。 紙メモリー原稿を当社推奨のプリンターでプリントし直すことをおすすめします。当社推奨のプリンターについては、販売会社（あるいは保守・サービス会社）にお問い合わせください。
—	G03	適切な原稿をセットしてください	紙メモリー原稿に印字されている以下の情報を確認し、適切な紙メモリー原稿をセットしてください <ul style="list-style-type: none"> ・ヘッダー部：液晶画面に表示されているページ番号／総ページ数、変換日時と一致すること ・フッター部：お使いの印刷機のシリーズ名と一致すること 
—	G04	原稿が正しくありません 適切な原稿をセットしてください	本機で使用可能な紙メモリー原稿以外がセットされています。本機用のプリンタードライバーを利用して紙メモリーパターンに変換された原稿をセットしてください。
—	G10	現在セットされている用紙では合紙仕分けできません	[合紙仕分け] (☞ 74) を実行するときは、以下のサイズの内紙をセットしてください。 (定形サイズの場合) A3☐、B4☐、A4☐ (不定形サイズの場合) 210mm×280mm～310mm×432mm

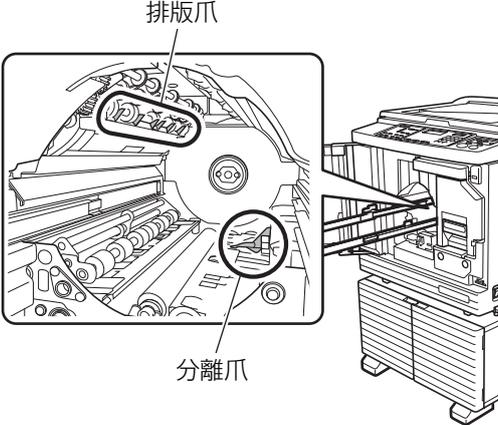
■ J00：通紙ジャムエラー

原稿または用紙がつまっている場所のエラー位置ランプが、点灯します。



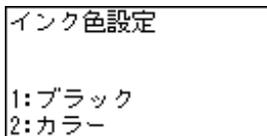
- ▶ 紙づまりを防ぐために、印刷に適した用紙を使用してください。
(☞ 12 「用紙について」)
- ▶ 自動原稿送り装置（オプション）に原稿をセットするときは、適切な原稿を使用してください。
(☞ 11 「原稿について」)

位置	対処
⑥ 給紙側	給紙側を確認し、給紙台を下げた後、つまっている用紙を取り除いてください。 エラー表示が消えない場合は、[リセット] キーを押してください。 ▶ 給紙圧レバーを切り替えると、紙づまりを防げることがあります。 (☞ 24 「給紙台と用紙のセット」)

位置	対処
⑥ 自動原稿送り装置 (オプション)	AF 給紙カバーを開けて、つまっている原稿を取り除いてください。 つまっている位置によっては、原稿台カバーを上げて、自動原稿送り装置の下側から原稿を取り除くこともできます。
③ ドラム周辺	<p>ドラムを引き出して、つまっている用紙を取り除いてください。 (☞ 89 「ドラムを交換する」)</p> <p>⚠ 注意</p> <ul style="list-style-type: none"> ドラム周辺や、ドラムユニットを外した本体内部にはインクが付いていることがありますので、手や衣服などが触れないように注意してください。手などにインクが付いたときは早めに洗剤で洗い落としてください。 本体内部に手を入れるときは、分離爪や排版爪に触れないように注意してください。分離爪や排版爪の先端は鋭利なため、けがの原因となることがあります。 
⑦ 排紙側	排紙側を確認して、つまっている用紙を取り除いてください。

【⑩】 ランプが点滅し、枚数カウンターに [H] が表示されたら

本機は、最適なプリント状態を保つために、消耗品から情報を得ています。情報を取得できなかった場合は、枚数カウンターに [H] で始まる番号が表示されます。適切な設定値を入力してください。



H 1

参考

- 以下の操作を行うと、入力した設定値が消失するため、再入力が必要になります。
 - 電源スイッチを OFF にして、再度 ON したとき
 - スリープ状態になった後、[ウェイクアップ] キーを押したとき

■ 【インク情報の入力】

以下の表を参考にして、項目を設定してください。

番号	画面表示	設定内容	設定値
H1	インク色設定 1: ブラック 2: カラー	現在使用しているドラムと同じ色を選択します。 [スタート] キーを押すと、次のステップに進みます。	1: ブラック 2: カラー

番号	画面表示	設定内容	設定値
H2	印刷濃度微調整 1 (薄い) 5 (濃い)	インクに合わせて、適正な印刷濃度になるように設定値を入力します。 [スタート] キーを押すと、次のステップに進みます。	1 (薄い) ~ 5 (濃い)
H3	ファーストプリント印刷濃度調整 1 (薄い) 5 (濃い)	インクに合わせて、ファーストプリントが適正な印刷濃度になるように設定値を入力します。 [スタート] キーを押すと、次のステップに進みます。	1 (薄い) ~ 5 (濃い)
HE	月を入力してください (二桁)	ワーニング [F51] (☒ 106) を表示させる月を入力します。 [スタート] キーを押すと、次のステップに進みます。	01 ~ 12
HY	年を入力してください (二桁)	ワーニング [F51] (☒ 106) を表示させる年を入力します。 [スタート] キーを押すと、インクの情報入力が完了します。	01 ~ 99

■ [マスター情報の入力]

以下の表を参考にして、項目を設定してください。

番号	画面表示	設定内容	設定値
H4	製版濃度設定 1 (薄い) 10 (濃い)	マスターに合わせて、適正な製版濃度になるように設定値を入力します。 [スタート] キーを押すと、次のステップに進みます。	1 (薄い) ~ 10 (濃い)
H5	印刷濃度微調整 1 (薄い) 5 (濃い)	マスターに合わせて、適正な印刷濃度になるように設定値を入力します。 [スタート] キーを押すと、次のステップに進みます。	1 (薄い) ~ 5 (濃い)
H6	ファーストプリント印刷濃度調整 1 (薄い) 5 (濃い)	マスターに合わせて、ファーストプリントが適正な印刷濃度になるように設定値を入力します。 [スタート] キーを押すと、次のステップに進みます。	1 (薄い) ~ 5 (濃い)
HE	月を入力してください (二桁)	ワーニング [F56] (☒ 106) を表示させる月を入力します。 [スタート] キーを押すと、次のステップに進みます。	01 ~ 12
HY	年を入力してください (二桁)	ワーニング [F56] (☒ 106) を表示させる年を入力します。 [スタート] キーを押すと、マスターの情報入力完了します。	01 ~ 99

[i] ランプが消灯し、枚数カウンターにエラーの番号が表示されたら

番号に応じて、以下のページを参照して対処してください。

番号	参照ページ
C01	 103
C02	 103
D04	 104
D17	 104
その他のDエラー	 103 ~  105

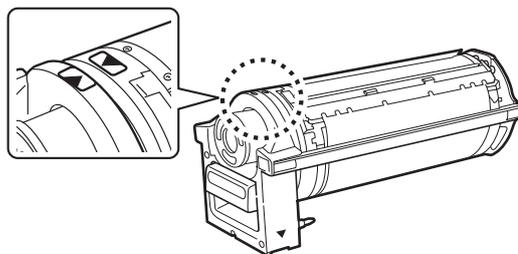
「故障？」と思ったときは

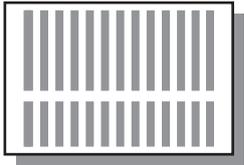
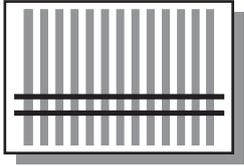
販売会社（あるいは保守・サービス会社）に連絡する前に、以下の表を確認して対処してください。

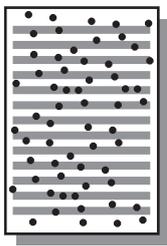
注意

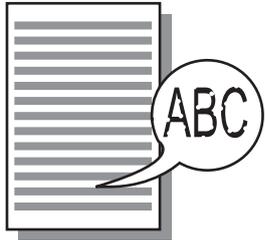
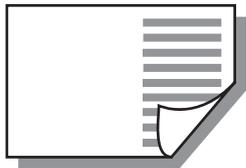
本書に記載されている以外の作業（調整や修理など）は行わないでください。
調整や修理は、必ず販売会社（あるいは保守・サービス会社）に依頼してください。

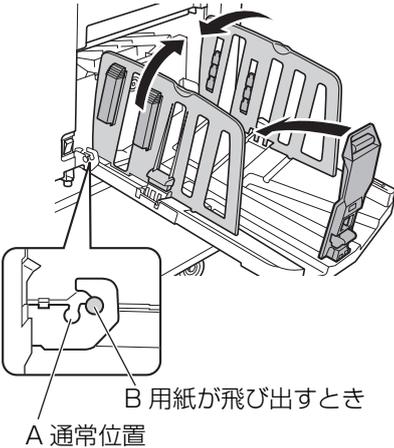
状況	チェックポイント	対処
電源が入っているのに、液晶パネルに何も表示されない。	スリープ状態ではありませんか？	操作パネルの [ウェイクアップ] キーが点灯しているときは、スリープ状態です。[ウェイクアップ] キーを押すと、操作できる状態になります。
電源を入れたのに起動しない。	電気は通じていますか？	<ul style="list-style-type: none"> 電源コードが本機とコンセントに確実に接続されているかを確認してください。 商用電源のブレーカーが落ちていないかを確認してください。
給紙台が閉まらない。	給紙フェンスは左右いっばいに広がっていますか？	電源を入れて、給紙台を最下部まで下げてください。その後、給紙フェンスロックレバーを立てて、給紙フェンスを左右いっばいに広げてから給紙台を閉じてください。 (☞ 24 「給紙台と用紙のセット」)
	給紙台が最下部まで下がりきる前に電源を OFF していませんか？	
ドラムが入らない。	正しい停止位置にドラムを回転させていますか？	ドラムを手で回したときは、作業後、必ず [▼] マークと [▲] マークが向かい合う位置までドラムを戻してください。]
	ドラムをレールに正しく乗せていますか？	ドラムをレールに正しく乗せてください。 (☞ 89 「ドラムを交換する」)
インクボトルをセットしたのに、エラーメッセージが消えない。	インクボトルを正しくセットしていますか？	インクボトルを差し込んで、右方向に回し、ロックしてください。 (☞ 86 「インクボトルを交換する」)
	インクボトル先端のシールが傷付いたりはがれたりしていませんか？	シールが傷ついたりはがれたりしているインクボトルは使用できません。新しいインクボトルをセットしてください。 (☞ 86 「インクボトルを交換する」)

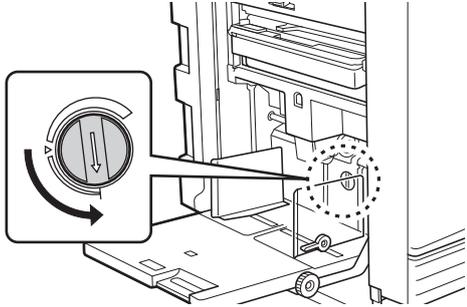
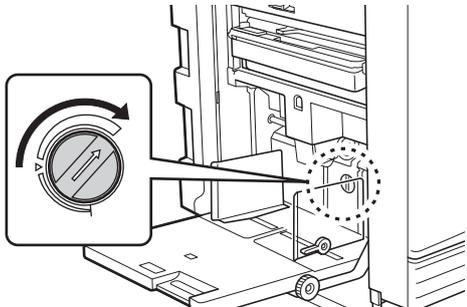


状況	チェックポイント	対処
マスターをセットしたのに、エラーメッセージが消えない。	マスターを正しくセットしていますか？	マスターロールは、マスター芯の [⑩] マークがある方を左にしてセットしてください。 (☞ 84 「マスターをセットする」)
	マスター芯の内側にある [⑩] 部分が折れ曲がったり、切れてしまったりしていませんか？	[⑩] 部分が折れ曲がったり、切れてしまったりしているマスターロールは使用できません。新しいマスターロールをセットしてください。 (☞ 84 「マスターをセットする」)
排版ボックスをセットできない。	排版ボックスのロックレバーは解除されていますか？	排版ボックスのロックレバー (☞ 87) を右にスライドして、ロックを解除してください。その後、排版ボックスをセットしてください。
何も印刷されていない。	原稿の裏表を逆にしてセットしていませんか？	正しい向きでセットしてください。 (☞ 27 「原稿をセットする」)
原稿をセットしていないのに原稿台カバーを閉じると、印刷モードから製版モードに自動で切り替わってしまう。	原稿台カバーを勢いよく閉じていませんか？	本機は、印刷モードの状態では原稿台カバーを閉じるときに、原稿がセットされていると検知すると、製版モードに自動で切り替わります。しかし、原稿台カバーを閉じる勢いが強すぎると、原稿がなくても原稿がセットされたと誤検知する場合があります。原稿台カバーは、静かに閉じてください。
プリントされた画像の一部が欠けている。	原稿台ガラスが汚れていませんか？	原稿台ガラスを、柔らかい布などで拭いてください。 (☞ 94 「お手入れのしかた」)
	マスターに付着物がありますか？	ドラムを引き出して、マスターに付着物がある場合は取り除いてください。 マスターとドラムの間に異物が挟まっている場合は、マスターをはがして異物を取り除いてください。その後、ドラムをセットして、製版し直してください。
	製版したとき、原稿より小さい用紙を給紙台にセットしていませんか？	製版されるサイズは、給紙台にセットされている用紙のサイズによって決定されます。 給紙台に、原稿と同じサイズの用紙をセットしてから製版してください。
	プリントしたい画像のサイズが、本機の最大印刷範囲を超えていませんか？	印刷できる最大範囲は、251×357 mm (B4 サイズ相当) です。 上記に収まるサイズに縮小して、製版してください。 (☞ 39 「原稿を拡大／縮小する [変倍]」)
印刷物に白い線が入っている。 	製版ユニットのサーマルヘッドや、自動原稿送り装置 (オプション) のスキャナーガラスが汚れていませんか？	サーマルヘッドやスキャナーガラスを、柔らかい布などで拭いてください。 (☞ 94 「お手入れのしかた」)
印刷物に線が入っている。 	自動原稿送り装置 (オプション) のスキャナーガラスが汚れていませんか？	スキャナーガラスを、柔らかい布などで拭いてください。 (☞ 94 「お手入れのしかた」)

状況	チェックポイント	対処
印刷物の地が全体的に汚れている。 	新聞のように、地に色がついている原稿を使用していますか？	[読取濃度] (☞ 38) を薄くして、製版し直してください。
	原稿台ガラスが汚れていませんか？	原稿台ガラスを、柔らかい布などで拭いてください。 (☞ 94 「お手入れのしかた」)
印刷物の縁（フチ）がインクで汚れている。	製版したとき、原稿より大きい用紙を給紙台にセットしていませんか？	給紙台に、原稿と同じサイズ of 用紙をセットしてから製版してください。 製版されるサイズは、給紙台にセットされている用紙のサイズ（給紙フェンスの幅と用紙の長さ）によって決定されます。
	製版したとき、給紙フェンスは用紙の幅にぴったりと合っていましたか？	製版するときに、原稿よりも大きい用紙を給紙台にセットしていると、原稿の外側も製版されます。そのため、原稿台カバーがしっかり閉じていないと、原稿の縁が影として製版されてしまうことがあります。
	ハガキなどの厚い用紙を印刷しているときに、用紙の角がマスターに当たってマスターを傷つけていませんか？	製版し直してください。 本機で使用可能な用紙を使用してください。 (☞ 12 「用紙について」)
	製版後、時間が経過したマスターを使用していませんか？	製版し直してください。
印刷物の裏がインクで汚れている。 	プレスローラーがインクで汚れていませんか？	ドラムを取り外して、プレスローラーを柔らかい布などで拭いてください。 (☞ 94 「お手入れのしかた」) 印刷位置が用紙からはみ出すと、プレスローラーが汚れる原因になります。印刷位置は、用紙に収まる範囲内で調整してください。
	製版したとき、給紙フェンスは用紙の幅にぴったりと合っていましたか？	製版するときは、給紙フェンスを用紙の幅に合わせてください。 (☞ 24 「給紙台と用紙のセット」) 給紙フェンスが用紙の幅に合っていないと、用紙サイズよりも広い範囲に製版されてしまいます。それによって、用紙からはみ出た部分のプレスローラーにインクが付き、用紙に転写されてしまうことがあります。
	インクが乾きにくい用紙を使っていませんか？	インクが乾く前に次の用紙が排出されてしまうために、用紙の裏にインクが付いています。 以下の対処法をお試しください。 ・乾きやすい用紙を使う。 ・印刷速度を遅くする。 [速度] (☞ 44) ・インクを薄くする。 [濃度] (☞ 45) [読取濃度] (☞ 38) [省インク] (☞ 39)

状況	チェックポイント	対処
プリントされた画像が薄い。 文字がかすれている。 	ドラムを使用しない状態が長時間続いた後に、プリントしていませんか？	ドラムを長時間使用していないと、ドラム表面のインクが乾いてしまいます。この状態でプリントすると、刷り始めの数枚が薄く印刷されることがあります。 [試し刷り] キーを押して、何枚か印刷してから使用してください。 [アイドルング] (☞ 51) を実行すると、刷り始めから鮮明に印刷できるので、余分な用紙の使用を減らすことができます。
	原稿自体が薄くありませんか？	[読取濃度] (☞ 38) を濃くして、製版し直してください。 えんぴつ書きの原稿を使うときは、[えんぴつ] (☞ 37) を設定してください。
	本機の設置場所やインクの保管場所が低温（15℃未満）ではありませんか？	本機は、15℃以上の場所でお使いください。 低温の場所に保管されていたインクは、15℃以上の場所にしばらく置いてから使用してください。 (☞ 7「設置場所について」)
	[省インク] を ON にしていませんか？	[省インク] (☞ 39) を ON にして製版すると、印刷の仕上がりが通常よりも薄くなります。
[連写] をしたが、片面が何も印刷されない。 	ブザーが鳴っている間に原稿をセットしましたか？	2枚目以降の原稿をセットするまでに一定時間が経過すると、自動的に製版が始まり、読み取られなかった分は余白になります。 時間が短すぎる場合は、[ユーザーモード] の [連写待ち時間] (☞ 56) を変更してください。
	原稿を読み取っている間に [ストップ] キーを押さませんでしたか？	原稿を読み取っている間に [ストップ] キーを押すと、読み取りが中断されます。 すべての原稿が読み取られるまで、[ストップ] キーを押さないでください。
左右方向の印刷位置がずれている。	給紙台の左右位置調整ダイヤルは標準位置になっていますか？	給紙台を下げた後、左右位置調整ダイヤルを回してください。調整後は、試し刷りして印刷位置を確認してください。 (☞ 45「印刷位置を調整する [印刷位置]」)
用紙がドラムに巻き付いている。	印刷物の天方向に、余白は十分にありますか？	印刷物の天方向（排紙方向の先端）には、5mm以上の余白が必要です。天地方向の印刷位置を下げてください。印刷位置を下げられないときは、余白ができるように縮小して製版し直してください。 (☞ 39「原稿を拡大／縮小する [変倍]」)
	印刷物の天方向に、広い塗りつぶし面がありませんか？	印刷物の天方向に広い塗りつぶし面があると、用紙がドラムに巻き付きやすくなります。原稿の天地を逆にして製版し直してください。
	適切な用紙を使っていますか？	本機で使用可能な用紙を使用してください。 (☞ 11「サイズ・重さについて」)
印刷物が丸まって排紙される。	用紙の紙目（繊維の流れ）は通紙方向に沿っていますか？	紙目が通紙方向に沿うように、用紙をセットしてください。 (☞ 13「紙づまりや給紙不良を避けるために」)

状況	チェックポイント	対処
排紙された印刷物が排紙台にきれいに揃わない。	排紙フェンス、ストッパーの位置は適切ですか？	排紙フェンスとストッパーは、用紙サイズに合わせてセットしてください。 厚い用紙のときは、少し広めにセットしてください。 給紙台の左右位置を調整しているときは、排紙フェンスも同じ方向にずらしてセットしてください。 (☞ 25 「排紙台のセット」)
	給紙圧レバーの位置は適切ですか？	給紙圧レバーを、用紙の紙質に合わせて切り替えてください。 (☞ 24 「給紙台と用紙のセット」)
	排紙ウイングの位置は適切ですか？	排紙ウイング調節ダイヤル (☞ 26) を、用紙の紙質やサイズに応じた位置に回してください。
印刷物が、排紙台のストッパーを越えて飛び出してしまう。	—	以下の手順で、排紙台の角度を水平にご使用ください。 ①排紙フェンスとストッパーをたたむ。 ②排紙台の左右を両手で持ち上げて、排紙台の軸を軸受けの B の位置に移動させる。 

状況	チェックポイント	対処
用紙が給紙台からうまく送られない。(空送または重送される)	適切な用紙を使っていますか？	本機で使用可能な用紙を使用してください。 (☞ 12 「用紙について」)
	給紙圧レバーの位置は適切ですか？	厚紙や滑りやすい用紙のときは、給紙圧レバーを「厚紙」の位置に切り替えてください。 (☞ 24 「給紙台と用紙のセット」)
	サバキ板の角度は適切ですか？	状況に応じて、サバキ板角度調節ダイヤルを回して、サバキ板の角度を調節してください。 <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="margin-right: 5px;">重要</div> <div> <p>▶ 調節する前に、給紙台から用紙を取り除き、給紙台が最下部まで完全に下がっていることを確認してください。</p> <p>■ 用紙が空送されるとき ダイヤルを左に回してください。</p>  </div> </div> <p>■ 用紙が重送されるとき ダイヤルを右に回してください。</p> 
「紙質」は適切に設定されていますか？	必要に応じて「紙質」(☞ 56)を設定してください。 詳しくは、販売会社(あるいは保守・サービス会社)にお問い合わせください。	
プリントされた用紙がめくれたり、先端にしわがでかたりする。	サバキ板の角度は適切ですか？	サバキ板角度調節ダイヤル(上図)を回して、サバキ板の角度を調節してください。

状況	チェックポイント	対処
用紙がつまっていないのに、エラーメッセージが表示される。	舞い上がった紙が排出されていませんか？	印刷物の天方向（排紙方向の先端）には、5mm 以上の余白が必要です。天地方向の印刷位置を下げてください。印刷位置を下げられないときは、余白ができるように縮小して製版し直してください。 (☞ 39 「原稿を拡大／縮小する [変倍]」)
	本機に直射日光が当たっていませんか？	本機に直射日光が当たると、センサーが誤検知することがあります。 カーテンなどで光を遮って、本機に直射日光が当たらないようにしてください。
印刷速度が [ハイスピード] にならない。	寒い場所で印刷していませんか？	[ハイスピード] を使用できるのは、ドラム内部の温度が 5℃ 以上のときです。ドラムが冷えている場合は、部屋を暖めたり、速度 [5] 以下でしばらく印刷したりして、ドラム内部が十分な温度になるまでお待ちください。
[速度優先製版] が使えない。	[速度優先製版] と併用できない機能を設定していませんか？	併用できない機能を設定すると、[速度優先製版] (☞ 58) は働きません。
パソコンから複数ページの原稿データを送信した。印刷枚数を複数に設定したのに、1 枚印刷するたびに製版が繰り返されてしまう。	パソコンの印刷ダイアログボックスで、[部単位で印刷] を選択していませんか？	本機で受信した原稿データを、いったん削除してください。削除するには、[インターフェース] キー (☞ 29) を押します。 パソコンの印刷ダイアログボックスで、[部単位で印刷] のチェックを外してから、原稿データを送信し直してください。 (☞ 29 「パソコンからプリントする」)
パソコンから原稿データを送信したのに、本機で受信されない。	操作パネルの [インターフェース] ランプが消灯していませんか？	[インターフェース] キー (☞ 29) を押して、ランプを点灯させてください。
[スタート] キーが点滅している。	受信した原稿データが出力待ちの状態ではありませんか？	[スタート] キーを押して、プリントしてください。
本機の IP アドレスを [1: マニュアル] で設定したのに、再起動後に [2: オート] に変わってしまう。	ネットワーク上にある他の機器と、同じ IP アドレスを設定していませんか？	他の機器と重複しない IP アドレスを設定してください。



第 11 章

付録

消耗品について

本機で使用できる消耗品は、以下の通りです。

- 仕様、種類は予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- 価格については、販売会社（あるいは保守・サービス会社）にお問い合わせください。

マスター・インク

マスターとインクは、製造日から24カ月以内（未開封、常温保存）を目安にご使用ください。より良い状態でお使い頂くため、購入後はできるだけ早めにご使用頂くことをおすすめいたします。それぞれの製造日は、梱包箱（外箱、内箱）と、マスター芯の内側、インクボトルの表面に記載されています。

■ マスター

以下の推奨品をご使用ください。

品名
RISO マスターFIIタイプ BS
RISO マスターFIIタイプ BE
(1ロール 250版 相当)

■ インク

以下の推奨品をご使用ください。

品名
RISO インクFIIタイプ（各色*）

当インクは、（公財）日本環境協会が制定するデジタル印刷機のエコマーク認定基準の、インクに関するすべての認定基準に準拠しています。

*：色の種類については、販売会社（あるいは保守・サービス会社）にお問い合わせください。

用紙

本機の性能やインクの特性を十分に活かす「理想用紙マルチ」「理想環境用紙」のご使用をおすすめします。

オプションについて

本機をより便利に使用するために、さまざまなオプションを用意しています。

お求めの際は、販売会社（あるいは保守・サービス会社）にお問い合わせください。

■ 自動原稿送り装置：AF-VII

約50枚までの原稿を、自動的に送ることができます。

■ カラードラム

ドラムを交換するだけで、印刷色を簡単に変更できます。（専用ケース付き）

■ ICカード認証キットⅢ

ICカードを利用して、ユーザーごとの利用管理やセキュリティの強化ができます。

ICカードを利用するには、[ユーザーモード]の[認証方式]（☞67）で設定する必要があります。

■ STソーターⅣ；NⅢ

[STソーターテープ仕分け]機能（☞57）により、クラスタテープを差し込んで、印刷物の仕分けが簡単にできます。

■ 厚紙給紙アタッチメント

ハガキなどを安定して給紙するためのユニットです。

■ 封筒給紙アタッチメント

封筒を安定して給紙するためのユニットです。

■ リゾープリンタードライバー Mac用

本機をMac OSで使用するためのプリンタードライバーです。

仕様

機種名	SF525II
製版方式	高速デジタル製版
製版時間	約 20 秒 (A4 縦、等倍時) [速度優先製版] 設定時: 約 18 秒 (A4 縦、等倍時)
印刷方式	全自動孔版印刷
読込系解像度	600×600 dpi
書込系解像度	300×600 dpi (マスター穿孔密度 ^{*1} : 600×600 dpi) [速度優先製版] 設定時: 300×400 dpi (マスター穿孔密度 ^{*1} : 600×400 dpi)
原稿の種類	ブック (10 kg 以下) / シート
原稿の紙質	自動原稿送り装置使用時: 50 ~ 128 g/m ² (普通紙)
原稿サイズ	原稿台ガラス使用時: 50×90 mm ~ 310×432 mm 自動原稿送り装置使用時: 100×148 mm ~ 300×432 mm
最大読込範囲	297×432 mm
用紙の紙質	46 ~ 210 g/m ² (上質紙、中質紙、白更、上更、更紙、画用紙、再生紙、日本郵便株式会社製ハガキ)
用紙サイズ	100×148 mm ~ 310×432 mm
最大印刷範囲	251×357 mm (B4 サイズ相当)
給紙台積載枚数	1000 枚 ^{*2} (積載高さ 110 mm 以下)
排紙台積載枚数	1000 枚 ^{*2} (積載高さ 110 mm 以下)
排紙揃え方式	ドミノ排紙方式
印刷速度	6 段階; 60、80、100、120、130、150 (ハイスピード ^{*3}) 枚/分
印刷位置調整	天地 ±15 mm、左右 ±10 mm
原稿モード	文字、写真、文字・写真 (標準 / 文字優先 / 写真優先・下地消去)、えんぴつ (こいめ / うすめ)
印刷倍率	ズーム (50%~200%)、等倍 拡大 3 段階 (141%、122%、116%)、縮小 4 段階 (94%、87%、82%、71%)
操作	液晶パネル
各種機能	網点 (2 種)、読取濃度調節 (オート / マニュアル)、印刷濃度調節 (5 段階)、省インク、連写 (2 面)、ブックモード、アイドルリング、機密、速度優先製版、排紙ウイング調整 (手動)、重送検知、特殊用紙設定 (給紙・排紙)、連続、試し刷り、AF オート製版 ^{*4} 、プログラム印刷、合紙仕分け、USB メモリープリント、紙メモリープリント、RISO コンソール、エコモード、RISO i Quality System
カラーチェンジ	ドラム交換方式
インク供給	全自動 (1000 ml / 本)
マスター給・排版	全自動 (250 版相当 / ロール)
マスター排版方式	ボックス式 (縦捨て対応タイプ)
電源	定格電圧 100 V、定格周波数 50-60 Hz、定格電流 3.4 A

消費電力	オプション未接続時：最大 300W (レディ時 20W 以下、スリープ時 5W 以下、電源 OFF 時 0.5W 以下) オプション接続時 ^{*5} ：最大 315W (レディ時 30W 以下、スリープ時 10W 以下、電源 OFF 時 0.5W 以下)
本体サイズ	使用時：1415 (幅) × 670 (奥行 ^{*6}) × 1065 (高さ ^{*7}) mm 収納時：780 (幅) × 670 (奥行 ^{*6}) × 1065 (高さ ^{*7}) mm
設置に必要なスペース	1415 (幅) × 1240 (奥行) × 1515 (高さ ^{*8}) mm
質量	101 kg ^{*8}
安全性	屋内専用 汚染度 2 ^{*9} 標高 2000 m 以下
付属品	保証書 1 部 個人情報取扱シート 取扱説明書 1 式 使用許諾契約書 1 部 「リソープリンタードライバー&ユーザーガイド」DVD-ROM 1 枚 「リソユーティリティソフトウェア」CD-ROM 1 枚 電源コード 1 本
専用架台	RISO 架台 N タイプ III 660 (幅) × 695 (奥行 ^{*10}) × 400 (高さ) mm 約 18 kg RISO 架台 D タイプ III 645 (幅) × 675 (奥行 ^{*10}) × 400 (高さ) mm 約 21 kg RISO 収納架台 S III 645 (幅) × 675 (奥行 ^{*10}) × 400 (高さ) mm 約 38 kg
オプション	自動原稿送り装置：AF-VII、カラードラム、IC カード認証キットⅢ、ST ソーターⅣ；N III、厚紙給紙アタッチメント、封筒給紙アタッチメント、リソープリンタードライバー Mac 用

* 1：マスター穿孔密度とは、マスターの 1 インチ四方に開けられる孔（あな）の数を指します。

* 2：理想用紙マルチ使用時

* 3：[ハイスピード] は、ドラム内部の温度が 5℃未満の場合は使用できません。

* 4：自動原稿送り装置（オプション）装着時に使用可能

* 5：以下のすべてを接続した状態を指します。

- 自動原稿送り装置
- ST ソーター
- IC カードリーダー

* 6：奥行には、専用架台の補助足を含みません。

* 7：高さには、専用架台を含みます。

* 8：質量には、インク、マスター、架台を含みません。

* 9：空気中のちりやほこりなどによる使用環境の汚染度合のこと。「2」は一般的な室内環境。

* 10：奥行には、補助足を含みます。

おことわり

- 製品の仕様や種類は、予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- 機械の改良、変更などにより、本書の図版や記載事項とお客様の機械が、一部異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

索引

Numerics

[*] キー.....	19
[+] キー.....	19
[×] キー.....	19
[Ⓜ] ランプ.....	19, 101
1 原稿プログラム.....	48

A

AF オート製版.....	57
AF 給紙カバー.....	18

C

[C] キー.....	19
-------------	----

I

IC カード.....	120
IPv4 IP アドレス設定.....	65
IPv6 IP アドレス設定.....	66

L

LAN ポート.....	16
--------------	----

M

MC クリア設定.....	70
MC 上限設定.....	69

P

[P (プログラム)] キー.....	19
---------------------	----

R

Received file.....	21
RISO コンソール.....	78

S

[SNMP 設定] 画面.....	81
ST ソーターテープ仕分け.....	57

T

TC クリア設定.....	70
TC 上限設定.....	69

U

USB ポート.....	16, 17
USB メモリー.....	11, 31

あ

合紙仕分け.....	61, 74
アイドリング.....	51
[アイドリング] キー.....	20
網点.....	37
[網点] キー.....	20
暗証番号.....	68

い

[一般情報] タブ画面.....	79
一般ユーザー.....	68
インク色.....	21
インク情報の入力.....	108
インクボトル.....	17
印刷.....	22, 44
印刷位置.....	45
印刷位置調整キー.....	19
[印刷] キー.....	19
印刷基本画面.....	21
印刷工程.....	22
印刷速度.....	44, 55
印刷速度調節キー.....	19
印刷濃度.....	45, 55
印刷濃度調節キー.....	19
印刷枚数復帰設定.....	58
[インターフェース] キー.....	20

う

[ウェイクアップ] キー.....	19
-------------------	----

え

液晶パネル.....	21
エコモード.....	59
エラー位置ランプ.....	19
エラーメッセージ.....	100
えんぴつ.....	37
[えんぴつ] キー.....	20

えんぴつモード画質設定..... 59

お

オートアイドル時間..... 55

オートクリア時間..... 56

オートシャットOFF設定..... 56

オートスリープ設定..... 56

か

カウンター..... 73

カウンター表示..... 73

カウントオールクリア..... 70

紙質..... 56

紙揃えプレートノブ..... 17

紙目..... 13

紙メモリープリント..... 61, 75

管理者..... 68

き

機密..... 52

[機密]キー..... 20

給紙圧レバー..... 16

給紙台..... 16

給紙台上下ボタン..... 16

給紙フェンス..... 16

く

グループ番号..... 68

け

原稿..... 11

原稿セットフェンス..... 18

原稿台カバー..... 16

原稿台ガラス..... 16

原稿データ表示..... 21

原稿排出トレイ..... 18

原稿パッド..... 16

原稿モード..... 36, 55

[原稿モード]キー..... 20

こ

購入した本数..... 64

孔版印刷方式..... 22

誤差拡散法..... 37

固定変倍..... 39

さ

サーマルヘッド..... 17

在庫数..... 64

最大印刷範囲..... 13

最低印刷枚数..... 56

サクシオンファン..... 59, 74

サバキ板角度調節ダイヤル..... 116

サプライ在庫管理..... 60, 64

サプライ閾値..... 60

左右位置調整ダイヤル..... 16, 46

左右方向..... 46

し

[システム情報]タブ画面..... 79

自動原稿送り装置..... 18

写真..... 36

重送検知..... 21, 60

省インク..... 39

[省インク]キー..... 20, 39

消耗品..... 10, 120

消耗品情報..... 21

す

ズーム変倍..... 40

[スタート]キー..... 19

ストッパー..... 17

[ストップ]キー..... 19

せ

製版..... 22, 36

[製版]キー..... 19

製版基本画面..... 21

製版工程..... 22

製版範囲..... 13

製版ユニット..... 17

製版ユニットOKボタン..... 17

製版ユニットカバー..... 17

製版ユニットレバー..... 17

占有時間..... 57

そ

操作パネル..... 16

速度	44
速度優先製版	58

た

多原稿プログラム	48
試し刷り	22
[試し刷り] キー	19

て

テンキー	19
電源スイッチ	17
天地方向	45
天方向	12, 13

と

トータルカウンター	73
等倍	39, 40
[等倍] キー	39, 40
特殊用紙設定	73
ドラム	17
ドラム OK ボタン	17
ドラムカウンター	73
ドラムレバー	17

な

南京錠	88
-----------	----

に

認証有無	67
認証機能	67
認証設定クリア	72
認証操作	33
認証方式	67

ね

[ネットワーク設定] 画面	81
ネットワーク設定初期化	62
[ネットワーク] メニュー	81

の

濃度	45
----------	----

は

排紙ウイング	17
--------------	----

排紙ウイング調節ダイヤル	26
排紙台	17
排紙フェンス	17
ハイスピード	44
排版ボックス	16
パスワード	78
バックライトの明るさ	60

ひ

表示言語	60
表示の濃さ	60

ふ

ブザー音	57
ブック	38
[ブック] キー	20
ブックモード原稿サイズ	55
ブックモードセンター幅	55
[プリンター] メニュー	80
プリント	22
プリント範囲	13
プレスローラー	97
プログラム	48
分離ファン	58, 74

へ

変倍	39
----------	----

ほ

補助足	17
-----------	----

ま

枚数カウンター	19
前カバー	17
マスター	17
マスターガイド	17
マスターカウンター	73
マスター情報の入力	109
マスターロールストッパー	17

め

メッセージエリア	21
----------------	----

も

文字	36
文字・写真.....	37
文字写真画質設定	59
[モニタリング]メニュー.....	79

ゆ

[ユーザー情報]タブ画面.....	79
ユーザー登録.....	68
ユーザー名.....	78
ユーザーモード.....	54
[ユーザーモード]キー.....	20
ユーザーモード設定初期化.....	63

よ

用紙	12
読取濃度.....	38, 55

り

[リセット]キー	19
リソープリンタードライバ	11
リソユーティリティソフトウェア	11
利用停止.....	69
利用枚数集計出力	71
利用枚数集計日設定	71
利用枚数ワーニングクリア	71
利用枚数を表示する	73

れ

連写	40
[連写]キー.....	20
連写待ち時間.....	56
連続	22, 28, 55
[連続]キー	19
連写復帰設定.....	58
連続モード.....	30

ろ

ログイン.....	78
-----------	----

アフターサービスについて

アフターサービスについてのご不明な点、またはサービスサポートメニューや製品についての詳細は、お買い上げの販売会社(あるいは保守・サービス会社)にお問い合わせください。お問い合わせは、お客様相談室(☎裏表紙)でも受け付けております。

無償修理

この製品には保証書を別途添付しています。保証書の記載内容をご確認いただいた上、大切に保管してください。保証期間中の修理の場合は、保証書を必ずご提示ください。

保証期間は、商品購入日より1年以内もしくはトータルカウンター表示が100万枚までのいずれか早期に達した方とします。その期間中において、本書に従った正常な使用状態で故障した場合には、保証書に記載されている保証規定に則り無償修理いたします。

有償修理

保証期間を過ぎた場合は有償となります。

また、次の場合は保証期間内であっても有償となりますのでご了承ください。

- 保証書のご提示がない場合
- 保証書の所定事項が無記入の場合、または記載内容が書き換えられている場合
- 使用上の誤り、不当な修理、改造等による故障や損傷
- 本取扱説明書に従った正常な使用が行われていない場合の故障や損傷
- 当社認定のカスタマーエンジニア以外の者による修理が行われた場合
- 当社推奨消耗品をお使いいただけないことに起因する故障
- ドラムの色変更に要する作業
- 有償部品の交換
- ご購入後の輸送、移動等による故障や損傷
- 火災、地震、その他天災地変による故障や損傷
- 上記以外で、当社の責任でない原因で生じた故障や損傷

有償部品

プラテンローラー、サバキ板、ピックアップローラー、スクレーパー、排版ベルト、プレスローラー、原稿パッド、ドラムブロックシート、ドラムシールテープ、排紙除電ブラシ、除電バー、TPH除電ブラシ、着版ブラシ

推奨消耗品

RISO マスター FIIタイプ BS、RISO マスター FIIタイプ BE、RISO インク FIIタイプ(各色)

修理不能の場合

天災または強度の衝撃その他で破損がひどく、正常の性能に復元できない場合、および部品の入手が困難な場合など、修理ができない場合があります。詳しくは、お買い上げの販売会社(あるいは保守・サービス会社)にお問い合わせください。

補修用性能部品の保有期間と インク・マスターの提供期間

本製品の補修用性能部品(機能維持のために必要な部品)は、本製品の製造終了後、最低7年間保有しています。

インク・マスターは、本製品の製造終了後、最低7年間提供しています。

修理ご依頼に際しての 注意事項

- 本機では、当社の定める研修を受講し、カスタマーエンジニアと認定された者がメンテナンスを行うシステムを採用しております。修理を依頼される際には必ずカスタマーエンジニア認定証の提示を求め、該当するカスタマーエンジニアであることをご確認ください。また、保証規定による修理には、必ず保証書を添付してください。
- 万一故障と思われる事態が生じた場合は、まず本書に記載されている処置(操作手順、トラブル処理、警告表示の処理、ご注意)をご確認ください。完全に処置できない場合は、販売会社(あるいは保守・サービス会社)にご連絡ください。ご連絡の際には、故障箇所、内容などをできるだけ詳しくご説明ください。
- 修理完了後は修理伝票にご捺印またはサインをご記入ください。

使用済み製品について

本製品には、ご使用後に回収し部品の再使用(リユース)や再利用(リサイクル)をおこなうシステムがあります。また、このシステムで活用できない部分は環境への負荷が少ない方法で処理するシステムがあります。



お問い合わせ先

本体・オプション製品に関しては

お客様相談室 ☎0120-534-881

受付時間(月～金 10:00～12:00,13:00～17:00 土・日・祝日・当社休業日を除く)

当社製プリンタドライバ/ソフトウェアの操作に関しては

サポートセンター ☎0120-229-330

受付時間(月～金 9:00～17:30 土・日・祝日・当社休業日を除く)

理想科学工業株式会社

〒108-8385 東京都港区芝5-34-7田町センタービル 電話(03)5441-6666

ホームページ <https://www.riso.co.jp/>